

宇和島市の新しいまちづくりのための  
住民アンケート調査

結果報告書

平成18年8月

宇和島市

## 目 次

### 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要 .....	1
(1) 調査目的 .....	1
(2) 調査対象及び調査方法 .....	1
(3) 配布数及び回収結果 .....	1
(4) 本調査結果報告書の留意点 .....	2
2 回答者の属性 .....	3
(1) 性別 .....	3
(2) 年齢 .....	3
(3) 就業形態 .....	3
(4) 産業分類 .....	3
(5) 居住年数 .....	4
(7) 居住地区 .....	4

### 調 査 結 果

1 愛着度と定住意向などについて .....	5
(1) まちへの愛着度について .....	5
(2) まちの暮らしやすさについて .....	7
(3) 今後の定住意向について .....	9
2 これからのまちづくりについて .....	12
(1) これからのまちづくりで重視すべき項目 .....	12
(2) まちづくりで力を入れるべきこと .....	15
3 日頃の行動や考えについて .....	19
(1) 環境対策 .....	19
自然環境の豊かさについて .....	19
環境に配慮した生活について .....	21
ごみ処理・リサイクル状況について .....	23
ごみ減量化の3 R運動について .....	25
(2) 公園・緑地 .....	27
公園・緑地の整備状況について .....	27
緑化運動や花づくり運動について .....	29
(3) 住宅・宅地 .....	31
公営住宅の整備状況について .....	31
(4) 水道 .....	33
水道の整備状況について .....	33
節水について .....	35

(5) 下水道	37
下水道の整備状況について	37
(6) 消防・防災	39
消防・防災体制について	39
避難路・避難場所について	41
災害対策について	43
(7) 交通安全・防犯	45
交通安全・防犯体制について	45
地域の防犯活動について	47
(8) 市街地整備	49
中心市街地の整備状況について	49
街並み景観について	51
(9) 道路・交通網	53
道路の整備状況について	53
公共交通機関について	55
(10) 情報通信網	57
情報通信網の整備状況について	57
市のホームページを利用した行政手続について	59
(11) 農林業	61
農林業基盤の整備状況について	61
(12) 水産業	63
水産業基盤の整備状況について	63
(13) 商業	65
商業環境について	65
市内での買い物について	67
(14) 工業	69
地場産業の振興や企業誘致について	69
(15) 観光	71
観光基盤の整備状況について	71
(16) 雇用・就労対策	73
雇用・就労対策への取り組みについて	73
(17) 健康づくり	75
保健サービスについて	75
健康増進のための取り組みについて	77
(18) 医療	79
医療体制について	79
かかりつけ医について	81

(19)高齢者福祉・介護	83
高齢者福祉・介護サービスについて	83
(20)障害者福祉	85
障害者福祉サービスについて	85
(21)子育て支援	87
保育・子育て支援サービスについて	87
(22)地域福祉	89
バリアフリー化への取り組みについて	89
地域福祉活動への参加について	91
(23)生涯学習	93
生涯学習活動への取り組みについて	93
生涯学習活動について	95
(24)就学前教育・学校教育	97
学校教育環境について	97
(25)人権教育・啓発	99
人権教育・啓発への取り組みについて	99
地域・職場での人権教育・啓発活動の参加について	101
(26)スポーツ	103
スポーツ振興への取り組みについて	103
定期的なスポーツ活動について	105
(27)芸術・文化	107
芸術・文化振興への取り組みについて	107
芸術・文化活動への参加について	109
(28)国際交流・地域間交流	111
国内外との交流活動について	111
国内外地域や居住外国人との交流活動について	113
(29)男女共同参画	115
男女共同参画推進への取り組みについて	115
(30)コミュニティ	117
地域のコミュニティ活動について	117
コミュニティ活動への参加について	119
(31)行財政	121
行政改革の進捗状況について	121
市職員の対応について	123
(32)住民参画	125
住民参画への取り組みについて	125
広報・広聴活動への取り組みについて	127

4 市の満足度評価とCS分析.....	129
(1)市の満足度評価について.....	129
(2)満足度とまちへの愛着度の相関.....	137
(3)満足度とまちの暮らしやすさの相関.....	140
(4)満足度と今後の定住意向の相関.....	143
資料：調査票.....	146

## 調査の概要及び回答者の属性

# 1 調査の概要

## (1) 調査目的

本調査は、新しいまちづくりを進めるための指針となる「宇和島市総合計画」(平成20年度～平成29年度)の策定にあたって、市民の愛着度や定住意向、期待する重点分野・重点施策を調査し、今後のまちづくりの方向性や重点施策を設定するための資料を得るとともに、ベンチマーク(成果指標)を導入した計画づくりを行うにあたって、現状の数値を把握することを目的に実施したものである。

## (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内に居住する20歳以上の男女
配布数	3,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	平成18年6月～7月

## (3) 配布数及び回収結果

配布数	3,000
有効回収数	1,440
有効回収率	48.0%

#### (4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

基数となるべき実数は、“ n = ”として掲載し、各比率は n を 100%として算出した。

比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。

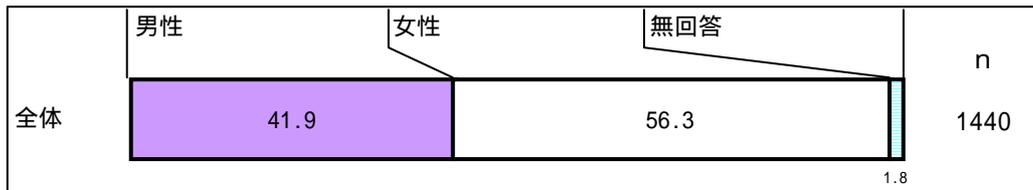
質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

問の中には「～に をつけた方にうかがいます。」など、回答者の制限があり、回答者の数が少ない問が含まれる。またクロス分析(属性別)においても項目によっては回答者数(n数)が少なく、有意性が低いものもある。

## 2 回答者の属性

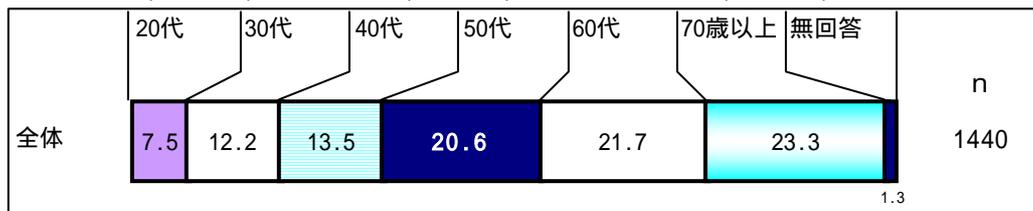
### (1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」が41.9%、「女性」が56.3%となっている。



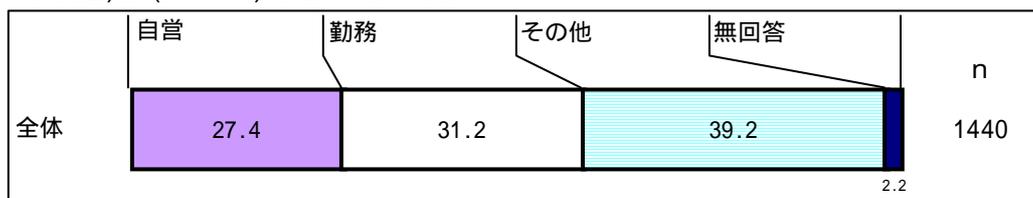
### (2) 年齢

回答者の年齢構成は、「20代」(7.5%)、「30代」(12.2%)、「40代」(13.5%)、「50代」(20.6%)、「60代」(21.7%)、「70歳以上」(23.3%)となっている。



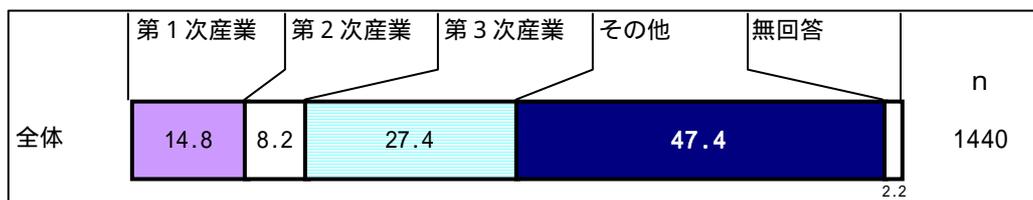
### (3) 就業形態

就業形態は、「自営」(27.4%)、「勤務」(31.2%)、「その他(主婦・無職・学生、その他)」(39.2%)となっている。



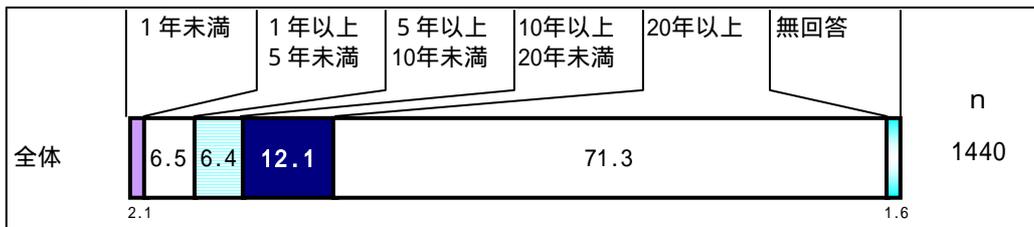
### (4) 産業分類

産業分類は、「第1次産業」(14.8%)、「第2次産業」(8.2%)、「第3次産業」(27.4%)、「その他(パートタイム・アルバイト・主婦・無職・学生、その他)」(47.4%)となっている。



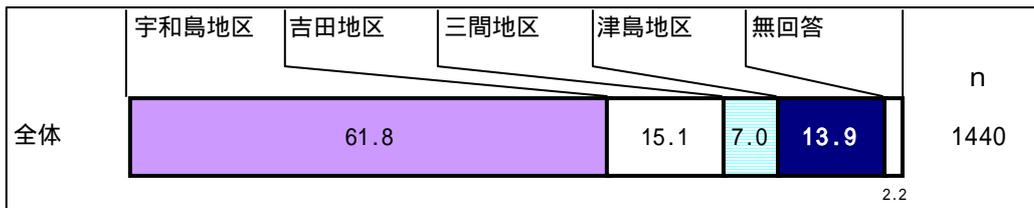
(5) 居住年数

居住年数は、「20年以上」が71.3%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」(12.1%)、「1年以上5年未満」(6.5%)、「5年以上10年未満」(6.4%)、「1年未満」(2.1%)の順となっている。



(6) 居住地区

居住地区は、「宇和島地区」が61.8%で最も多く、次いで「吉田地区」(15.1%)、「津島地区」(13.9%)、「三間地区」(7.0%)の順となっている。



## 調查結果

# 1 愛着度と定住意向などについて

## (1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、宇和島市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

“愛着を感じている”が75.2%、“愛着を感じていない”が8.5%。

市民のまちに対する愛着度を把握するため、「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらった。

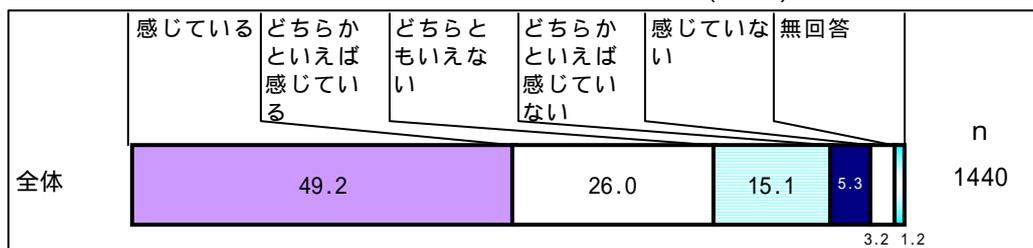
その結果、「感じている」と回答した人が49.2%、「どちらかといえば感じている」という人が26.0%、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が75.2%と4人に3人にのぼる。これに対して、“愛着を感じていない”(「どちらかといえば感じていない」5.3%及び「感じていない」3.2%の合計)は8.5%と1割弱にとどまり、総じてまちへの愛着度は高いといえる。なお、「どちらともいえない」は15.1%であった。[図表1参照]

属性別に“愛着を感じている”割合をみていくと、年齢別の20代(59.3%)、30代(64.0%)、居住年数別の1年未満(40.0%)、1年以上5年未満(52.1%)で低く、全体(75.2%)と10ポイント以上の差がみられる。

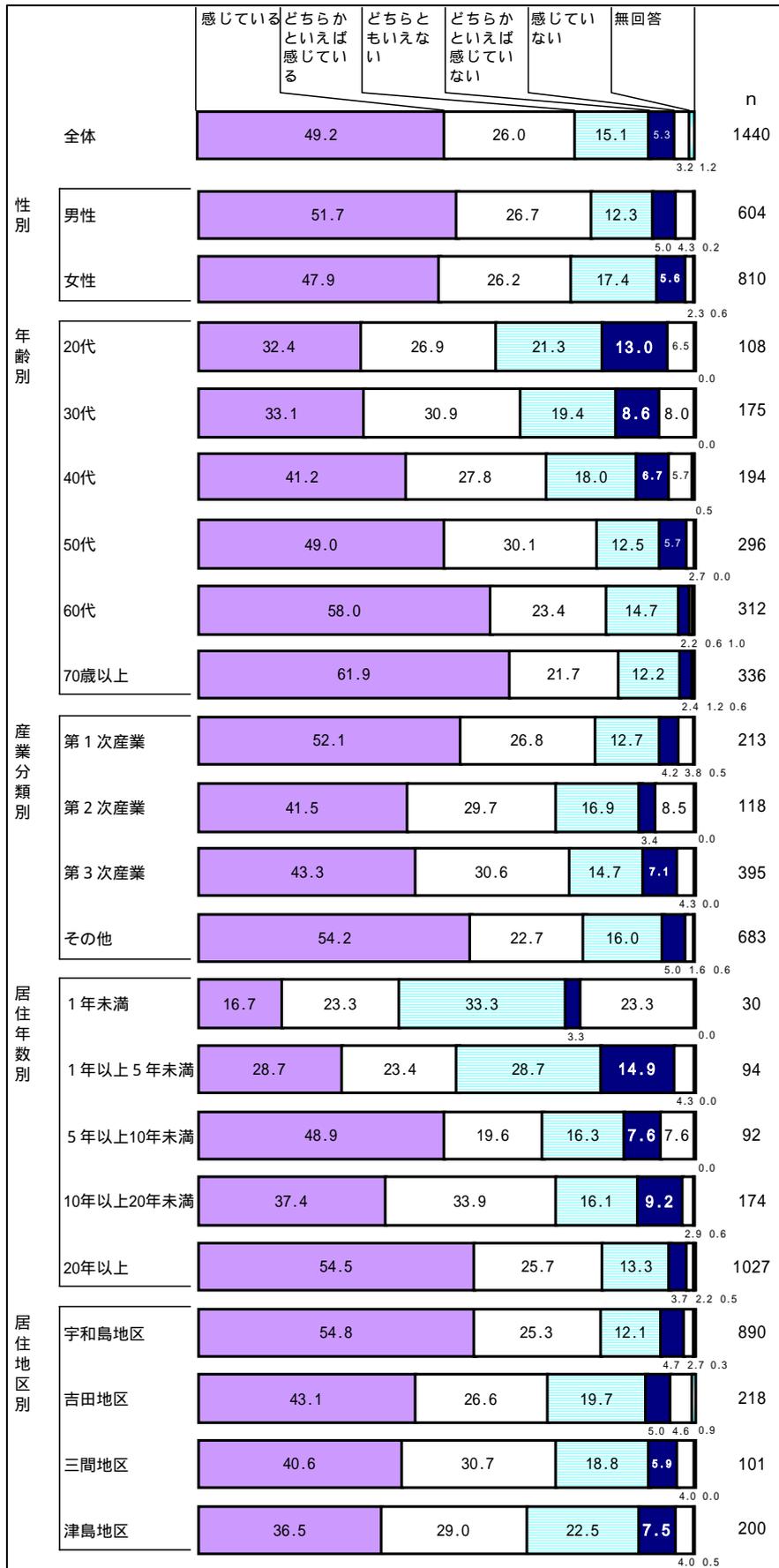
また、「感じている」と明確に回答した割合を属性別にみると、年齢別では加齢とともに割合が高くなる傾向にあり、最も低い20代(32.4%)と最も高い70歳以上(61.9%)では約30ポイントの差がみられる。産業分類別では、第1次産業で52.1%と最も高く、第2次産業で41.5%と最も低くなっている。

居住地区別では、宇和島地区が54.8%、吉田地区が43.1%、三間地区が40.6%、津島地区が36.5%となっており、宇和島地区と津島地区では18ポイント以上の差がみられる。[図表2参照]

図表1 まちへの愛着度について(全体)



図表2 まちへの愛着度について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (2)まちの暮らしやすさについて

問3 あなたは、全体的にみた宇和島市の暮らしやすさについて満足していますか。

“満足している”が40.4%、“不満である”が30.8%。

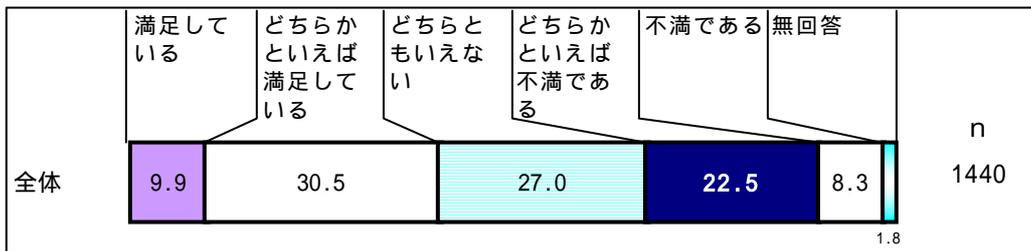
市民がまちの暮らしやすさに満足しているかどうかをたずねたところ、「満足している」(9.9%)と「どちらかといえば満足している」(30.5%)をあわせた“満足している”という人が40.4%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」22.5%及び「不満である」8.3%の合計)は30.8%となっている。なお、「どちらともいえない」は27.0%であった。[図表3参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(25.0%)、30代(29.7%)、40代(28.4%)、産業分類別の第2次産業(29.6%)、居住年数別の1年未満(30.0%)、1年以上5年未満(27.7%)、5年以上10年未満(25.0%)、居住地区別の津島地区(29.5%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(56.2%)で高く、全体(40.4%)と10ポイント以上の差がみられる。

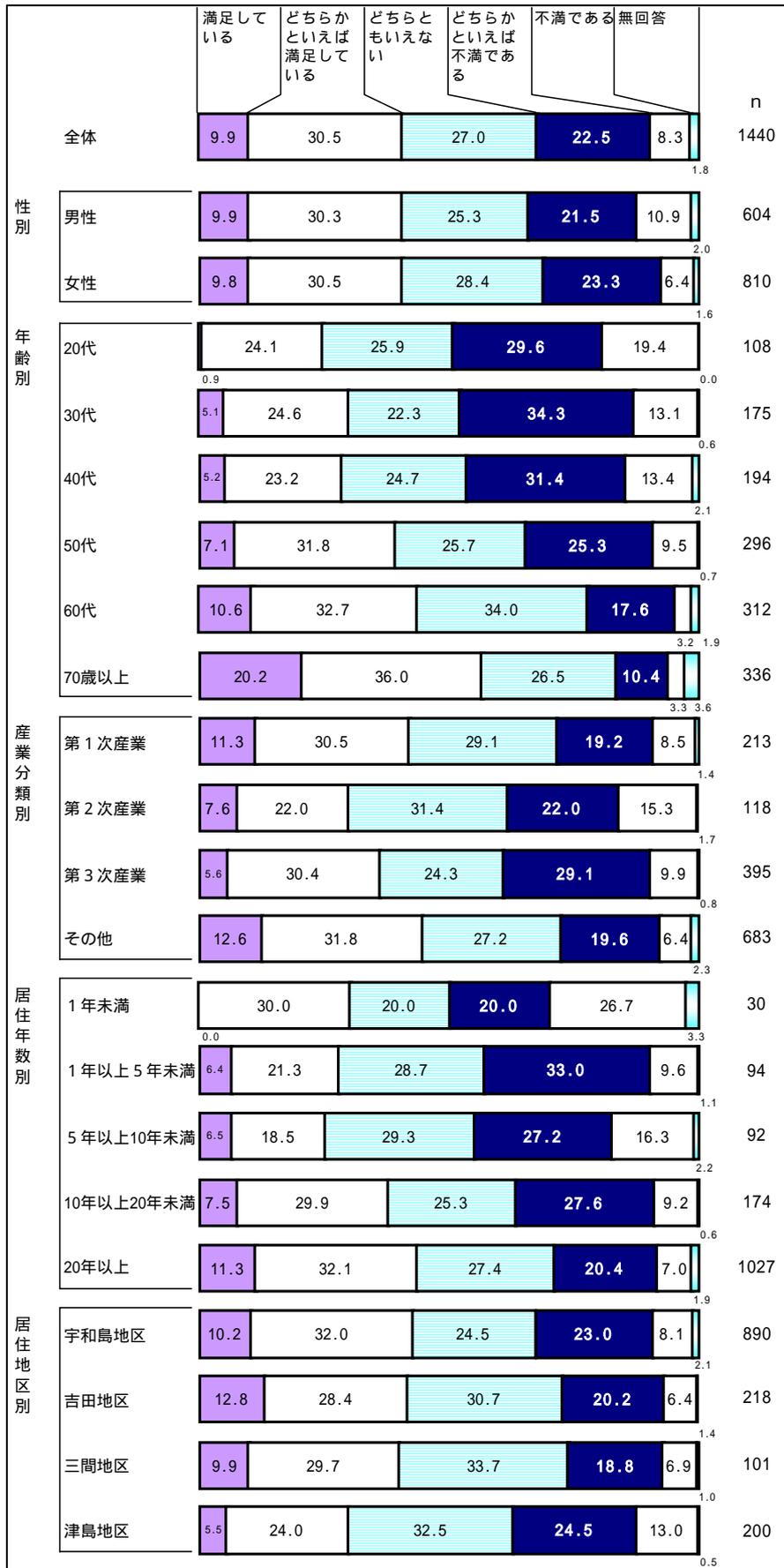
年齢別では加齢とともに、居住年数別では居住期間の増加とともに“満足している”と回答する割合が高くなる傾向がみられる。

また、居住地区別で“満足している”割合をみると、宇和島地区(42.2%)、吉田地区(41.2%)、三間地区(39.6%)、津島地区(29.5%)と、宇和島地区に比べ津島地区では10ポイント以上低い結果となっている。[図表4参照]

図表3 まちの暮らしやすさについて(全体)



図表4 まちの暮らしやすさについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



### (3) 今後の定住意向について

問4 あなたは、これからも宇和島市に住み続けたいと思いますか。  
 問4 付問 その主な理由はなんですか。【“住みたくない”と回答した人のみ/複数回答】

“住み続けたい”が73.0%、“住みたくない”が10.5%。  
 住みたくない主な理由は、「市内に適当な職場が少ない」、「道路事情や交通の便が悪い」、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分」の順。

市民がこれからも市に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が最も多く49.9%、これに「どちらかといえば住み続けたい」(23.1%)をあわせた73.0%の人が“住み続けたい”という意向を示している。一方、「どちらかといえば住みたくない」(8.4%)及び「住みたくない」(2.1%)と答えた“住みたくない”という人の合計は10.5%と、問2(まちへの愛着度について)とほぼ同様の傾向を示す結果となっている。なお、「どちらともいえない」は14.9%であった。[図表5参照]

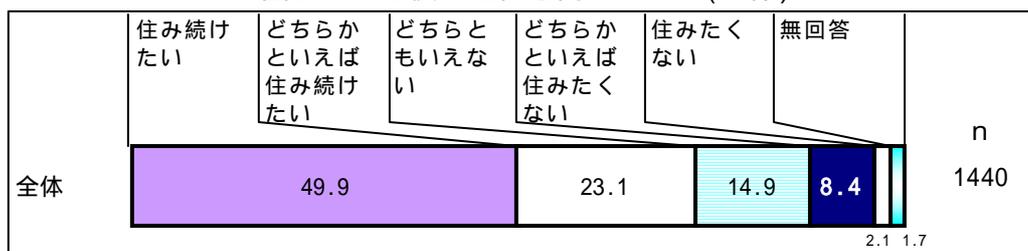
属性別に“住み続けたい”割合をみていくと、年齢別の20代(53.7%)、30代(57.2%)、40代(59.3%)、居住年数別の1年未満(46.6%)、1年以上5年未満(58.5%)、5年以上10年未満(54.4%)、10年以上20年未満(62.1%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(87.0%)で高く、全体(73.0%)と10ポイント以上の差がみられる。

年齢別でみると、明確に「住み続けたい」と回答した割合に顕著な違いがみられ、70歳以上で68.2%と7割弱にのぼる一方で、20代では25.9%、30代では24.6%にとどまる。

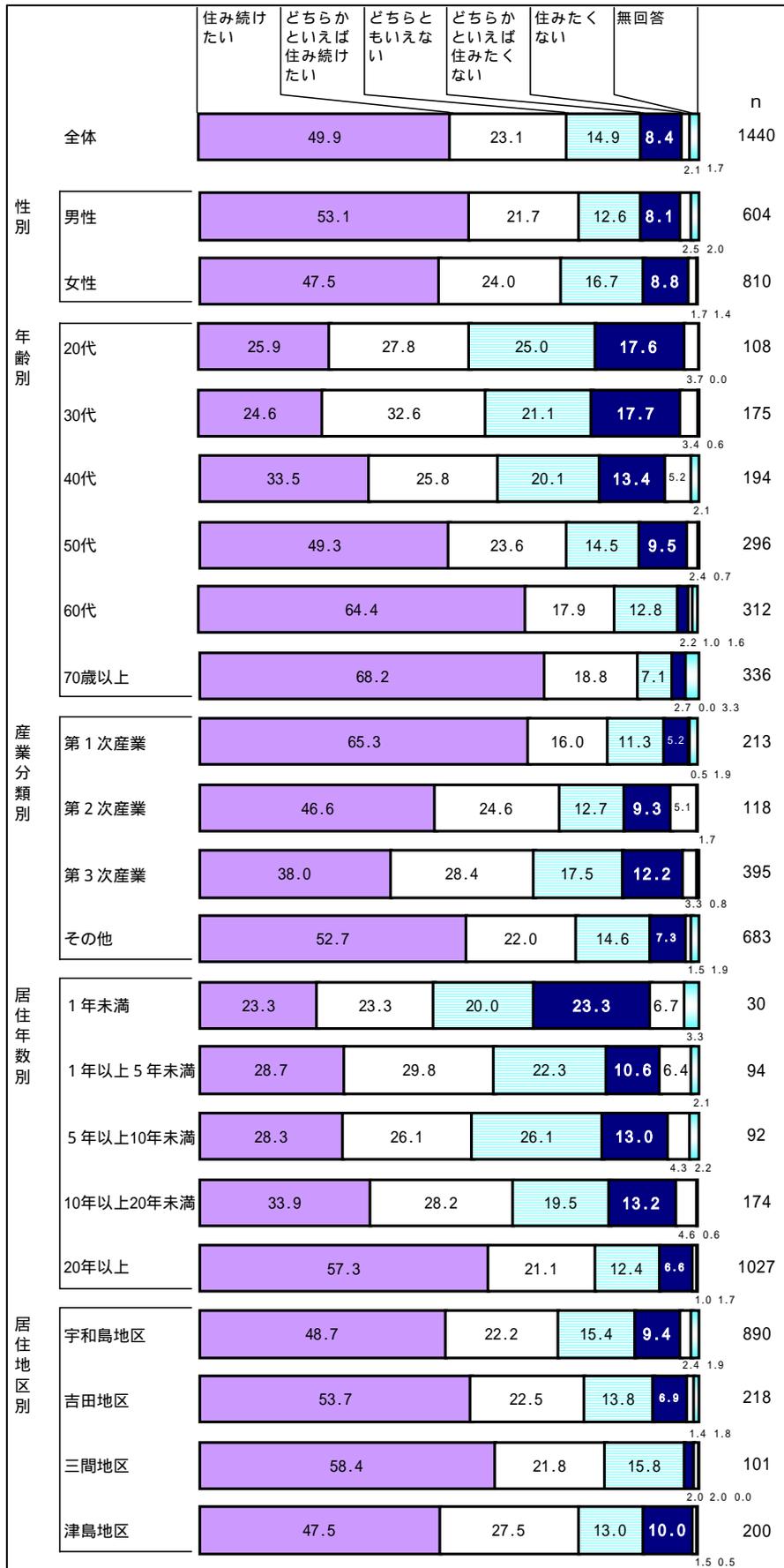
産業分類別では、第1次産業で「住み続けたい」と回答した割合が65.3%と非常に高くなっている。

また、居住地区別で「住み続けたい」と回答した割合をみると、宇和島地区(48.7%)、吉田地区(53.7%)、三間地区(58.4%)、津島地区(47.5%)と、三間地区に比べ津島地区では10ポイント以上低い結果となっている。[図表6参照]

図表5 今後の定住意向について(全体)

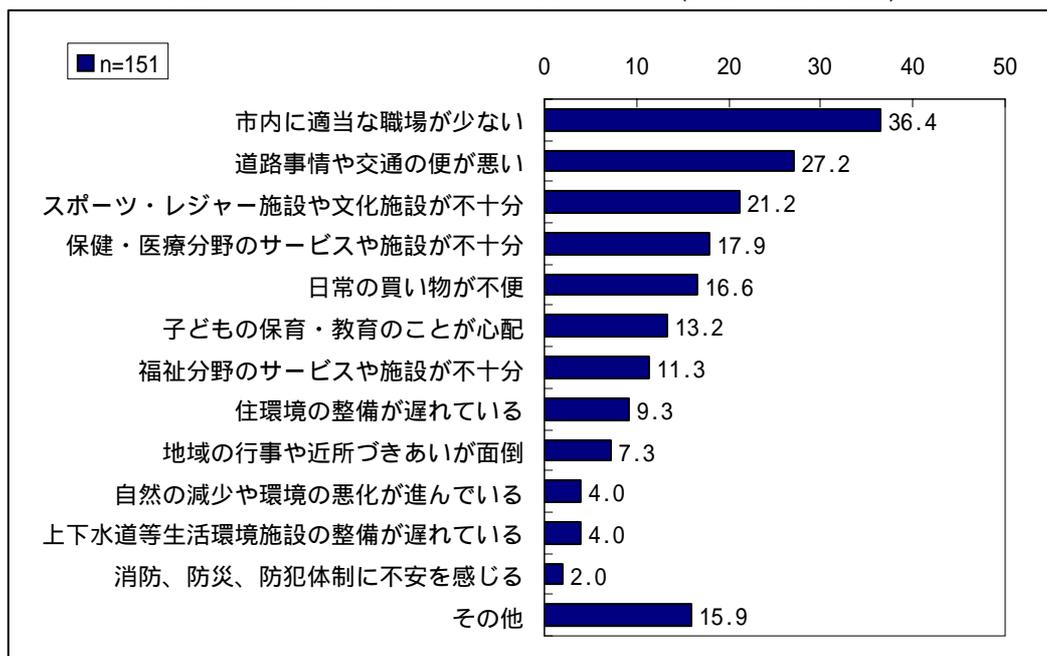


図表6 今後の定住意向について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



また、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」と回答した人(全体の10.5%・151人)にその理由をたずねたところ、「市内に適切な職場が少ない」(36.4%)が第1位に挙げられ、次いで「道路事情や交通の便が悪い」(27.2%)、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分」(21.2%)などの順となっている。[ 図表7参照 ]

図表7 住みたくない主な理由について(全体/複数回答)



## 2 これからのまちづくりについて

### (1) これからのまちづくりで重視すべき項目

問5 合併時の新市建設計画では、「人と交わり、緑と話し、海と語らう きらめき空間都市」を基本理念に掲げています。新市建設計画に掲げる基本目標の中で、これからのまちづくりで重視すべき項目はどれですか。【複数回答】

「地域特性を活かした産業が発展するまち」が第1位、次いで「すこやか、安心、思いやりのあるまち」が第2位、「恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち」が第3位。

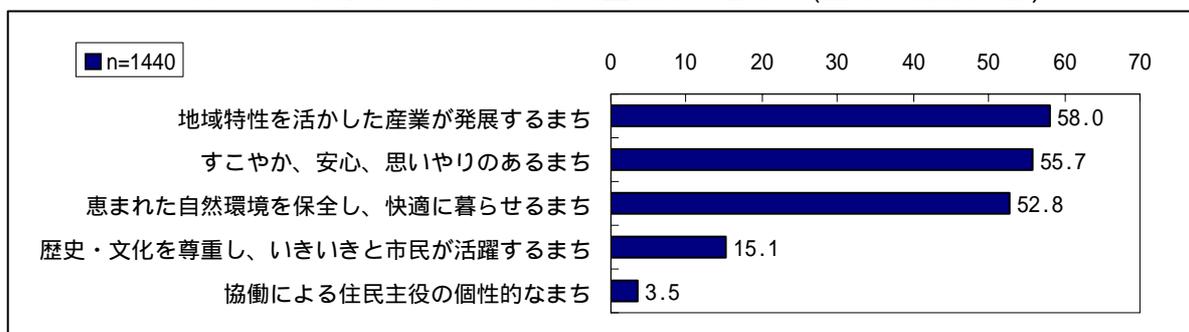
これからのまちづくりで重視すべき項目をたずねたところ、「地域特性を活かした産業が発展するまち」(58.0%)が僅差で第1位に挙げられ、次いで「すこやか、安心、思いやりのあるまち」(55.7%)、「恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち」(52.8%)などの順となっており、これら3項目が他を大きく引き離している。[図表8参照]

性別でみると、男性では第1位が「地域特性を活かした産業が発展するまち」(60.8%)となっているのに対し、女性では「すこやか、安心、思いやりのあるまち」(61.7%)となっており、重視する項目に若干の差がみられる。

年齢別でみると、20代から60代までは「地域特性を活かした産業が発展するまち」、70歳以上では「すこやか、安心、思いやりのあるまち」が第1位となっている。

また、居住地区別でみると、宇和島地区と津島地区では第1位に「地域特性を活かした産業が発展するまち」が挙げられ、吉田地区と三間地区では「すこやか、安心、思いやりのあるまち」が第1位に挙げられており、居住地区によって重視する項目に若干の差がみられた。[図表9参照]

図表8 これからのまちづくりで重視すべき項目(全体/複数回答)



図表9 これからのまちづくりで重視すべき項目

(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別 / 複数回答)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		地域特性を活かした産業が発展するまち 58.0	すこやか、安心、思いやりのあるまち 55.7	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 52.8
性別	男	地域特性を活かした産業が発展するまち 60.8	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 53.6	すこやか、安心、思いやりのあるまち 47.4
	女	すこやか、安心、思いやりのあるまち 61.7	地域特性を活かした産業が発展するまち 56.3	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 52.6
年齢別	20代	地域特性を活かした産業が発展するまち 61.1	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 51.9	すこやか、安心、思いやりのあるまち 45.4
	30代	地域特性を活かした産業が発展するまち 60.0	すこやか、安心、思いやりのあるまち 58.9	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 55.4
	40代	地域特性を活かした産業が発展するまち 60.3	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 58.2	すこやか、安心、思いやりのあるまち 46.4
	50代	地域特性を活かした産業が発展するまち 69.3	すこやか、安心、思いやりのあるまち 53.7	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 44.9
	60代	地域特性を活かした産業が発展するまち 60.3	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 54.8	すこやか、安心、思いやりのあるまち 51.9
	70歳以上	すこやか、安心、思いやりのあるまち 67.9	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 53.9	地域特性を活かした産業が発展するまち 42.9
産業分類別	第1次産業	地域特性を活かした産業が発展するまち 80.3	すこやか、安心、思いやりのあるまち 49.3	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 44.6
	第2次産業	地域特性を活かした産業が発展するまち 67.8	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 55.9	すこやか、安心、思いやりのあるまち 44.9
	第3次産業	地域特性を活かした産業が発展するまち 59.5	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 53.7	すこやか、安心、思いやりのあるまち 51.1
	その他	すこやか、安心、思いやりのあるまち 61.6	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち 54.3	地域特性を活かした産業が発展するまち 49.2

		第1位	第2位	第3位
居住年数別	1年未満	すこやか、安心、思いやり のあるまち 53.3	地域特性を活かした産業 が発展するまち 50.0	恵まれた自然環境を保全 し、快適に暮らせるまち 43.3
	1年以上 5年未満	恵まれた自然環境を保全 し、快適に暮らせるまち 61.7	すこやか、安心、思いや りのあるまち 56.4	地域特性を活かした産業 が発展するまち 52.1
	5年以上 10年未満	すこやか、安心、思いやり のあるまち 54.3	恵まれた自然環境を保全し、快適に暮らせるまち/ 地域特性を活かした産業が発展するまち	53.3
	10年以上 20年未満	地域特性を活かした産業 が発展するまち 60.9	すこやか、安心、思いや りのあるまち 54.6	恵まれた自然環境を保全 し、快適に暮らせるまち 50.0
	20年以上	地域特性を活かした産業 が発展するまち 59.0	すこやか、安心、思いや りのあるまち 56.0	恵まれた自然環境を保全 し、快適に暮らせるまち 52.5
居住地区別	宇和島地区	地域特性を活かした産業 が発展するまち 56.1	すこやか、安心、思いや りのあるまち 53.4	恵まれた自然環境を保全 し、快適に暮らせるまち 52.6
	吉田地区	すこやか、安心、思いやり のあるまち 60.6	地域特性を活かした産業 が発展するまち 60.1	恵まれた自然環境を保全 し、快適に暮らせるまち 52.3
	三間地区	すこやか、安心、思いやり のあるまち 61.4	地域特性を活かした産業 が発展するまち 55.4	恵まれた自然環境を保全 し、快適に暮らせるまち 51.5
	津島地区	地域特性を活かした産業 が発展するまち 66.5	すこやか、安心、思いや りのあるまち 58.0	恵まれた自然環境を保全 し、快適に暮らせるまち 55.0

## (2)まちづくりで力を入れるべきこと

問6 あなたは、今後、宇和島市のまちづくりについて特に力を入れるべきと思うことは  
なんですか。【複数回答】

「若者の定住促進のための施策」、  
「高齢者福祉・介護の充実」、  
「就労の場の拡充」、  
「医療体制の充実」が4大施策。

特に力を入れるべき施策をたずねたところ、「若者の定住促進のための施策」(38.7%)が第1位に挙げられ、次いで「高齢者福祉・介護の充実」(38.0%)、「就労の場の拡充」(35.6%)、「医療体制の充実」(32.3%)の順となっており、これらは他を引き離して4大施策となっている。“若者定住・就労”、“医療・福祉”に関する施策への関心が強い傾向がみられた。[図表10参照]

性別でみると、男性は「若者の定住促進のための施策」(38.4%)、女性は「高齢者福祉・介護の充実」(41.2%)がそれぞれ第1位となっている。また、全体で第7位の「水産業の振興」が男性では第5位(23.0%)に挙げられているなどの特徴がみられる。

年齢別で上位回答をみると、20代から40代までの比較的若い層では「就労の場の拡充」が第1位に挙げられており、60代、70歳以上の高齢層では「高齢者福祉・介護の充実」が第1位に挙げられている。また、20代、30代では全体で第8位の「観光の振興」がそれぞれ第3位(28.7%)、第5位(22.3%)に挙げられ、40代、50代では全体で第7位の「水産業の振興」がそれぞれ第5位(20.6%・23.0%)に挙げられているなどの特徴がみられる。

産業分類別でみると、第1次産業では「農林業の振興」(47.9%)が第1位、「水産業の振興」(37.6%)が第4位に挙げられている。

居住年数別でみると、10年未満の上位回答項目に「児童福祉・子育て支援の充実」が挙げられているなどの特徴がみられる。

居住地区別で上位回答をみると、吉田地区で「医療体制の充実」(64.2%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられているなどの特徴がみられる。[図表11参照]

図表 10 まちづくりで力を入れるべきこと(全体/複数回答)



図表 11 まちづくりで力を入れるべきこと  
 (全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別 / 複数回答)  
 (上位 5 位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体		若者の定住促進のための施策 38.7	高齢者福祉・介護の充実 38.0	就労の場の拡充 35.6	医療体制の充実 32.3	児童福祉・子育て支援の充実 19.0
性別	男	若者の定住促進のための施策 38.4	就労の場の拡充 34.3	高齢者福祉・介護の充実 33.6	医療体制の充実 29.6	水産業の振興 23.0
	女	高齢者福祉・介護の充実 41.2	若者の定住促進のための施策 39.4	就労の場の拡充 36.9	医療体制の充実 34.6	児童福祉・子育て支援の充実 21.5
年齢別	20代	就労の場の拡充 37.0	若者の定住促進のための施策 36.1	観光の振興 28.7	児童福祉・子育て支援の充実 27.8	医療体制の充実 26.9
	30代	就労の場の拡充 42.9	医療体制の充実 / 児童福祉・子育て支援の充実 38.9	若者の定住促進のための施策 33.7	観光の振興 22.3	
	40代	就労の場の拡充 46.9	若者の定住促進のための施策 35.1	高齢者福祉・介護の充実 25.3	医療体制の充実 23.7	水産業の振興 20.6
	50代	若者の定住促進のための施策 48.6	就労の場の拡充 46.6	高齢者福祉・介護の充実 38.2	医療体制の充実 28.7	水産業の振興 23.0
	60代	高齢者福祉・介護の充実 43.3	若者の定住促進のための施策 40.4	就労の場の拡充 29.2	医療体制の充実 28.2	自然保護・公害防止等の環境保全施策 23.1
	70歳以上	高齢者福祉・介護の充実 55.4	医療体制の充実 43.5	若者の定住促進のための施策 34.2	自然保護・公害防止等の環境保全施策 22.9	就労の場の拡充 21.1
産業分類別	第 1 次産業	農林業の振興 47.9	医療体制の充実 39.9	若者の定住促進のための施策 38.5	水産業の振興 37.6	高齢者福祉・介護の充実 37.1
	第 2 次産業	就労の場の拡充 43.2	若者の定住促進のための施策 32.2	高齢者福祉・介護の充実 28.8	医療体制の充実 26.3	自然保護・公害防止等の環境保全施策 22.0
	第 3 次産業	若者の定住促進のための施策 41.8	就労の場の拡充 35.4	高齢者福祉・介護の充実 31.4	医療体制の充実 27.3	児童福祉・子育て支援の充実 23.3
	その他	高齢者福祉・介護の充実 43.2	若者の定住促進のための施策 38.7	就労の場の拡充 35.6	医療体制の充実 33.8	自然保護・公害防止等の環境保全施策 18.4

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
居住年数別	1年未満	若者の定住促進のための施策 36.7	就労の場の拡充 30.0	観光の振興 / 児童福祉・子育て支援の充実 26.7	医療体制の充実 23.3	
	1年以上5年未満	就労の場の拡充 / 若者の定住促進のための施策 34.0	児童福祉・子育て支援の充実 33.0	医療体制の充実 31.9	高齢者福祉・介護の充実 29.8	
	5年以上10年未満	就労の場の拡充 38.0	医療体制の充実 / 若者の定住促進のための施策 28.3	ごみ処理・リサイクル体制の整備 25.0	公園・緑地の整備 / 児童福祉・子育て支援の充実 22.8	
	10年以上20年未満	若者の定住促進のための施策 39.1	就労の場の拡充 34.5	高齢者福祉・介護の充実 33.9	医療体制の充実 32.8	観光の振興 19.5
	20年以上	高齢者福祉・介護の充実 41.8	若者の定住促進のための施策 40.2	就労の場の拡充 36.1	医療体制の充実 33.0	自然保護・公害防止等の環境保全施策 19.6
居住地区別	宇和島地区	若者の定住促進のための施策 40.7	高齢者福祉・介護の充実 36.1	就労の場の拡充 34.7	医療体制の充実 23.7	観光の振興 21.6
	吉田地区	医療体制の充実 64.2	高齢者福祉・介護の充実 39.4	就労の場の拡充 32.1	農林業の振興 / 若者の定住促進のための施策 31.7	
	三間地区	高齢者福祉・介護の充実 47.5	若者の定住促進のための施策 41.6	就労の場の拡充 37.6	医療体制の充実 30.7	農林業の振興 21.8
	津島地区	就労の場の拡充 43.0	高齢者福祉・介護の充実 39.5	若者の定住促進のための施策 38.0	医療体制の充実 37.0	道路網の整備 24.5

### 3 日頃の行動や考えについて

#### (1) 環境対策

##### 自然環境の豊かさについて

問7 環境対策についておたずねします。

(1)あなたは、宇和島市の自然環境の豊かさについて満足していますか。

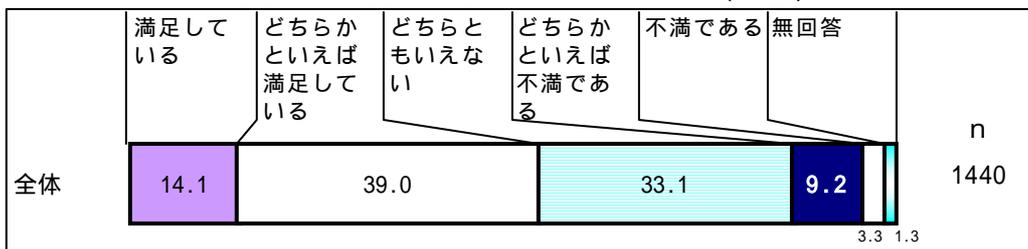
“満足している”が53.1%、“不満である”が12.5%。

自然環境の豊かさについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(14.1%)と「どちらかといえば満足している」(39.0%)をあわせた“満足している”という人が53.1%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」9.2%及び「不満である」3.3%の合計)は12.5%となっている。[図表12参照]

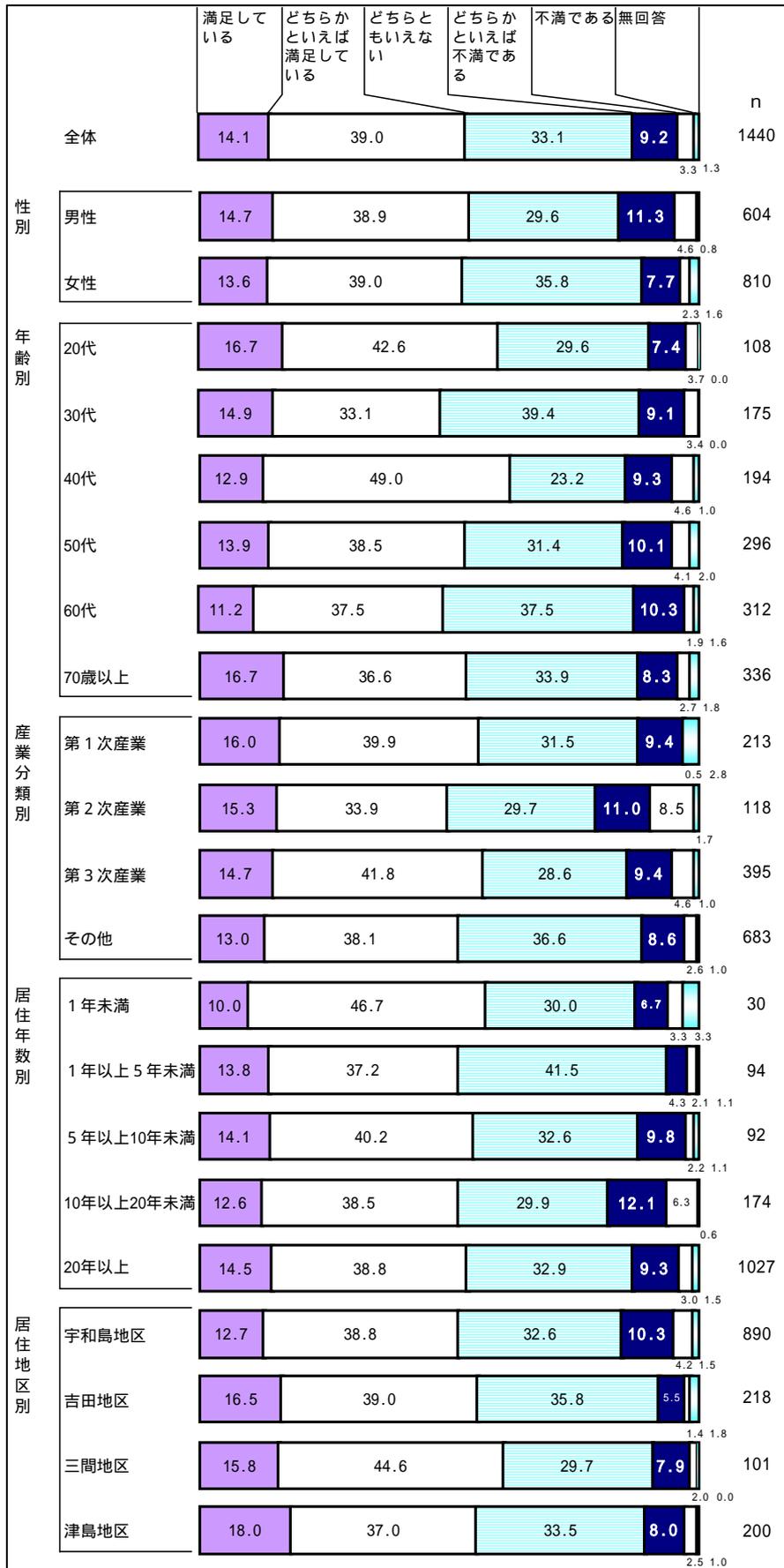
属性別に“満足している”割合をみていくと、性別では大きな差はみられないが、年齢別では30代(48.0%)、60代(48.7%)で5割を下回っており、一方、40代(61.9%)では6割強と高くなっている。

居住地区別で“満足している”割合をみると、宇和島地区(51.5%)で低いのに対し、三間地区(60.4%)で高くなっている。[図表13参照]

図表12 自然環境の豊かさについて(全体)



図表 13 自然環境の豊かさについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 環境に配慮した生活について

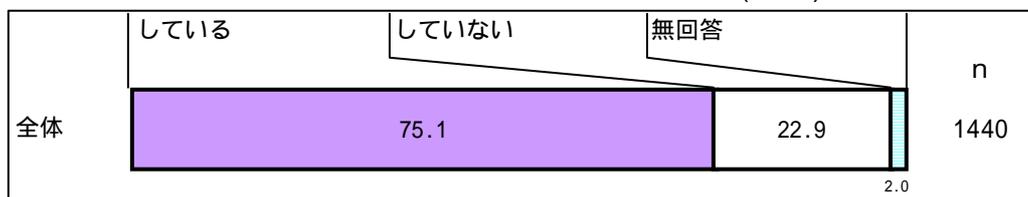
問7 環境対策についておたずねします。  
(2)あなたは、自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をしていますか。

「している」が75.1%、「していない」が22.9%。

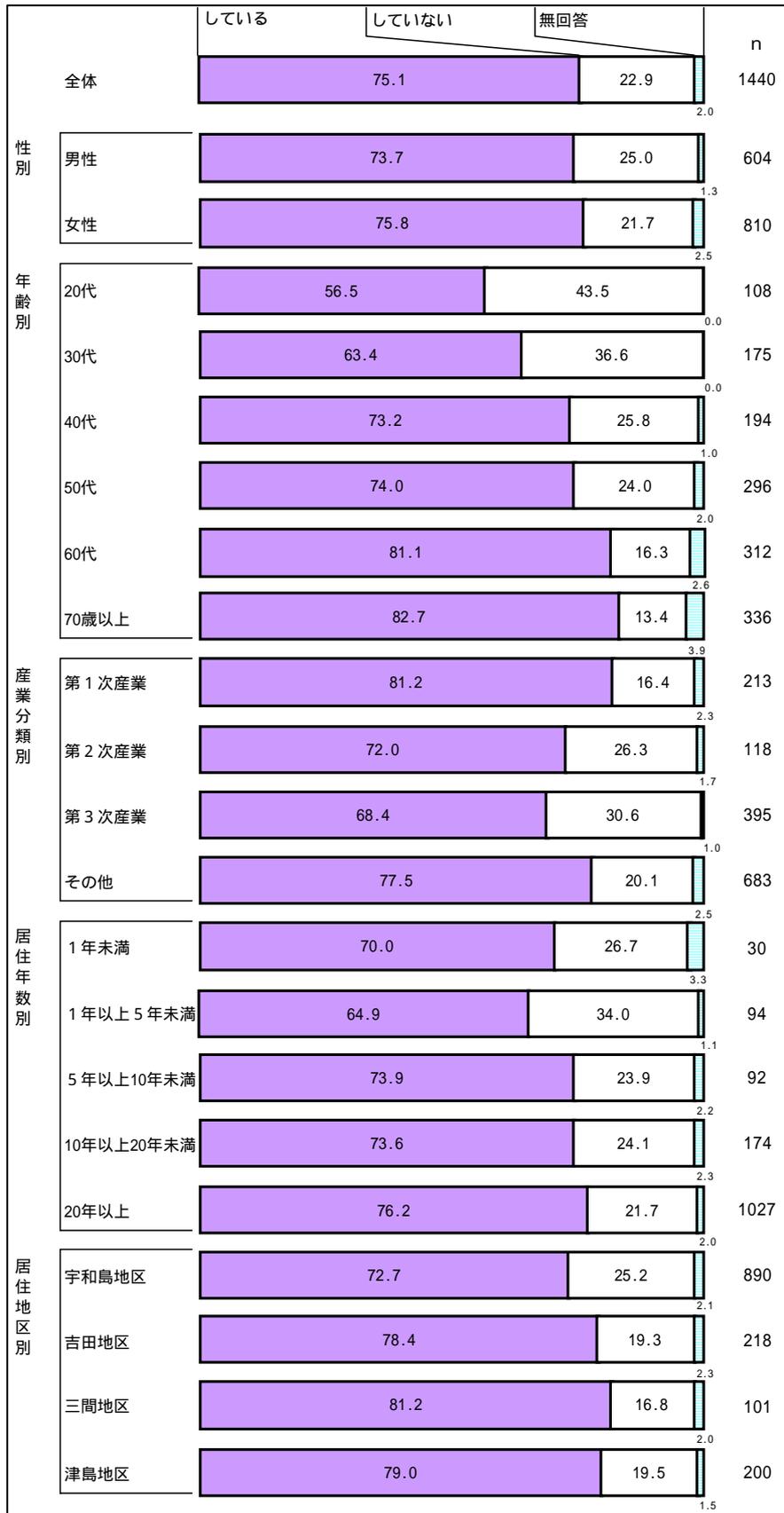
環境に配慮した生活をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が75.1%、一方、「していない」と回答した人は22.9%と、およそ4人に3人が環境に配慮した生活をしている結果となった。[ 図表 14 参照 ]

属性別で見ると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では、「している」と回答した割合が加齢とともに高くなっており、20代(56.5%)で最も低いのに対し、70歳以上(82.7%)では8割を超えて高くなっており、25ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では三間地区で81.2%と8割を超えているのに対して、宇和島地区では72.7%と若干低くなっている。[ 図表 15 参照 ]

図表 14 環境に配慮した生活について(全体)



図表 15 環境に配慮した生活について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## ごみ処理・リサイクル状況について

問7 環境対策についておたずねします。  
 (3)あなたは、宇和島市のごみ処理・リサイクルの状況について満足していますか。

“満足している”が48.6%、“不満である”が18.3%。

ごみ処理・リサイクル状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(13.0%)と「どちらかといえば満足している」(35.6%)をあわせた“満足している”という人が48.6%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」12.5%及び「不満である」5.8%の合計)は18.3%となっている。[\[図表16参照\]](#)

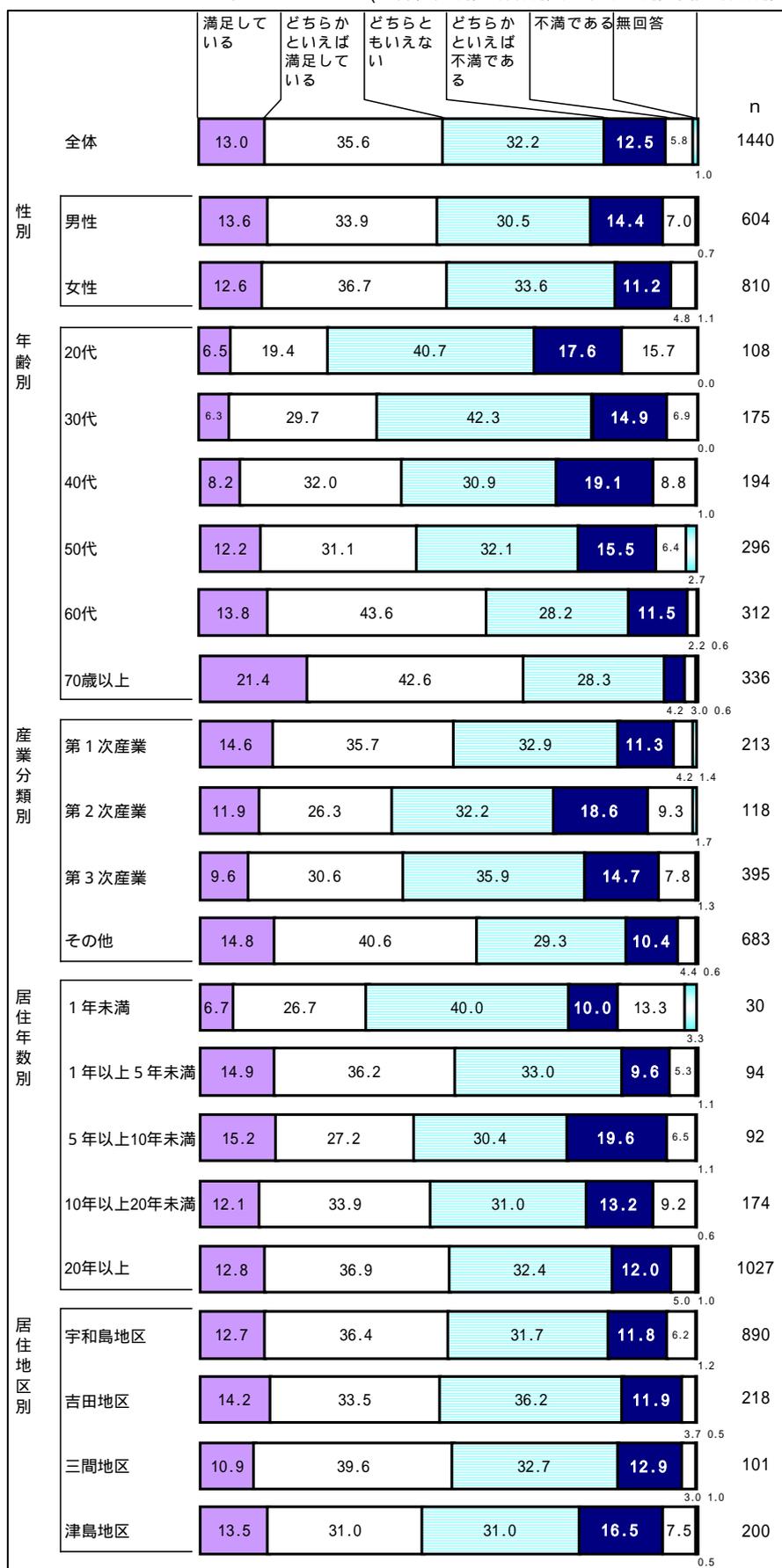
属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(25.9%)、30代(36.0%)で4割を下回り、一方、70歳以上(64.0%)では6割強と高く、全体(48.6%)と10ポイント以上の差がみられる。

産業分類別では、第2次産業(38.1%)が4割弱と低い結果となっている。[\[図表17参照\]](#)

図表16 ごみ処理・リサイクル状況について(全体)

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	無回答	n
全体	13.0	35.6	32.2	12.5	5.8	1.0	1440

図表17 ごみ処理・リサイクル状況について(全体 性別 年齢別 産業分類別 居住年数別 居住地区別)



## ごみ減量化の3 R運動について

問7 環境対策についておたずねします。

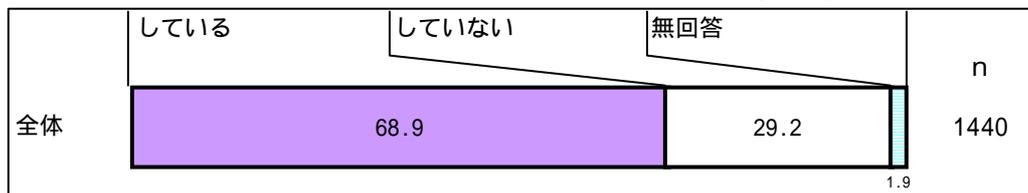
(4)あなたは、ごみの減量化のため、3 R運動(リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用)をしていますか。

「している」が68.9%、「していない」が29.2%。

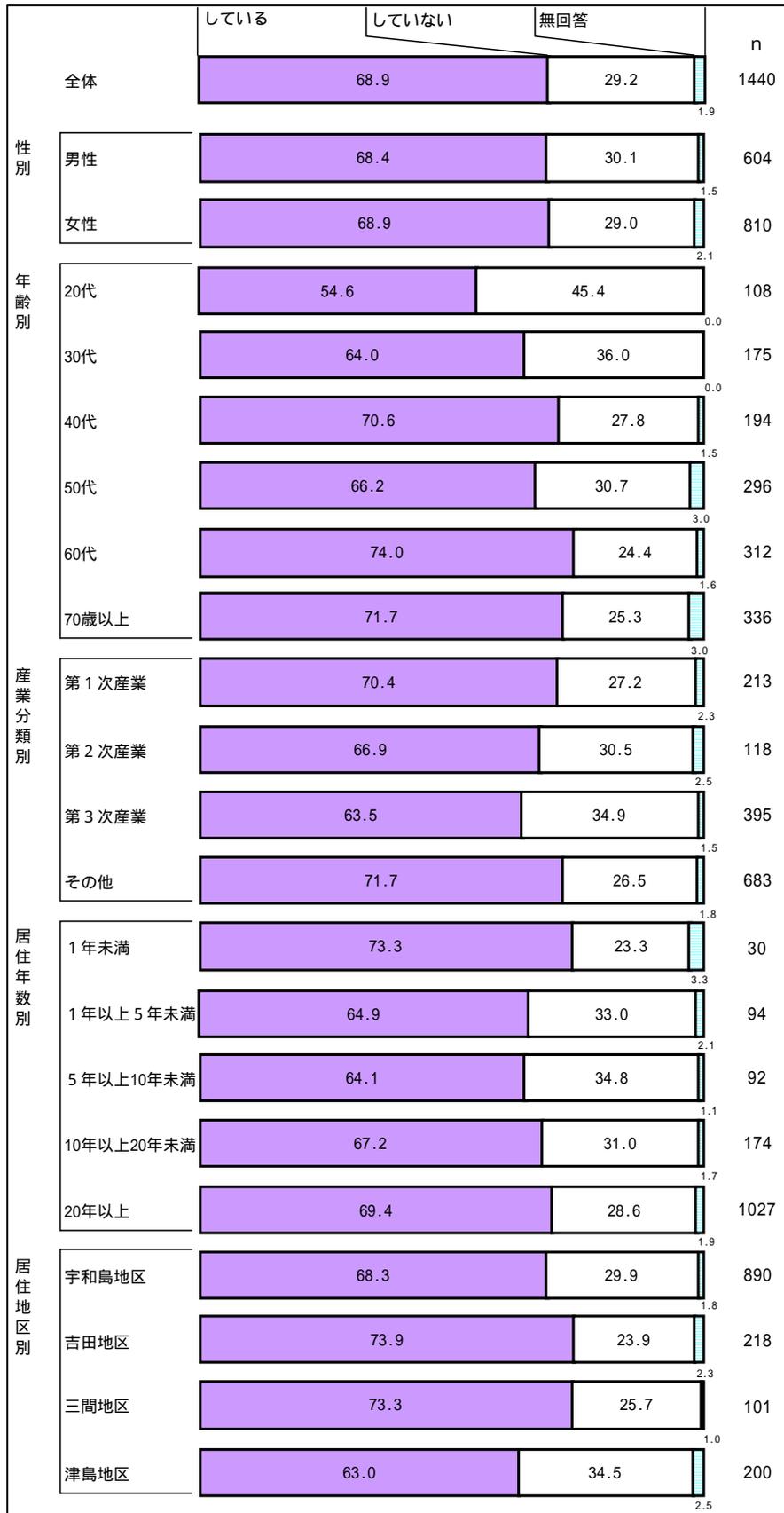
ごみの減量化のための3 R運動をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が68.9%、一方、「していない」と回答した人は29.2%と、約7割の人が3 R運動をしている結果となった。[ 図表 18 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では20代(54.6%)で最も低く、60代(74.0%)で最も高くなっており、約20ポイントの差がみられる。また、居住地区別では吉田地区(73.9%)と三間地区(73.3%)では7割を超えているのに対し、宇和島地区(68.3%)と津島地区(63.0%)では若干低くなっている。[ 図表 19 参照 ]

図表 18 ごみ減量化の3 R運動について(全体)



図表 19 ごみ減量化の3R運動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (2)公園・緑地

### 公園・緑地の整備状況について

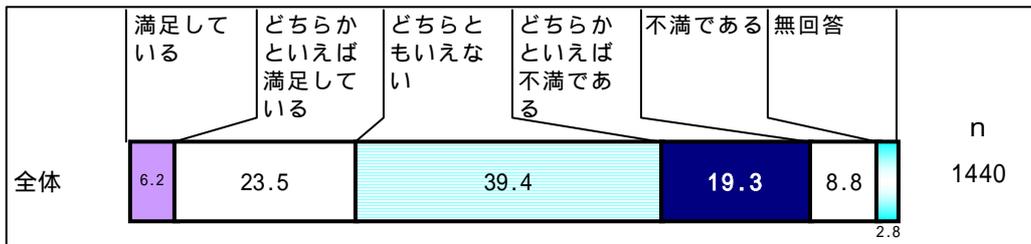
問8 公園・緑地についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の公園・緑地の整備状況について満足していますか。

“満足している”が29.7%、“不満である”が28.1%。

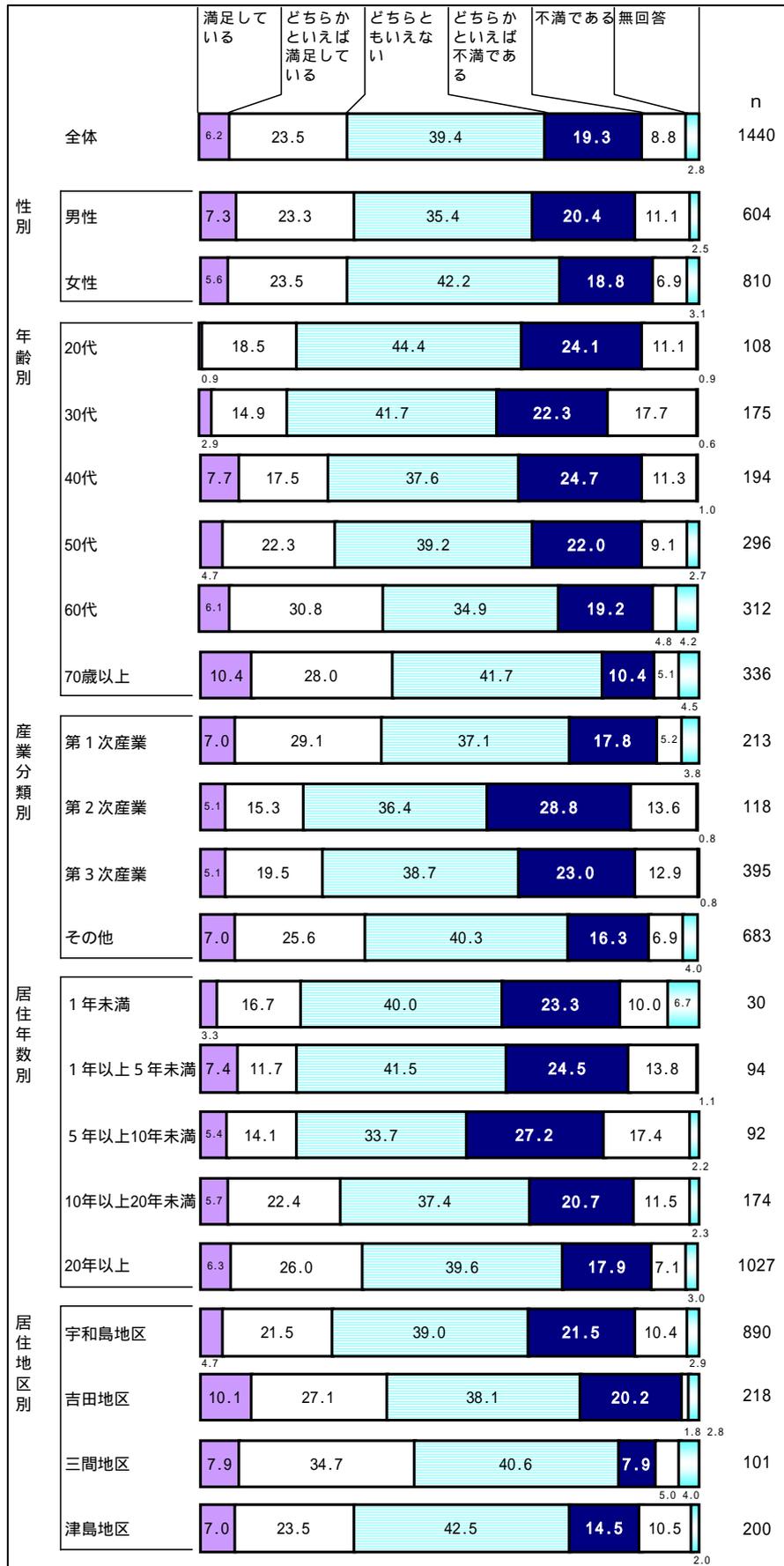
公園・緑地の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(6.2%)と「どちらかといえば満足している」(23.5%)をあわせた“満足している”という人が29.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」19.3%及び「不満である」8.8%の合計)は28.1%となっている。[図表20参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(19.4%)、30代(17.8%)、居住年数別の1年以上5年未満(19.1%)、5年以上10年未満(19.5%)で2割を下回って低く、一方、居住地区別の三間地区(42.6%)では4割強と高く、全体(29.7%)と10ポイント以上の差がみられる。[図表21参照]

図表20 公園・緑地の整備状況について(全体)



図表 21 公園・緑地の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 緑化運動や花づくり運動について

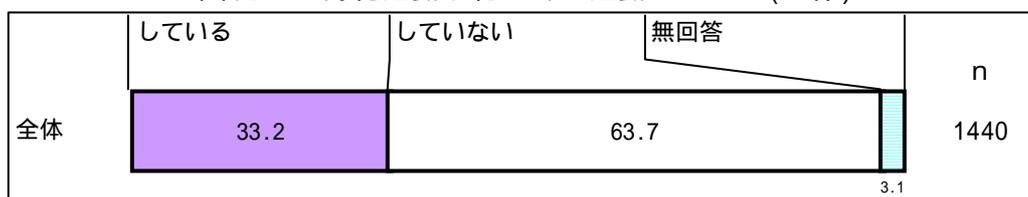
問8 公園・緑地についておたずねします。  
(2)あなたは、緑化運動や花づくり運動をしていますか。

「している」が33.2%、「していない」が63.7%。

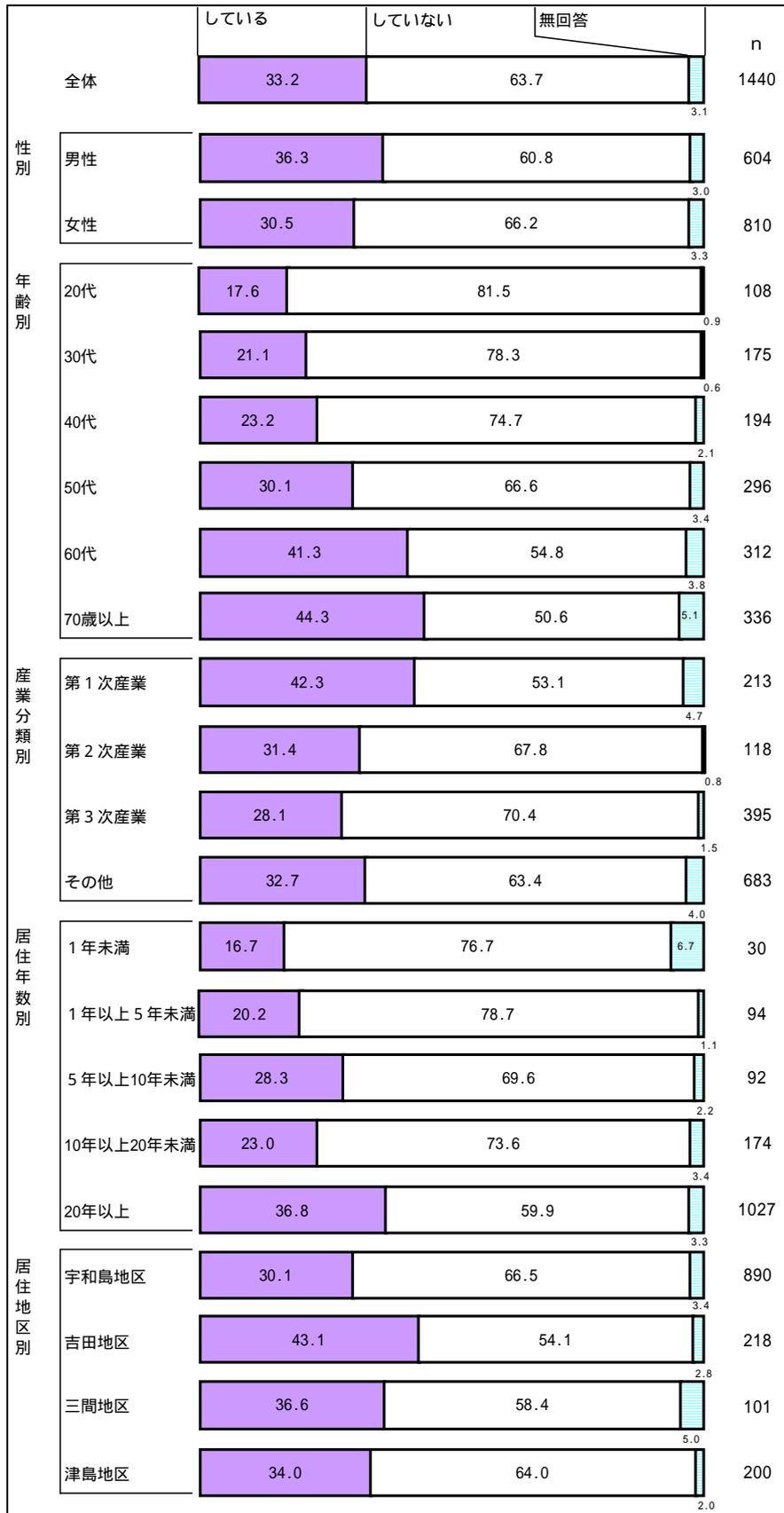
緑化運動や花づくり運動をしているかたずねたところ、「している」と回答した人が33.2%、一方、「していない」と回答した人は63.7%と、およそ3人に1人が緑化運動や花づくり運動をしている結果となった。[ 図表 22 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別では男性(36.3%)の方が女性(30.5%)よりも若干高くなっている。年齢別では加齢とともに割合が高くなり、20代(17.6%)で最も低く、70歳以上(44.3%)で最も高くなっており、約27ポイントの差がみられる。また、居住地区別では他地区に比べて吉田地区(43.1%)がやや高く4割を超えている。[ 図表 23 参照 ]

図表 22 緑化運動や花づくり運動について(全体)



図表 23 緑化運動や花づくり運動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



### (3)住宅・宅地

#### 公営住宅の整備状況について

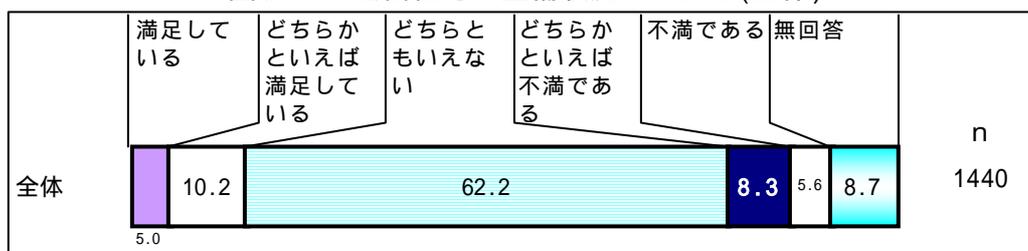
問9 住宅・宅地についておたずねします。  
 (1)あなたは、宇和島市の公営住宅の整備状況について満足していますか。

“満足している”が15.2%、“不満である”が13.9%。

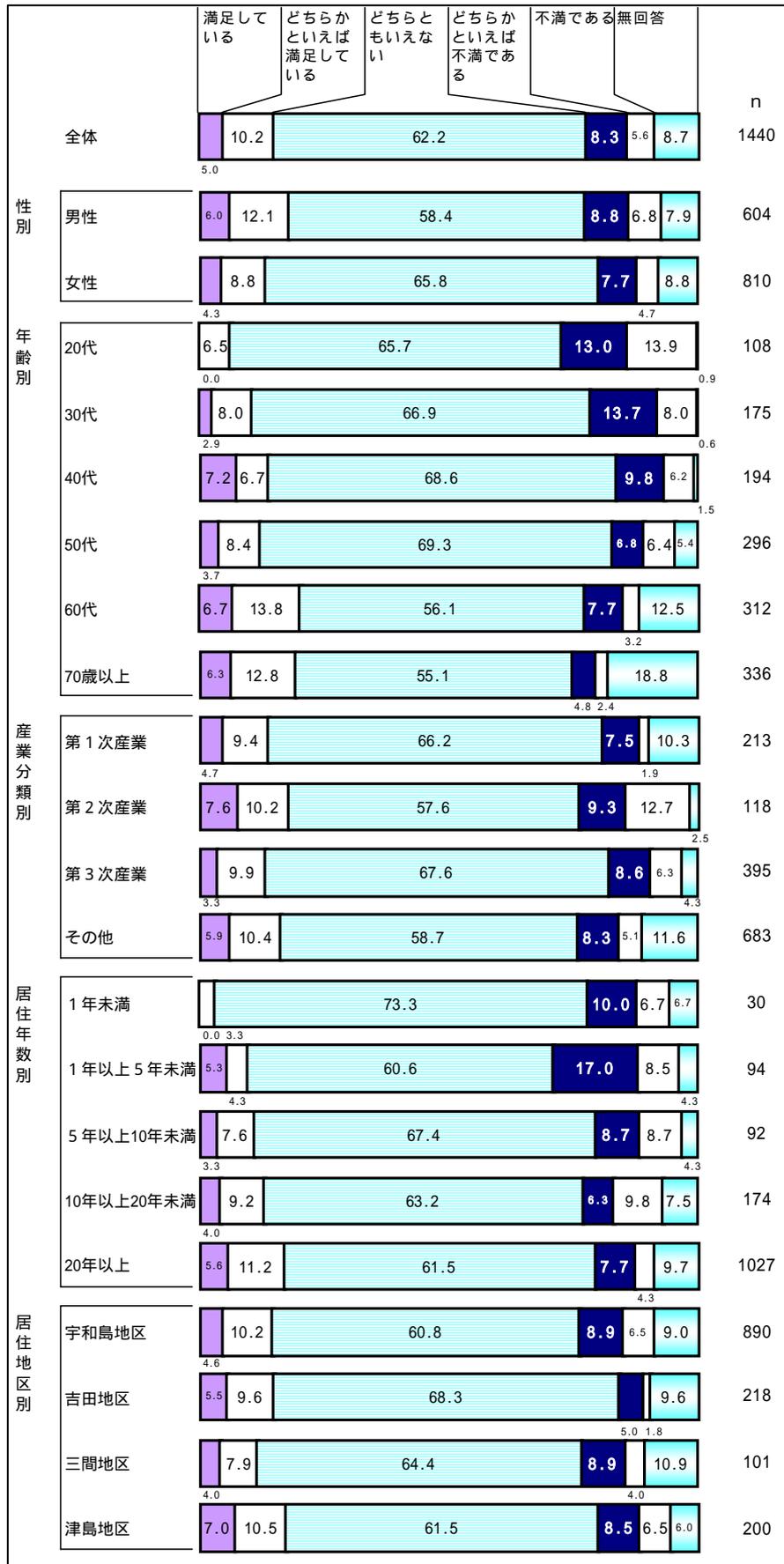
公営住宅の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(5.0%)と「どちらかといえば満足している」(10.2%)をあわせた“満足している”という人が15.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.3%及び「不満である」5.6%の合計)は13.9%となっている。[図表24参照]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別では20代(26.9%)、30代(21.7%)では2割を超えて高くなっている。産業分類別では第2次産業(22.0%)で高く、居住年数別では1年以上5年未満(25.5%)で高くなっている。[図表25参照]

図表24 公営住宅の整備状況について(全体)



図表 25 公営住宅の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



#### (4)水道

##### 水道の整備状況について

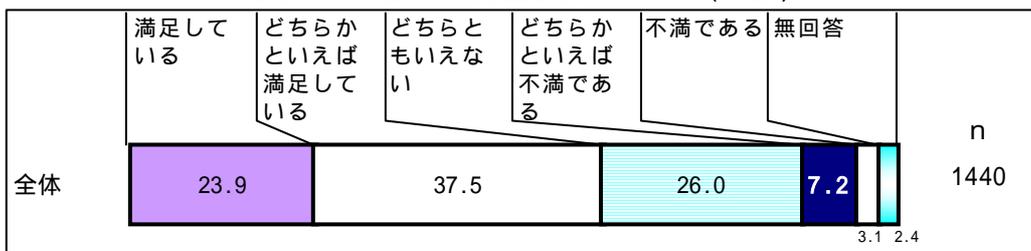
問 10 水道についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の水道の整備状況について満足していますか。

“満足している”が61.4%、“不満である”が10.3%。

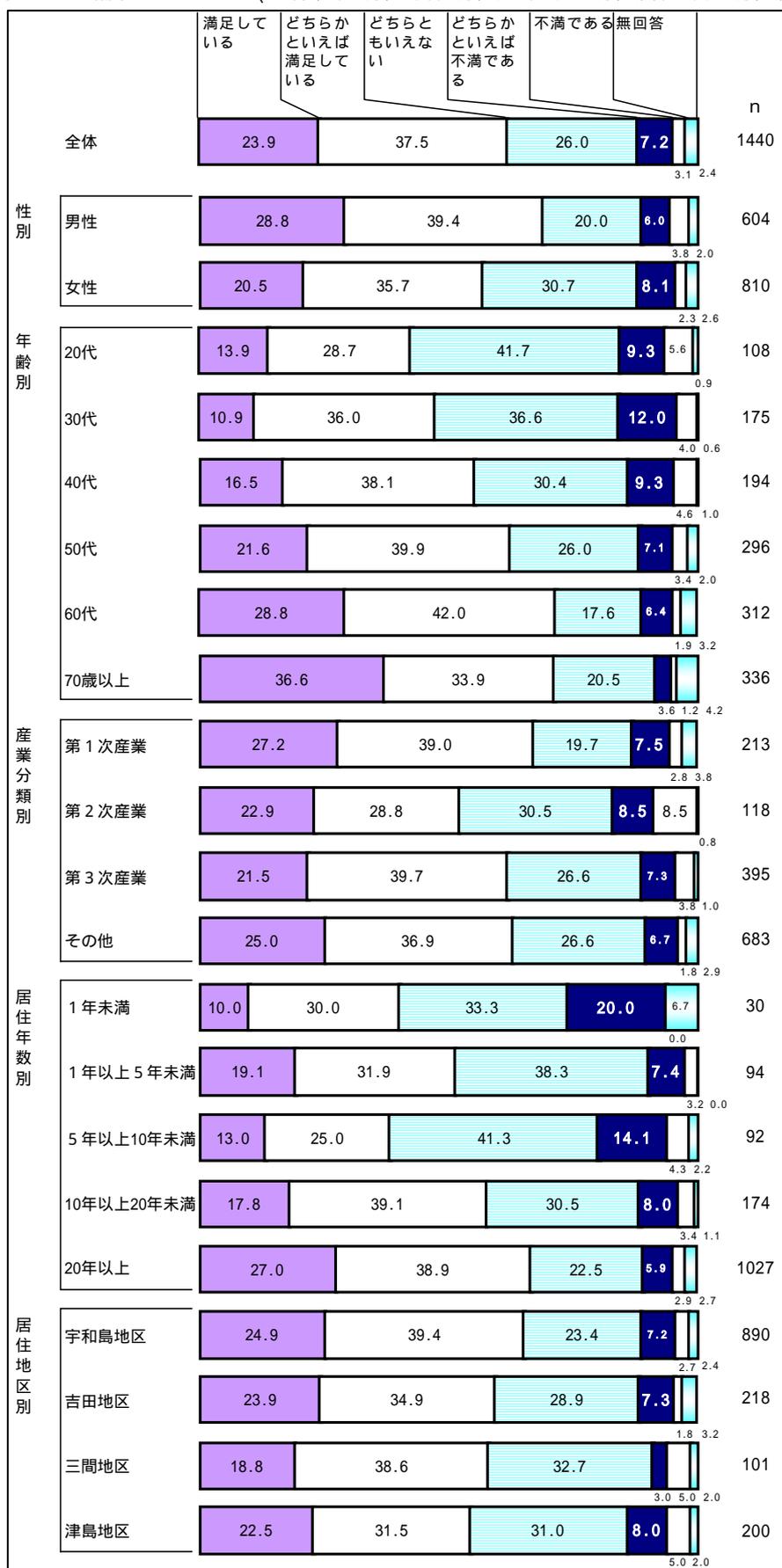
水道の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(23.9%)と「どちらかといえば満足している」(37.5%)をあわせた“満足している”という人が61.4%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」7.2%及び「不満である」3.1%の合計)は10.3%となっている。[図表26参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(42.6%)、30代(46.9%)、居住年数別の1年未満(40.0%)、1年以上5年未満(51.0%)、5年以上10年未満(38.0%)で低く、全体(61.4%)と10ポイント以上の差がみられる。[図表27参照]

図表 26 水道の整備状況について(全体)



図表 27 水道の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 節水について

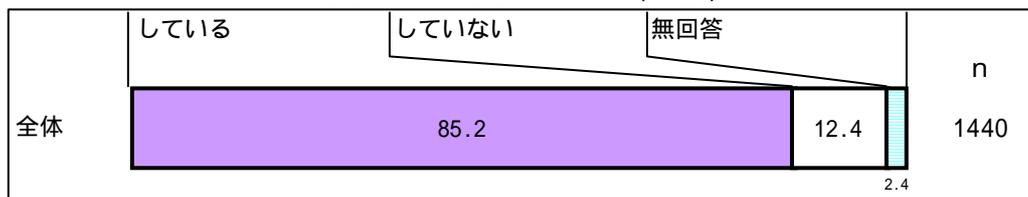
問 10 水道についておたずねします。  
(2)あなたは、日頃から節水をしていますか。

「している」が 85.2%、「していない」が 12.4%。

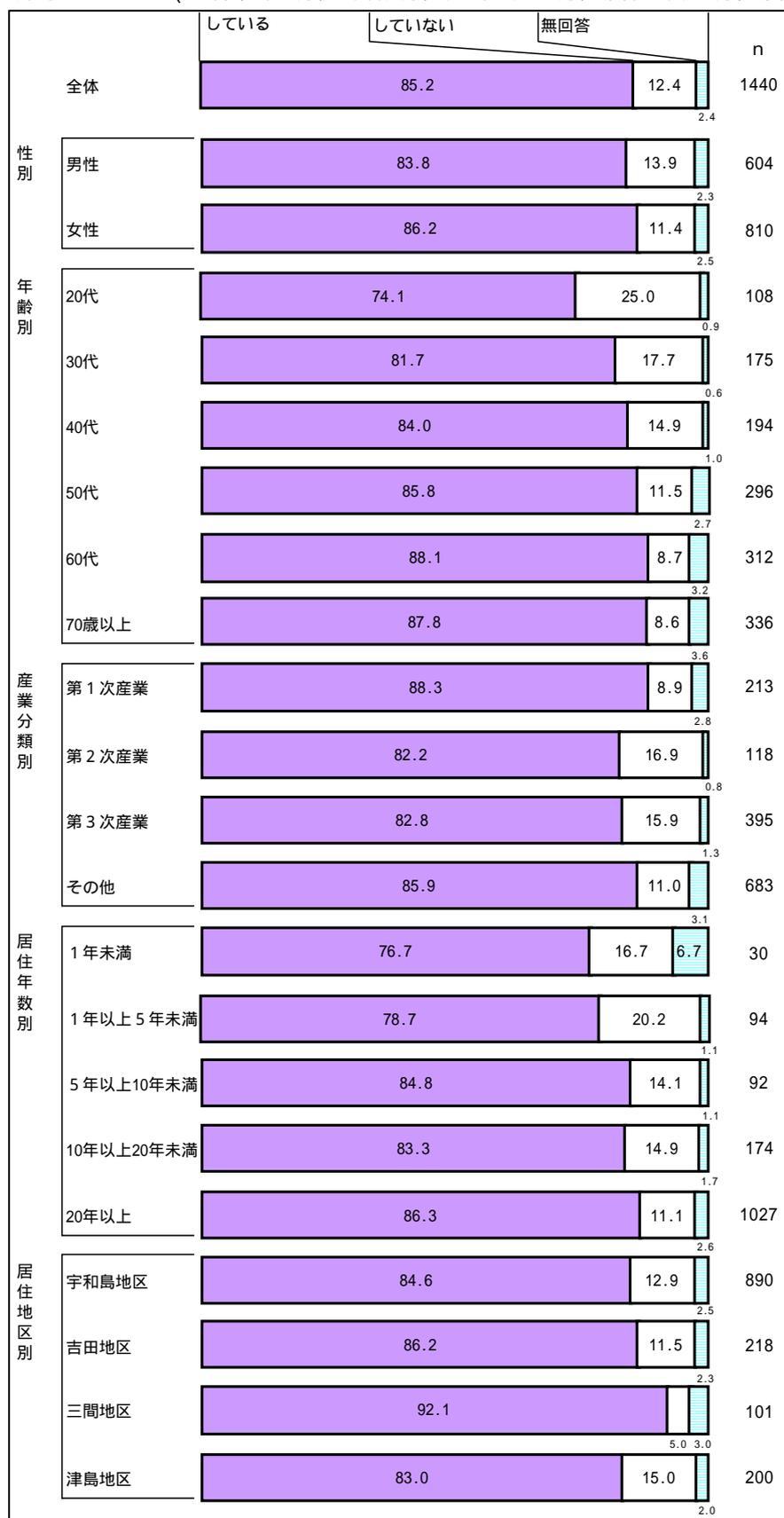
日頃から節水をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 85.2%、一方、「していない」と回答した人は 12.4%と、8割以上の方が節水をしている結果となった。[ 図表 28 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では 20 代(74.1%)で 8 割を下回り最も低くなっている。また、居住地区別では三間地区で 92.1%と非常に高くなっている。[ 図表 29 参照 ]

図表 28 節水について(全体)



図表 29 節水について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (5) 下水道

### 下水道の整備状況について

問 11 下水道についておたずねします。

(1) あなたは、宇和島市の下水道(公共下水道、集落排水、合併処理浄化槽)の整備状況について満足していますか。

“満足している”が29.1%、“不満である”が27.0%。

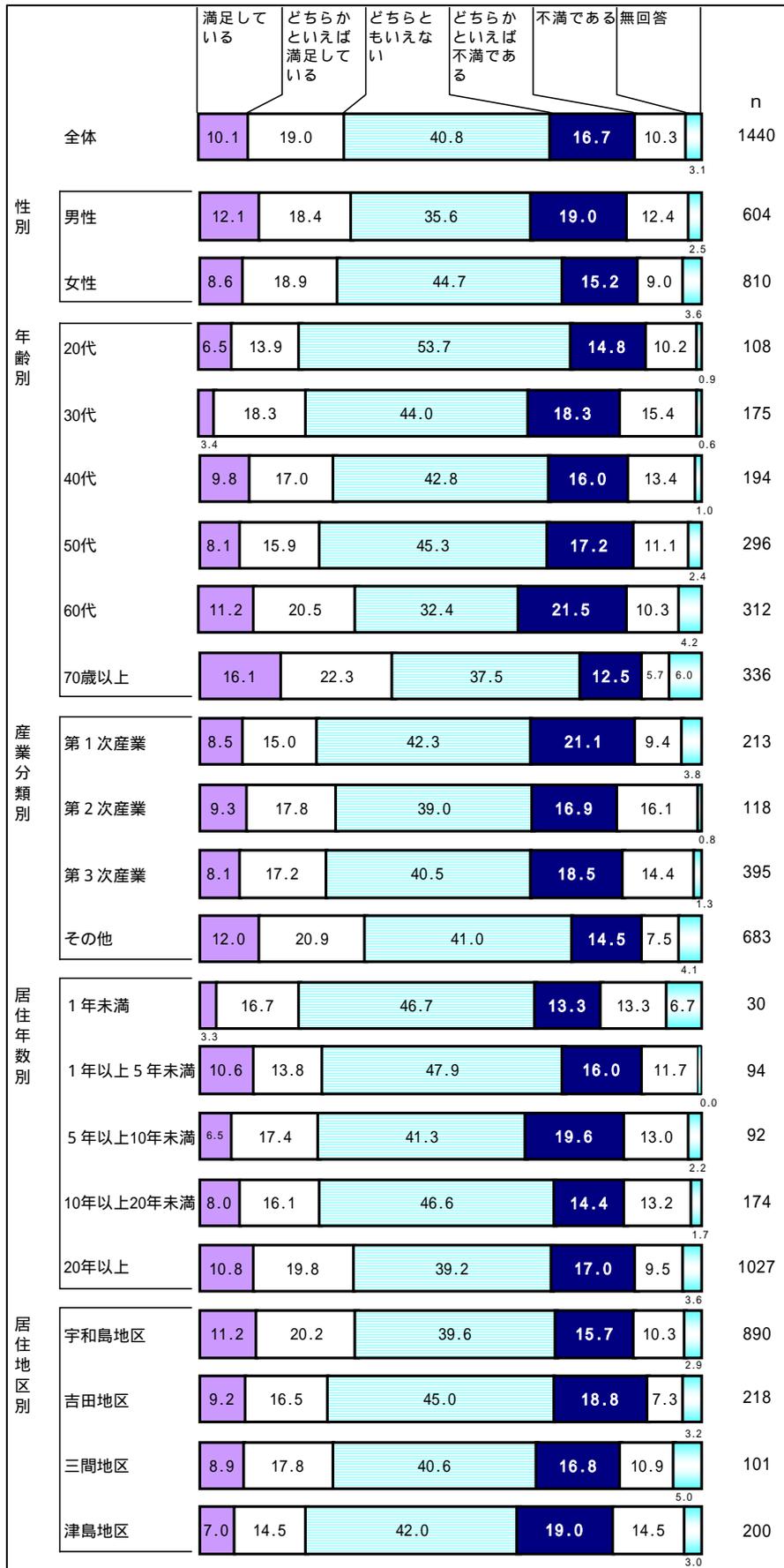
下水道の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(10.1%)と「どちらかといえば満足している」(19.0%)をあわせた“満足している”という人が29.1%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」16.7%及び「不満である」10.3%の合計)は27.0%となっている。[図表30参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別では概ね加齢とともに満足度が高くなり、最も低い20代では20.4%、最も高い70歳以上では38.4%と、その差は18ポイントとなっている。また、居住地区別では、宇和島地区(31.4%)が最も高く、津島地区(21.5%)で最も低くなっている。[図表31参照]

図表30 下水道の整備状況について(全体)

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	無回答	n
全体	10.1	19.0	40.8	16.7	10.3	3.1	1440

図表 31 下水道の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (6) 消防・防災

### 消防・防災体制について

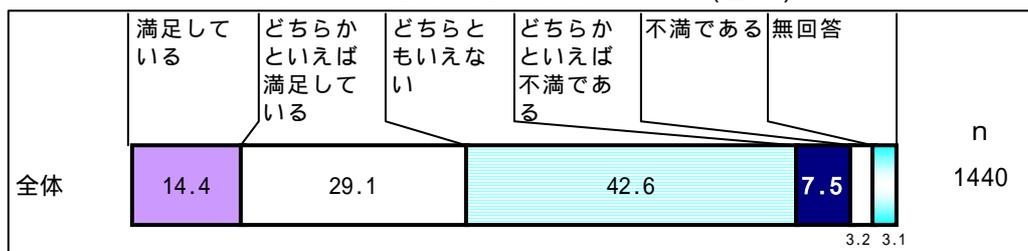
問 12 消防・防災についておたずねします。  
 (1)あなたは、宇和島市の消防・防災体制に満足していますか。

“満足している”が43.5%、“不満である”が10.7%。

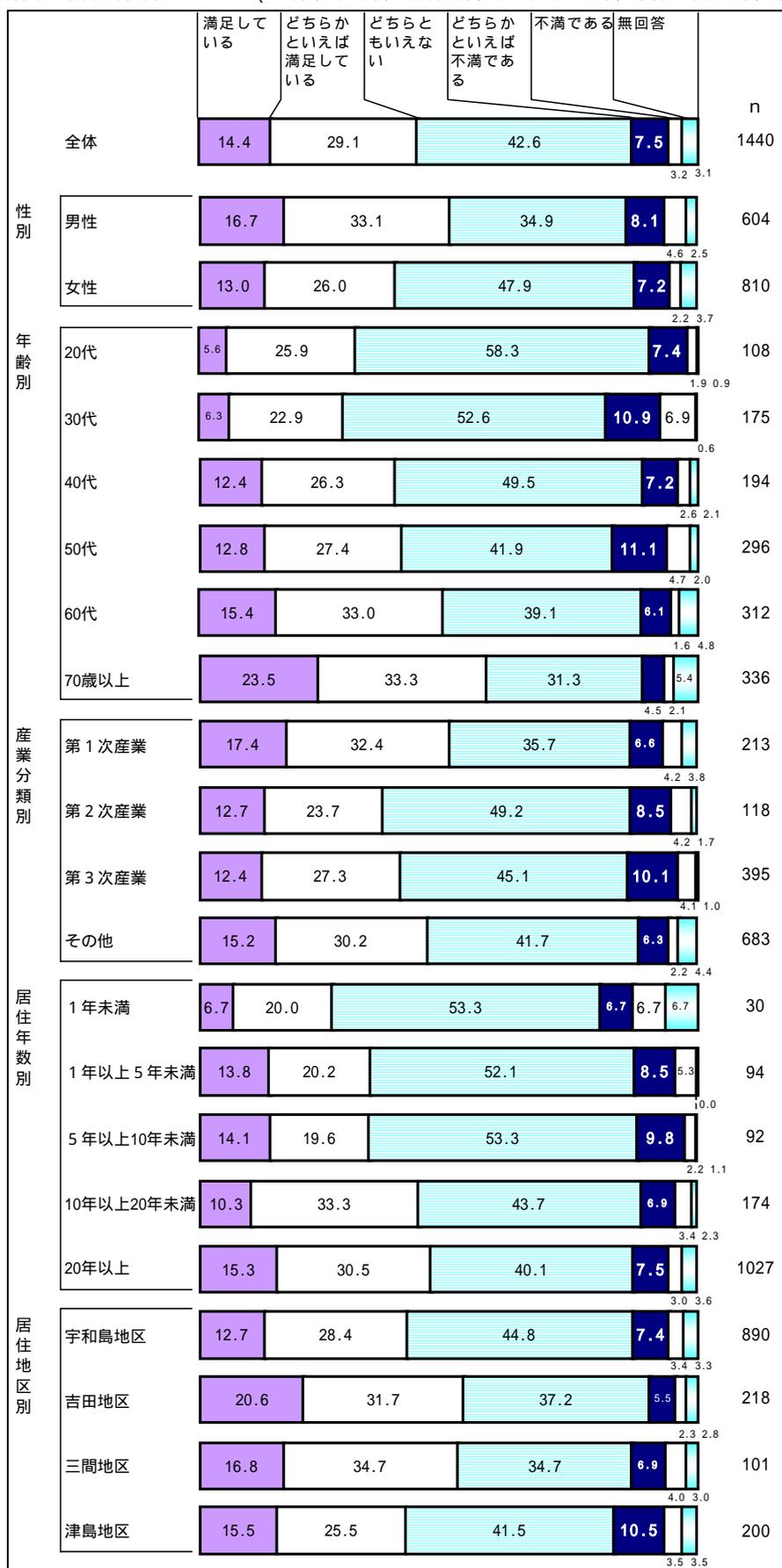
消防・防災体制について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(14.4%)と「どちらかといえば満足している」(29.1%)をあわせた“満足している”という人が43.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」7.5%及び「不満である」3.2%の合計)は10.7%となっている。[図表32参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(31.5%)、30代(29.2%)、居住年数別の1年未満(26.7%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(56.8%)で高く、全体(43.5%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では、吉田地区(52.3%)と三間地区(51.5%)では高く、宇和島地区(41.1%)と津島地区(41.0%)では低くなっており、居住地区によって満足度に差があることがうかがえる。[図表33参照]

図表32 消防・防災体制について(全体)



図表 33 消防・防災体制について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 避難路・避難場所について

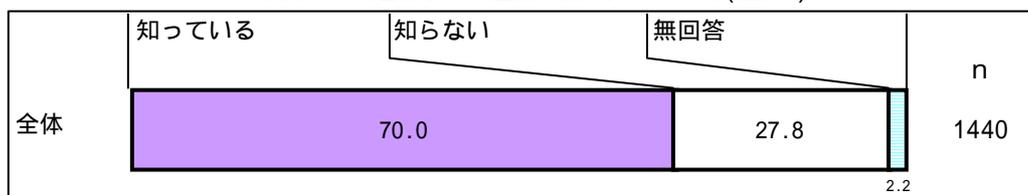
問 12 消防・防災についておたずねします。  
(2)あなたは、避難路・避難場所を知っていますか。

「知っている」が70.0%、「知らない」が27.8%。

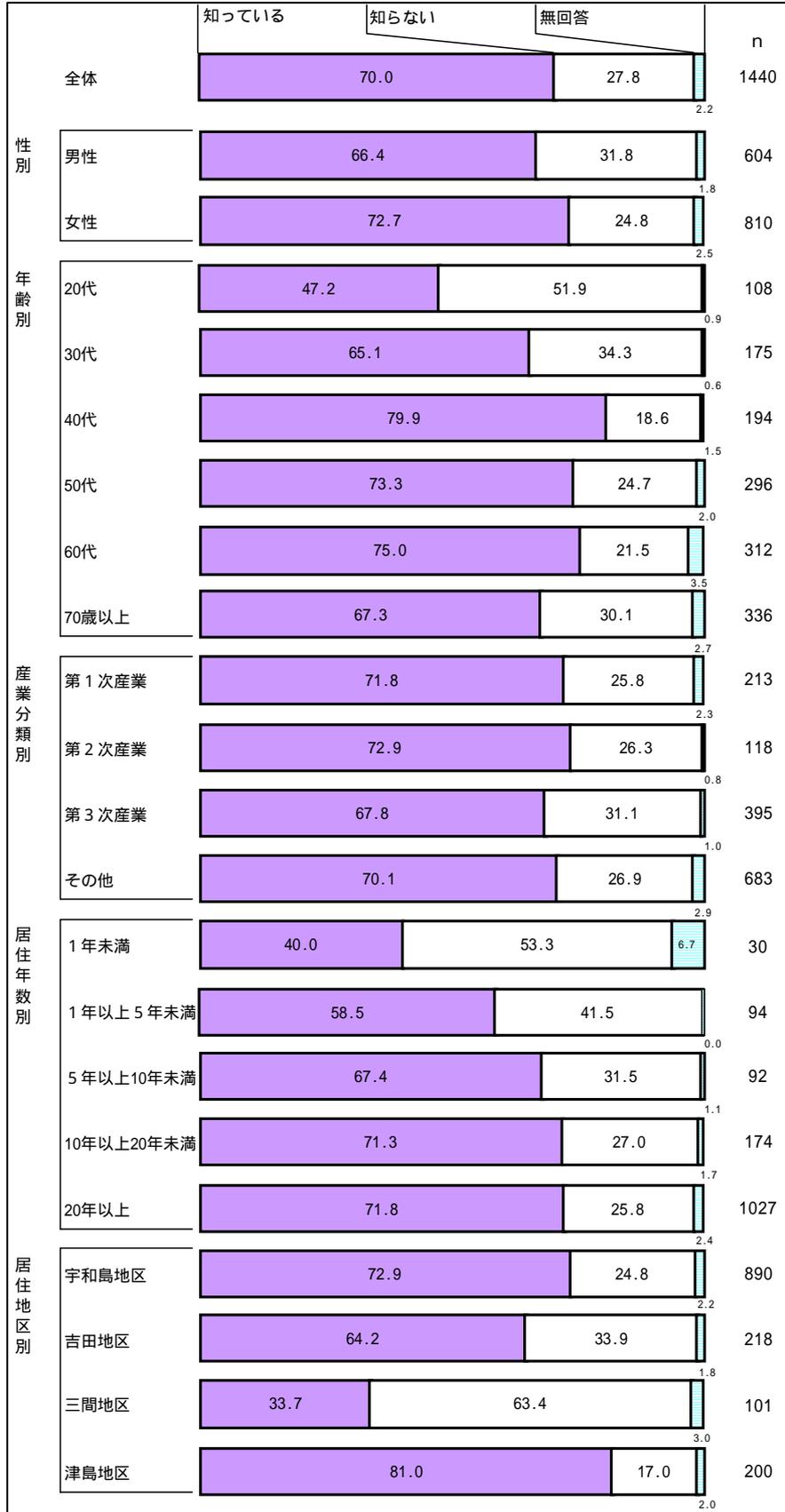
避難路・避難場所を知っているかをたずねたところ、「知っている」と回答した人が70.0%、一方、「知らない」と回答した人は27.8%と、3割弱の人が避難路・避難場所を知らない結果となった。[ 図表 34 参照 ]

属性別で「知らない」と回答した割合をみると、性別では男性(31.8%)の方が女性(24.8%)よりもやや高い結果となっている。年齢別では20代(51.9%)で5割を上回り最も高くなっている。また、30代(34.3%)や70歳以上(30.1%)でも3割を上回り比較的高くなっている。居住年数別にみると、居住期間が長くなるとともに「知らない」割合は低くなる傾向がみられ、1年未満(53.3%)が最も高いのに対し、20年以上(25.8%)が最も低くなっている。また、居住地区別では、三間地区で63.4%と6割以上の人が「知らない」と回答しており、地域格差が大きいことがうかがえる。[ 図表 35 参照 ]

図表 34 避難路・避難場所について(全体)



図表 35 避難路・避難場所について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 災害対策について

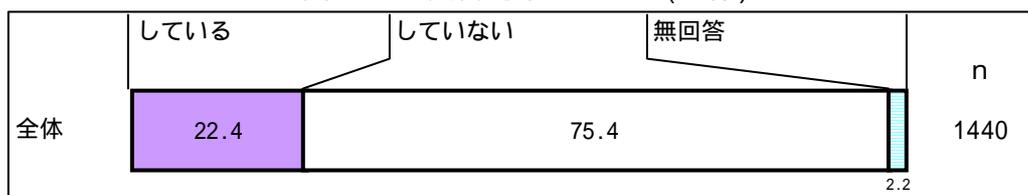
問 12 消防・防災についておたずねします。  
(3)あなたは、食料・飲料の備蓄や家具の転倒防止など災害対策をしていますか。

「している」が 22.4%、「していない」が 75.4%。

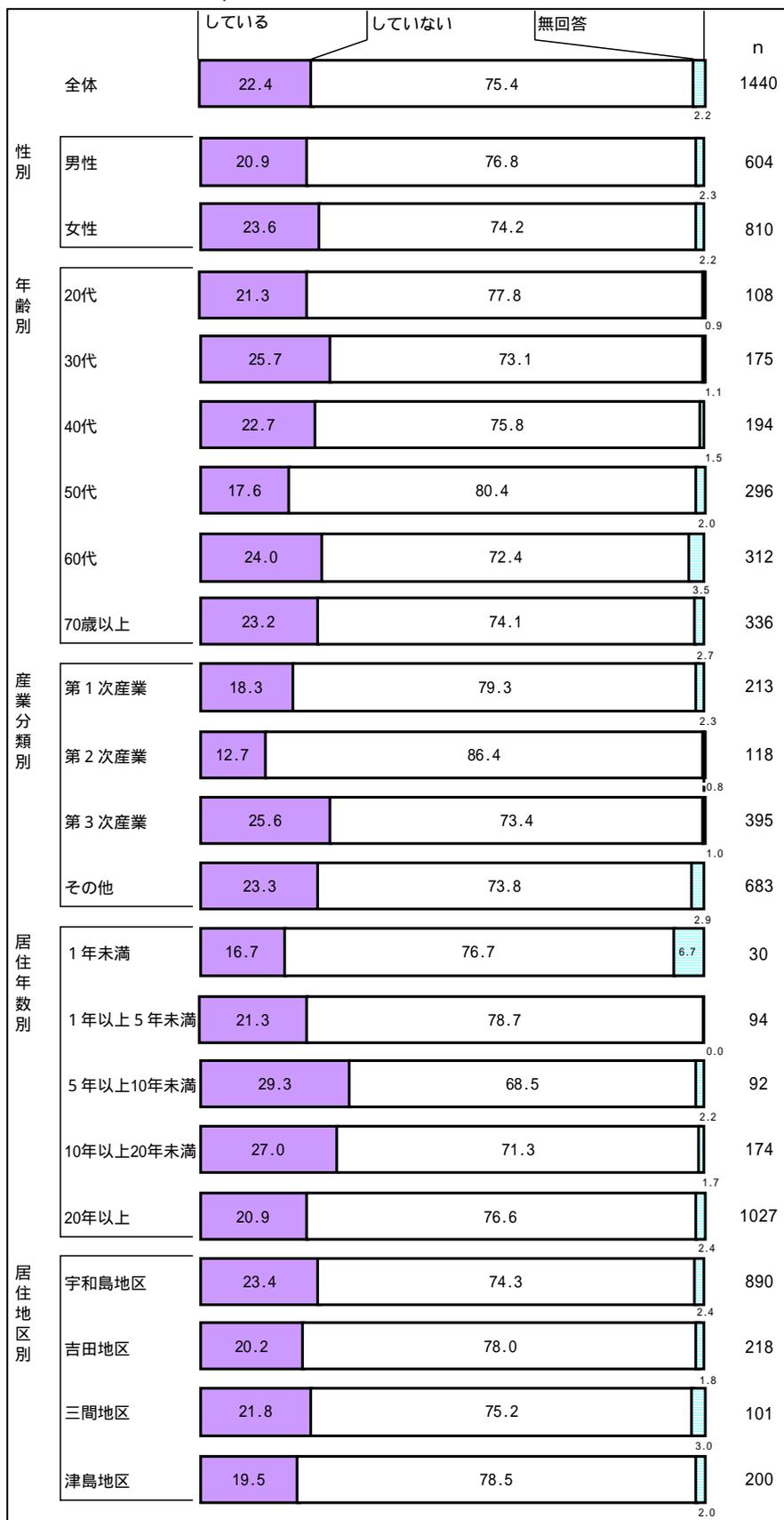
食料・飲料の備蓄や家具の転倒防止など災害対策をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 22.4%、一方、「していない」と回答した人は 75.4%と、およそ 4 人に 3 人が災害対策をしていない結果となった。[ 図表 36 参照 ]

属性別で「していない」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では 50 代(80.4%)で 8 割を上回り最も高くなっている。また、居住地区別では大きな差はみられない。[ 図表 37 参照 ]

図表 36 災害対策について(全体)



図表 37 災害対策について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (7)交通安全・防犯

### 交通安全・防犯体制について

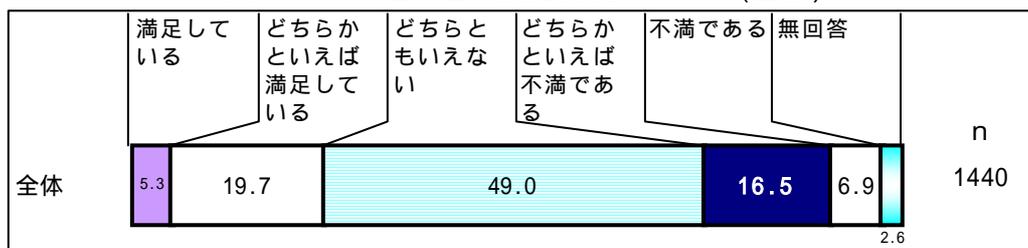
問 13 交通安全・防犯についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の交通安全・防犯体制について満足していますか。

“満足している”が25.0%、“不満である”が23.4%。

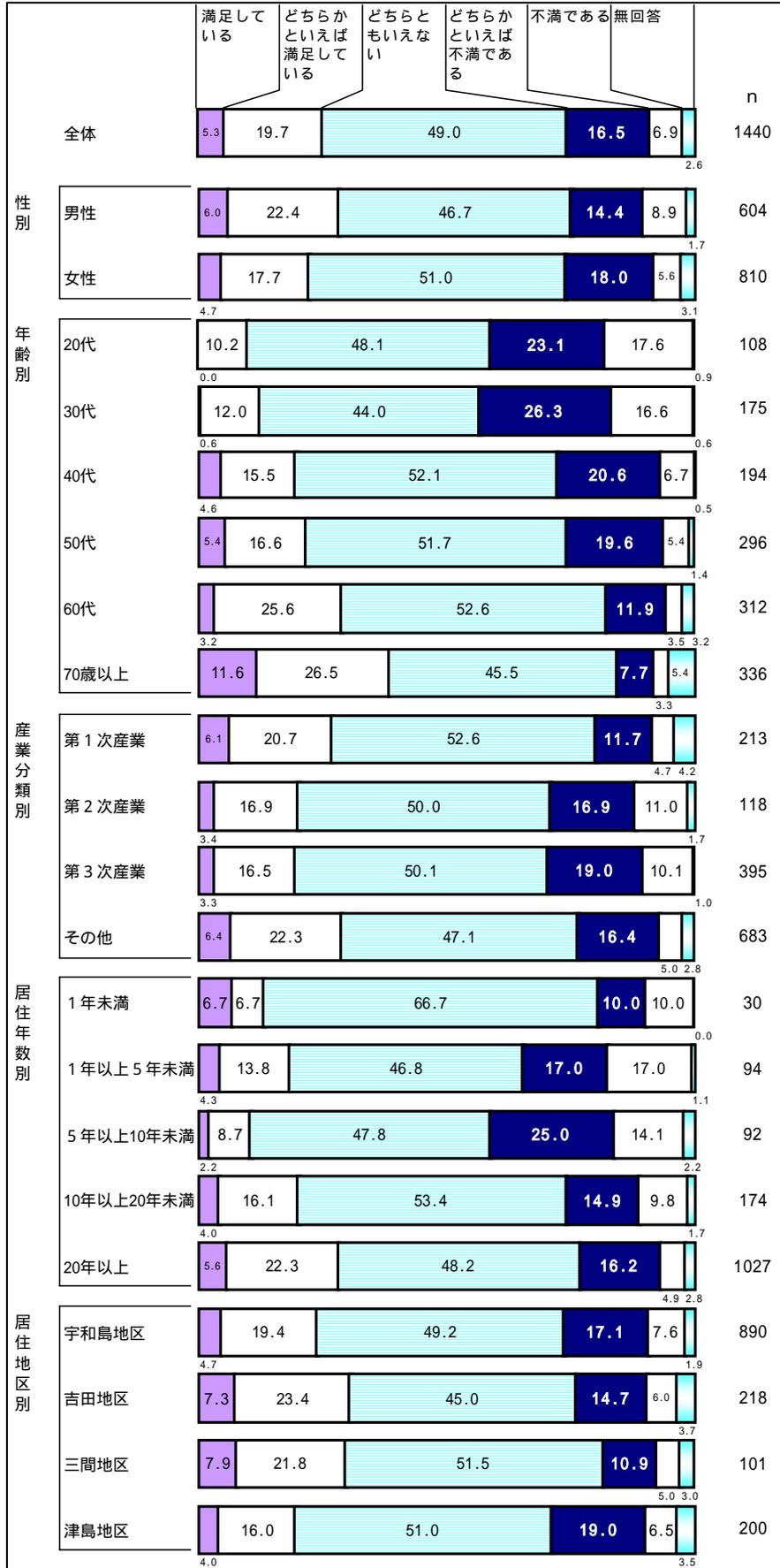
交通安全・防犯体制について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(5.3%)と「どちらかといえば満足している」(19.7%)をあわせた“満足している”という人が25.0%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」16.5%及び「不満である」6.9%の合計)は23.4%となっている。[図表38参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(10.2%)、30代(12.6%)、居住年数別の1年未満(13.4%)、5年以上10年未満(10.9%)で低く、全体(25.0%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では、吉田地区(30.7%)と三間地区(29.7%)では3割前後を占めているのに対し、津島地区(20.0%)では2割にとどまり、居住地区によって満足度に差があることがうかがえる。[図表39参照]

図表38 交通安全・防犯体制について(全体)



図表 39 交通安全・防犯体制について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 地域の防犯活動について

問 13 交通安全・防犯についておたずねします。  
(2)あなたは、身近な地域での防犯活動に参加していますか。

「している」が 17.9%、「していない」が 79.6%。

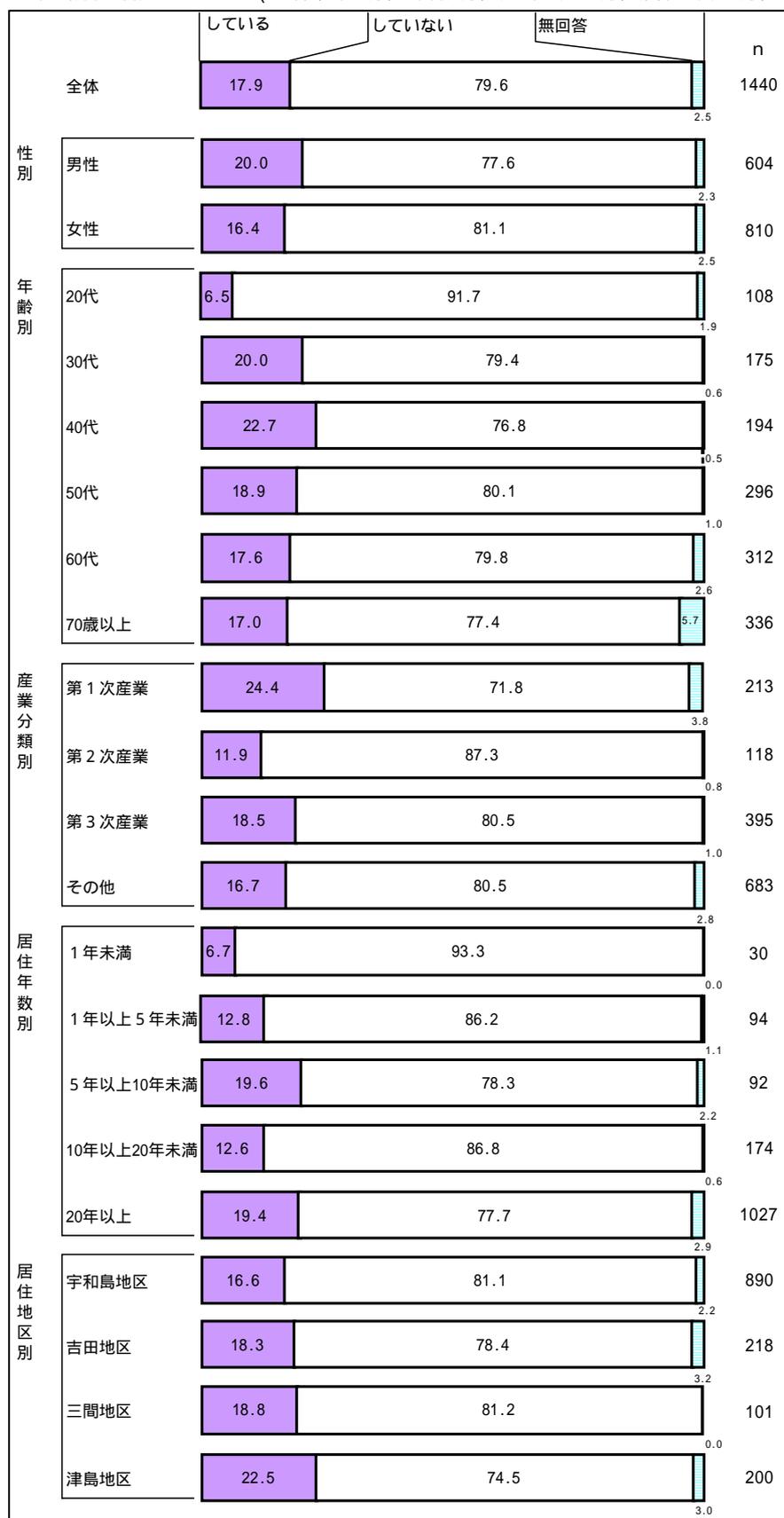
身近な地域での防犯活動に参加しているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 17.9%、一方、「していない」と回答した人は 79.6%と、約 8 割の人が防犯活動に参加していない結果となった。[ 図表 40 参照 ]

属性別で「していない」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では 20 代(91.7%)で 9 割を上回り最も高くなっている。また、居住地区別では大きな差はみられない。[ 図表 41 参照 ]

図表 40 地域の防犯活動について(全体)



図表 41 地域の防犯活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (8)市街地整備

### 中心市街地の整備状況について

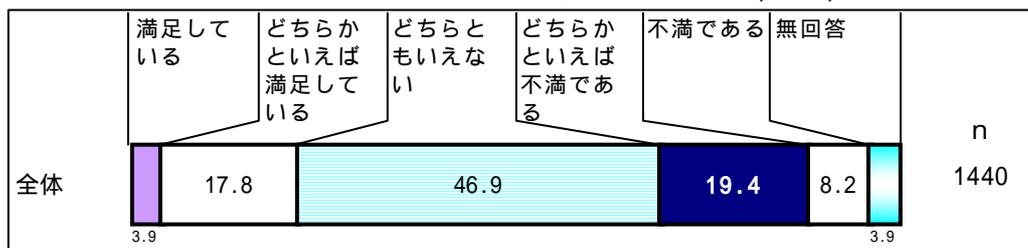
問 14 市街地整備についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の中心市街地の整備状況について満足していますか。

“満足している”が21.7%、“不満である”が27.6%。

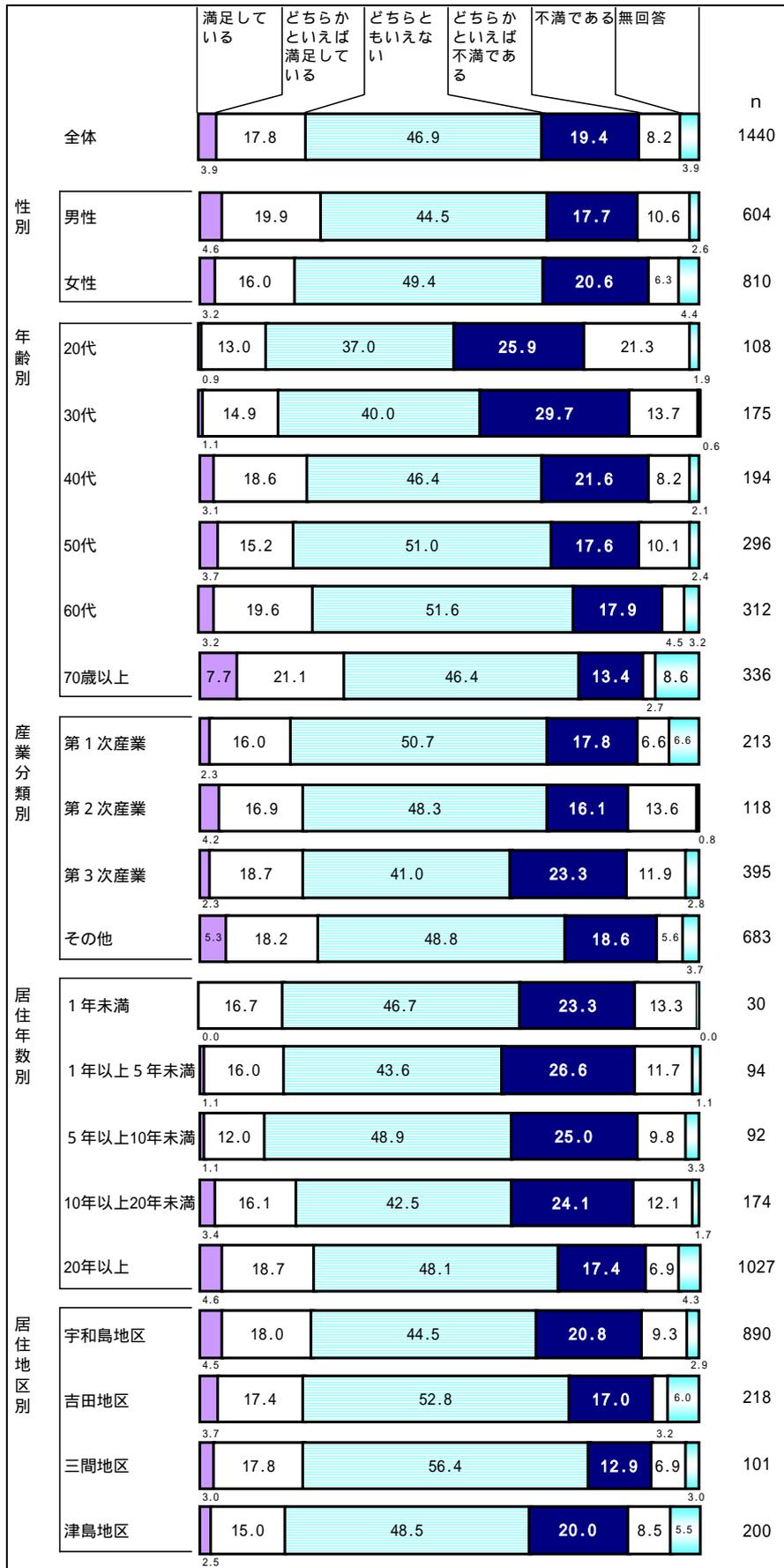
中心市街地の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.9%)と「どちらかといえば満足している」(17.8%)をあわせた“満足している”という人が21.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」19.4%及び「不満である」8.2%の合計)は27.6%となっている。[ 図表 42 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(47.2%)、30代(43.4%)、居住年数別の1年以上5年未満(38.3%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(16.1%)で低く、全体(27.6%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では、吉田地区(20.2%)と三間地区(19.8%)では2割前後となっているのに対し、宇和島地区(30.1%)と津島地区(28.5%)では3割前後を占めており、居住地区によって満足度に若干の差があることがうかがえる。[ 図表 43 参照 ]

図表 42 中心市街地の整備状況について(全体)



図表 43 中心市街地の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 街並み景観について

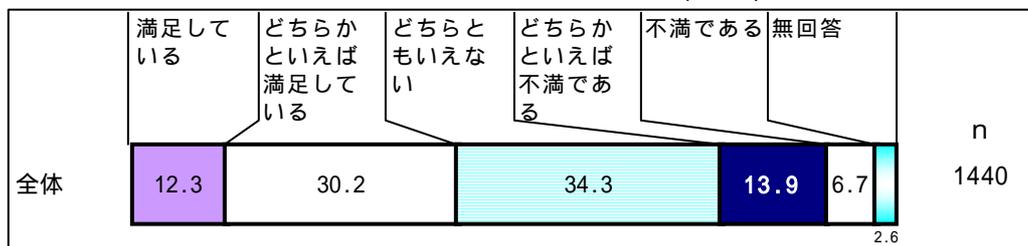
問 14 市街地整備についておたずねします。  
 (2)あなたは、お住まいの周りの街並み景観について満足していますか。

“満足している”が42.5%、“不満である”が20.6%。

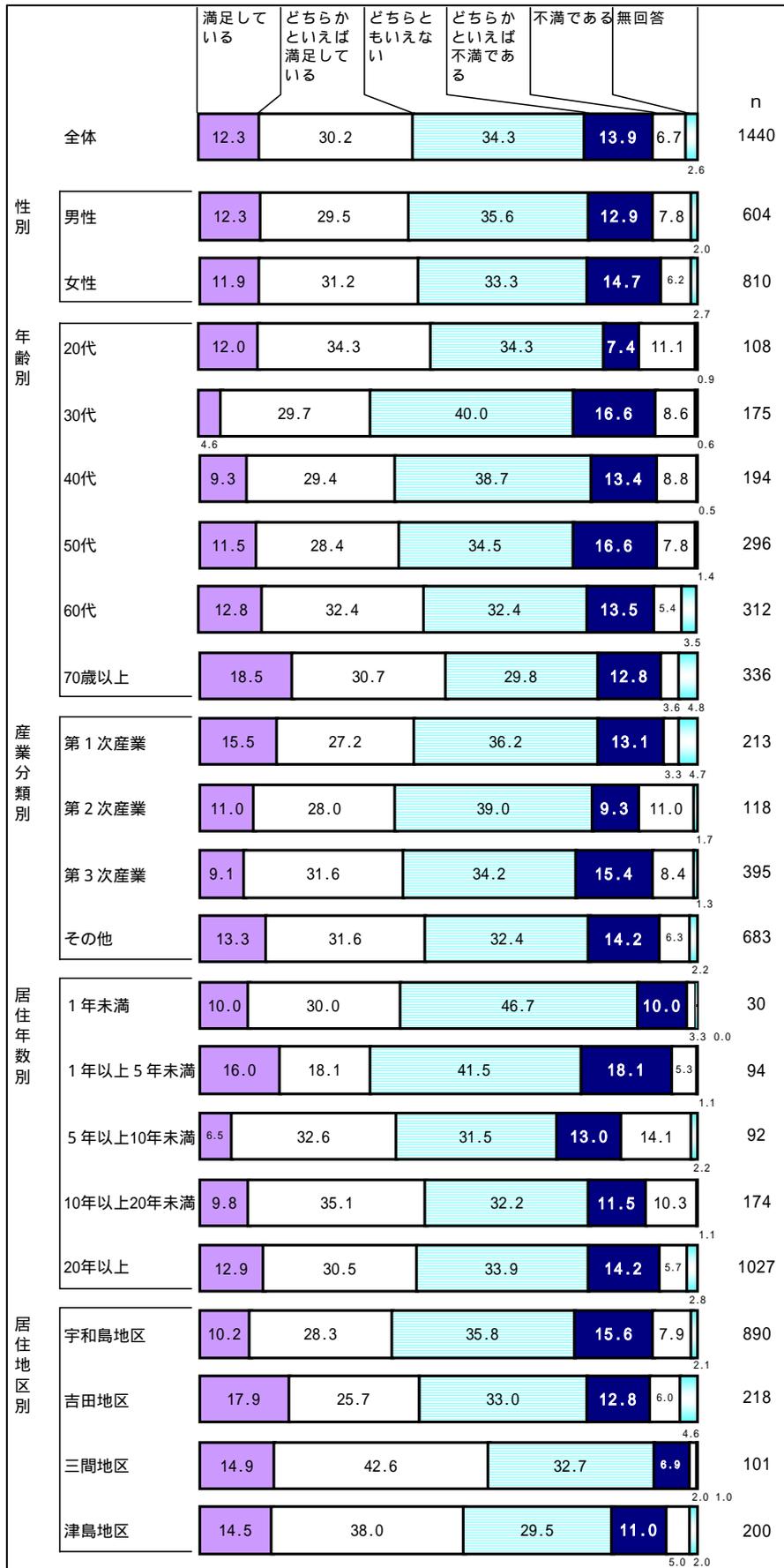
お住まいの周りの街並み景観について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(12.3%)と「どちらかといえば満足している」(30.2%)をあわせた“満足している”という人が42.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」13.9%及び「不満である」6.7%の合計)は20.6%となっている。[\[ 図表 44 参照 \]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、居住地区別の三間地区(57.5%)、津島地区(52.5%)で高く、全体(42.5%)と10ポイント以上の差がみられる。[\[ 図表 45 参照 \]](#)

図表 44 街並み景観について(全体)



図表 45 街並み景観について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (9)道路・交通網

### 道路の整備状況について

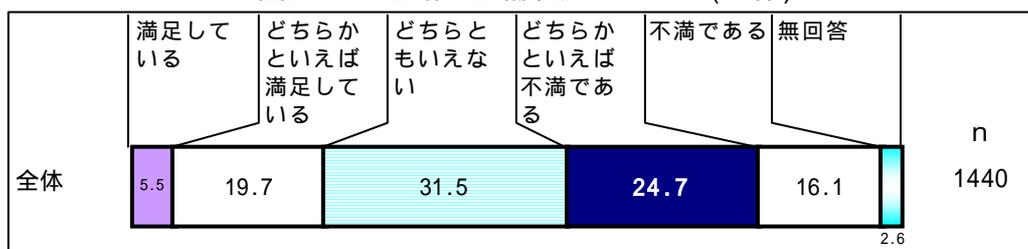
問 15 道路・交通網についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の道路の整備状況について満足していますか。

“満足している”が25.2%、“不満である”が40.8%。

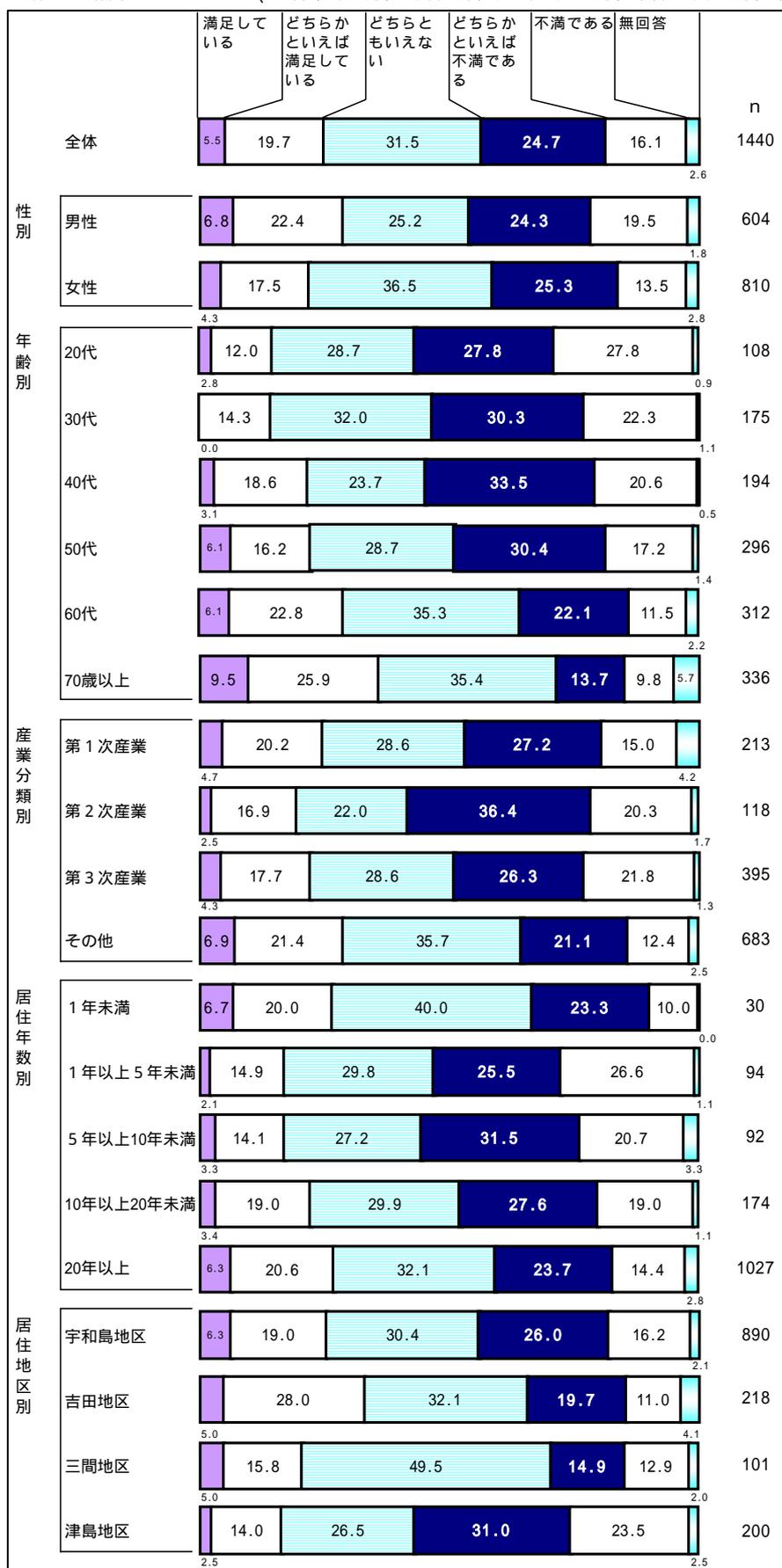
道路の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(5.5%)と「どちらかといえば満足している」(19.7%)をあわせた“満足している”という人が25.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」24.7%及び「不満である」16.1%の合計)は40.8%となっている。[図表46参照]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(55.6%)、30代(52.6%)、40代(54.1%)、産業分類別の第2次産業(56.7%)、居住年数別の1年以上5年未満(52.1%)、5年以上10年未満(52.2%)、居住地区別の津島地区(54.5%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(23.5%)、居住地区別の吉田地区(30.7%)、三間地区(27.8%)で低く、全体(40.8%)と10ポイント以上の差がみられる。[図表47参照]

図表46 道路の整備状況について(全体)



図表 47 道路の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 公共交通機関について

問 15 道路・交通網についておたずねします。  
 (2)あなたは、宇和島市の公共交通機関(鉄道、バス、フェリー、高速艇等)の便利さについて満足していますか。

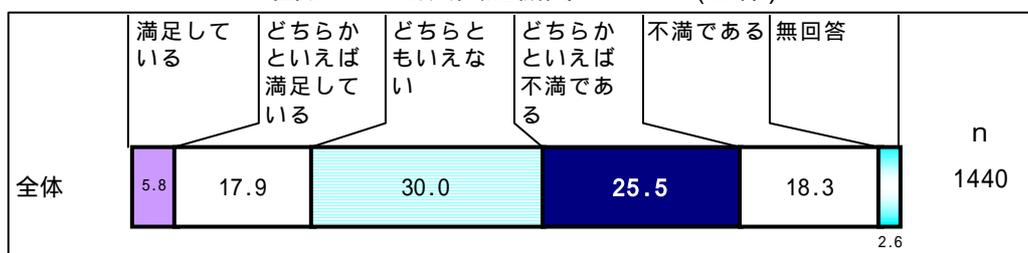
“満足している”が23.7%、“不満である”が43.8%。

公共交通機関の便利さについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(5.8%)と「どちらかといえば満足している」(17.9%)をあわせた“満足している”という人が23.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」25.5%及び「不満である」18.3%の合計)は43.8%となっている。

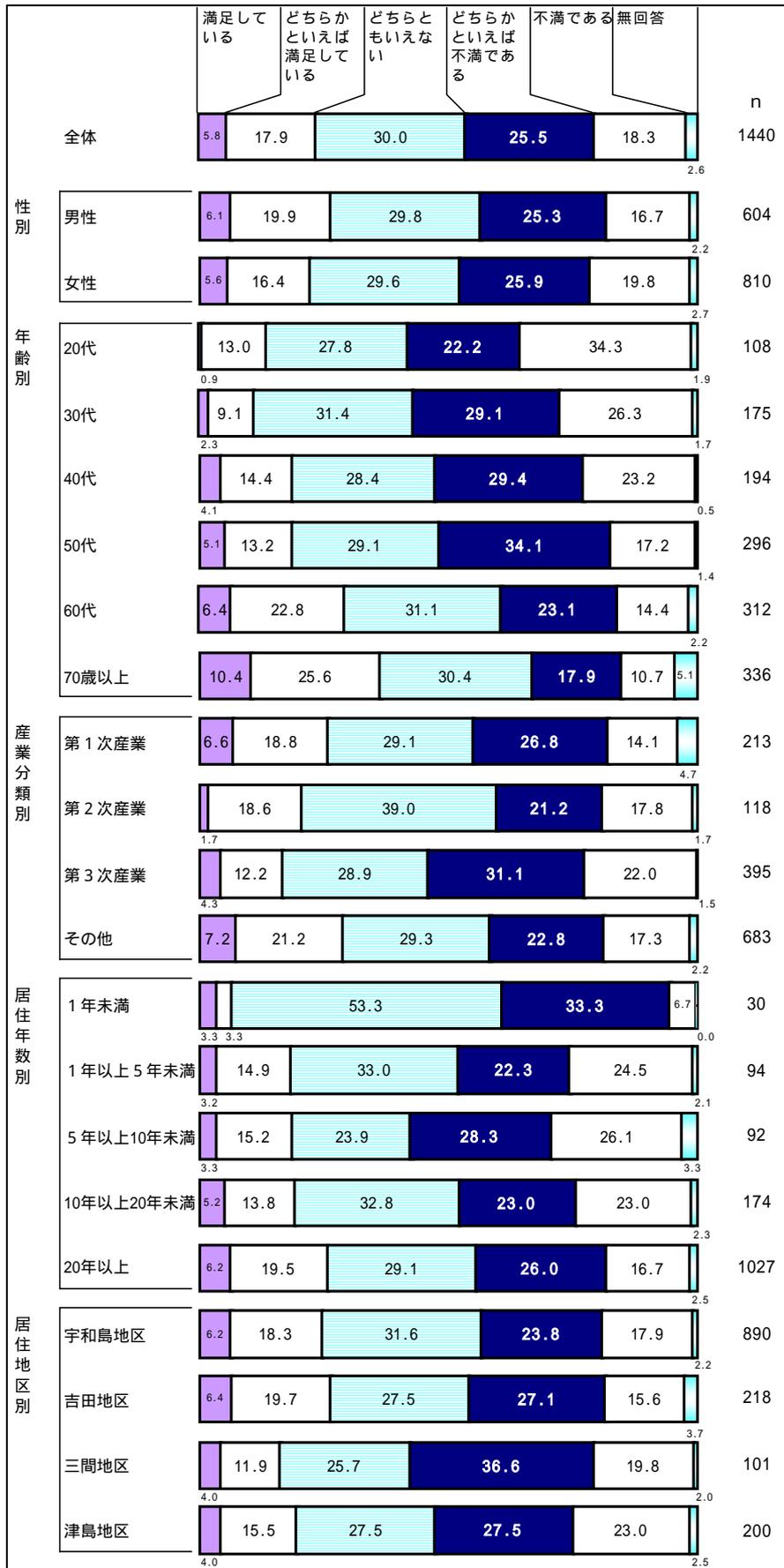
[ 図表 48 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(56.5%)、30代(55.4%)、居住年数別の5年以上10年未満(54.4%)、居住地区別の三間地区(56.4%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(28.6%)で低く、全体(43.8%)と10ポイント以上の差がみられる。[ 図表 49 参照 ]

図表 48 公共交通機関について(全体)



図表 49 公共交通機関について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(10)情報通信網

情報通信網の整備状況について

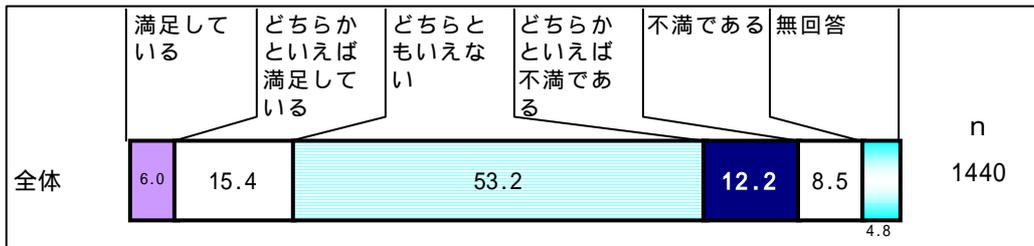
問 16 情報通信網についておたずねします。  
 (1)あなたは、宇和島市の情報通信網(インターネット、ケーブルテレビなど)の整備状況について満足していますか。

“満足している”が21.4%、“不満である”が20.7%。

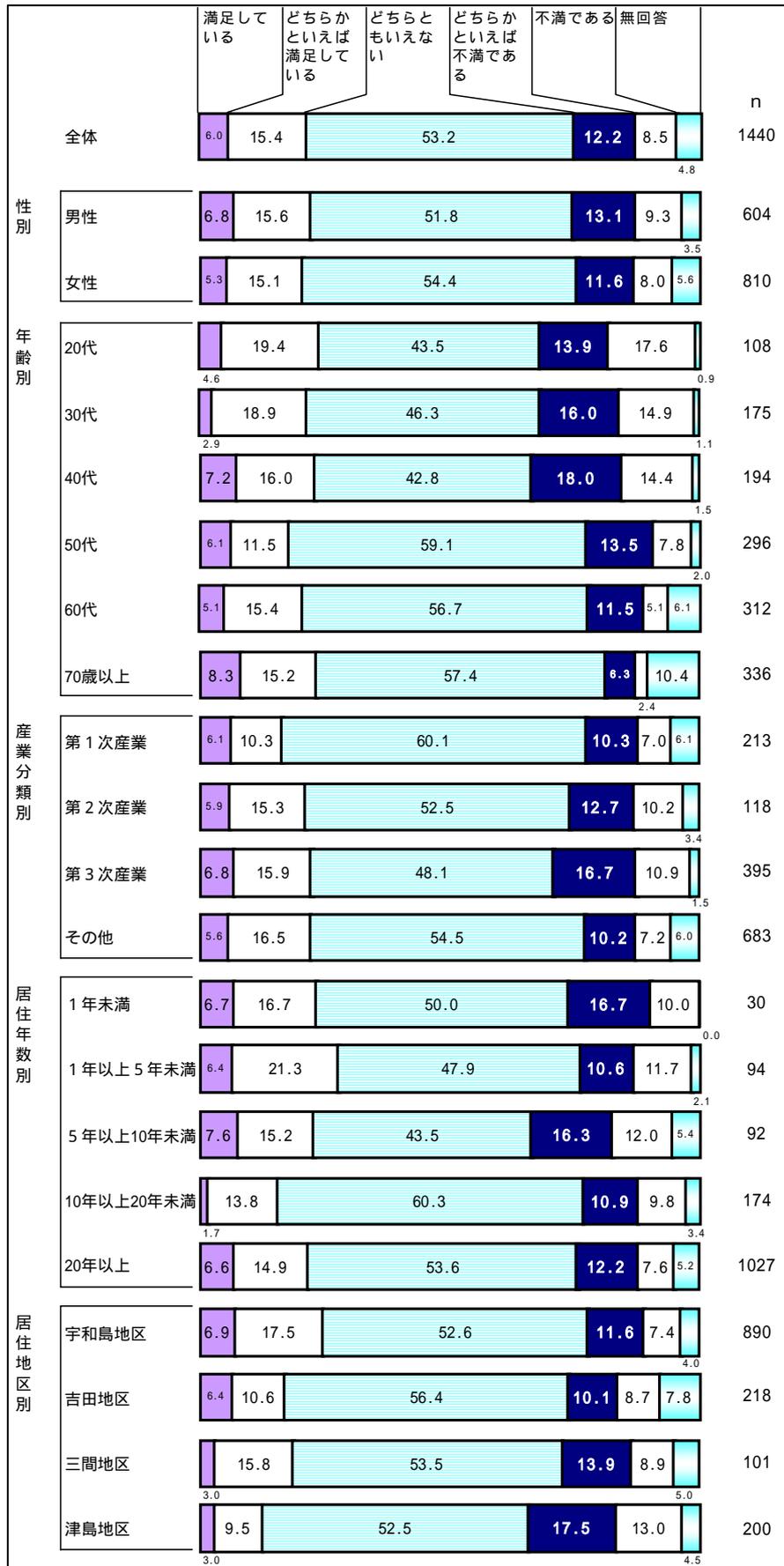
情報通信網の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(6.0%)と「どちらかといえば満足している」(15.4%)をあわせた“満足している”という人が21.4%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」12.2%及び「不満である」8.5%の合計)は20.7%となっている。[ 図表 50 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(31.5%)、30代(30.9%)、40代(32.4%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(8.7%)で低く、全体(20.7%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では、他地区に比べて津島地区(30.5%)が約3割を占めて高くなっている。[ 図表 51 参照 ]

図表 50 情報通信網の整備状況について(全体)



図表 51 情報通信網の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 市のホームページを利用した行政手続について

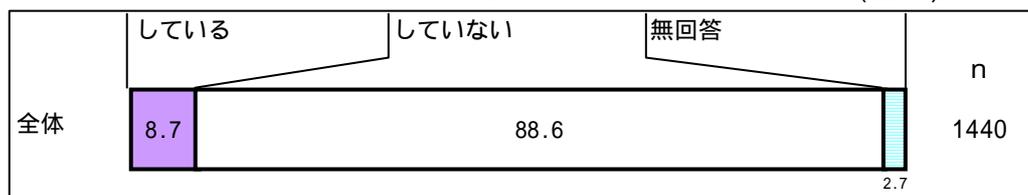
問 16 情報通信網についておたずねします。  
(2)あなたは、市のホームページを利用して行政手続(住民票写し等の交付申請、印鑑登録証明書交付申請などの電子申請)をしていますか。

「している」が8.7%、「していない」が88.6%。

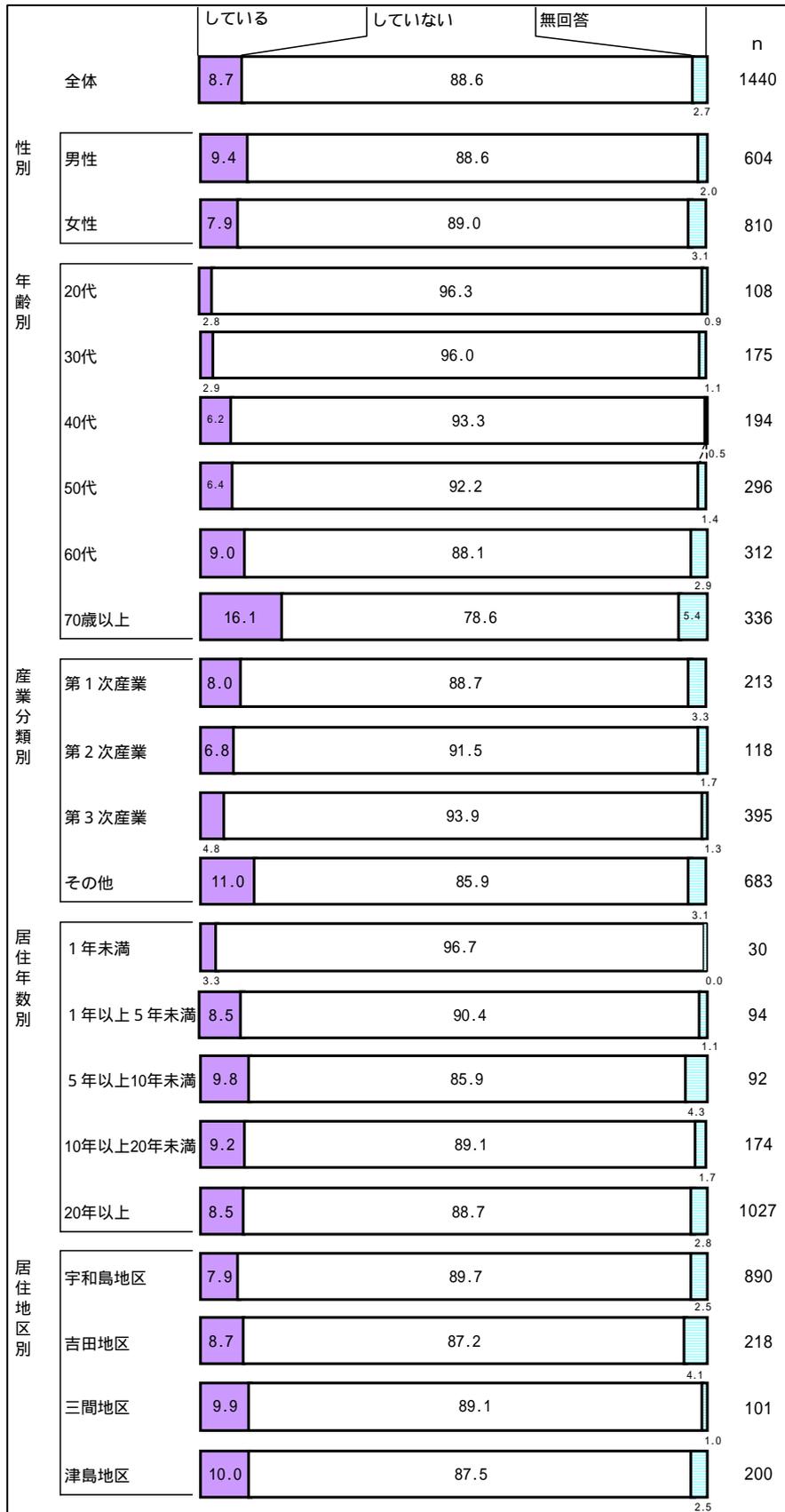
市のホームページを利用して行政手続をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が8.7%、一方、「していない」と回答した人は88.6%と、約9割の人がホームページを利用した行政手続をしていない結果となった。[ 図表 52 参照 ]

属性別でも、ほとんどの層で「していない」と回答した割合が8～9割を占めている。[ 図表 53 参照 ]

図表 52 市のホームページを利用した行政手続について(全体)



図表 53 市のホームページを利用した行政手続について  
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(11) 農林業

農林業基盤の整備状況について

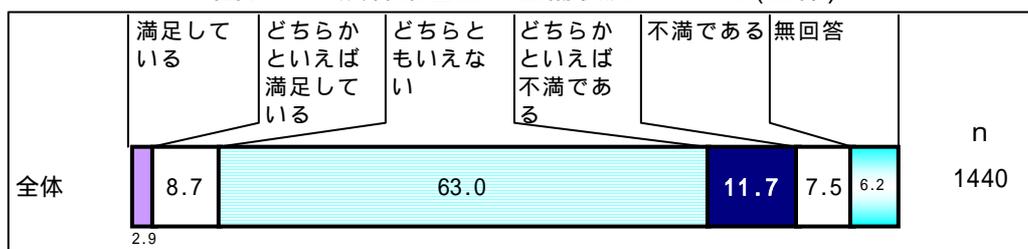
問 17 農林業についておたずねします。  
 (1) あなたは、宇和島市の農林業基盤(農地や農林道など)の整備状況について満足していますか。

“満足している”が11.6%、“不満である”が19.2%。

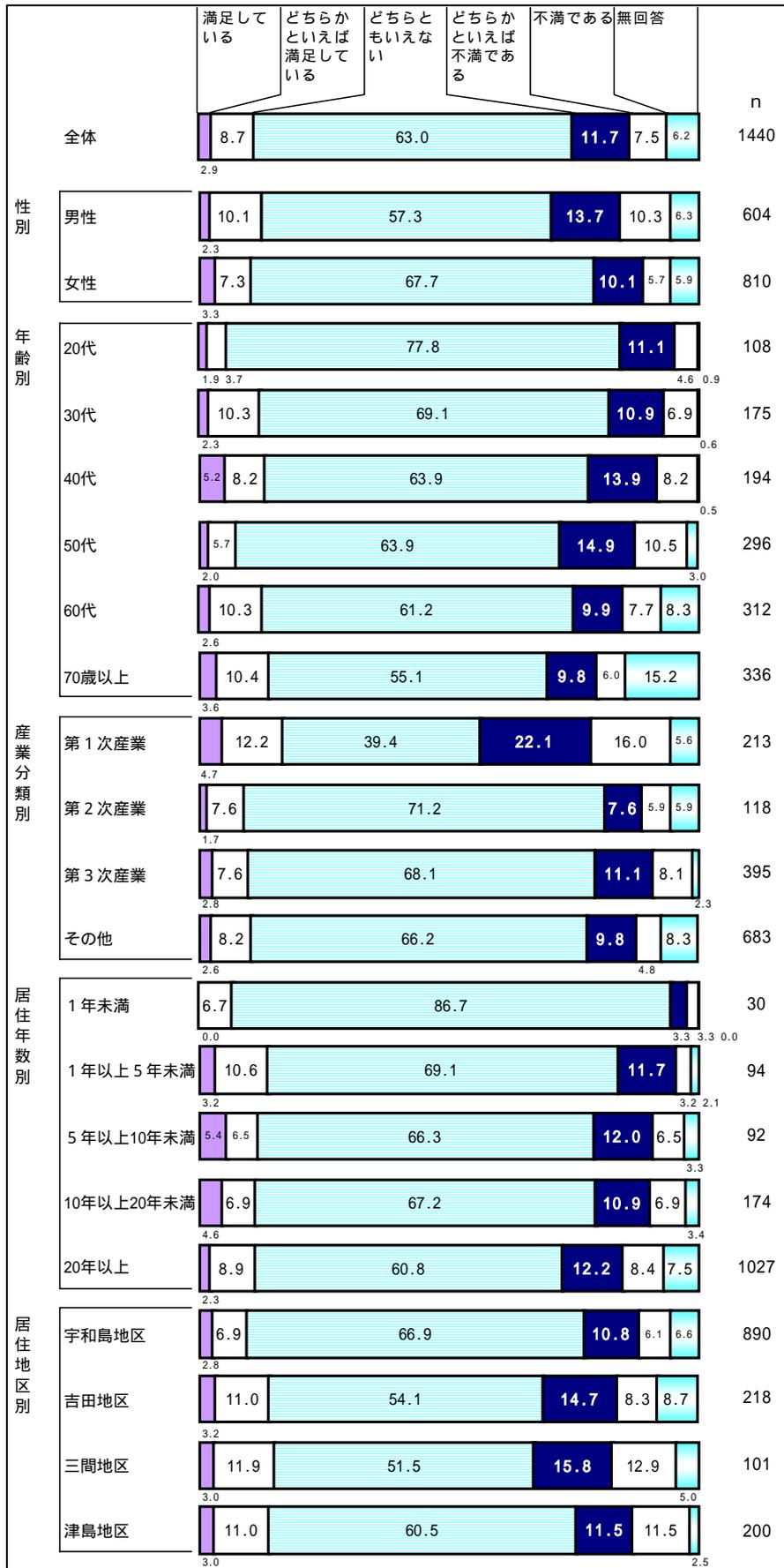
農林業基盤の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.9%)と「どちらかといえば満足している」(8.7%)をあわせた“満足している”という人が11.6%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」11.7%及び「不満である」7.5%の合計)は19.2%となっている。[ 図表 54 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、産業分類別の第1次産業(38.1%)で高く、一方、居住年数別の1年未満(6.6%)で低く、全体(19.2%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では、三間地区(28.7%)で高くなっているのに対し、宇和島地区(16.9%)では低く、その差は約12ポイントとなっている。[ 図表 55 参照 ]

図表 54 農林業基盤の整備状況について(全体)



図表 55 農林業基盤の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (12)水産業

### 水産業基盤の整備状況について

問 18 水産業についておたずねします。

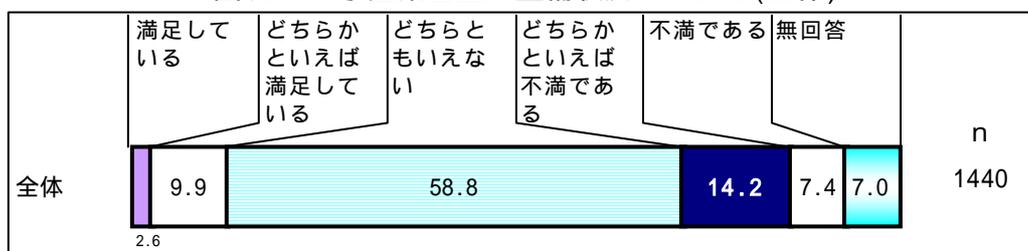
(1)あなたは、宇和島市の水産業基盤(漁港や漁場など)の整備状況について満足していますか。

“満足している”が12.5%、“不満である”が21.6%。

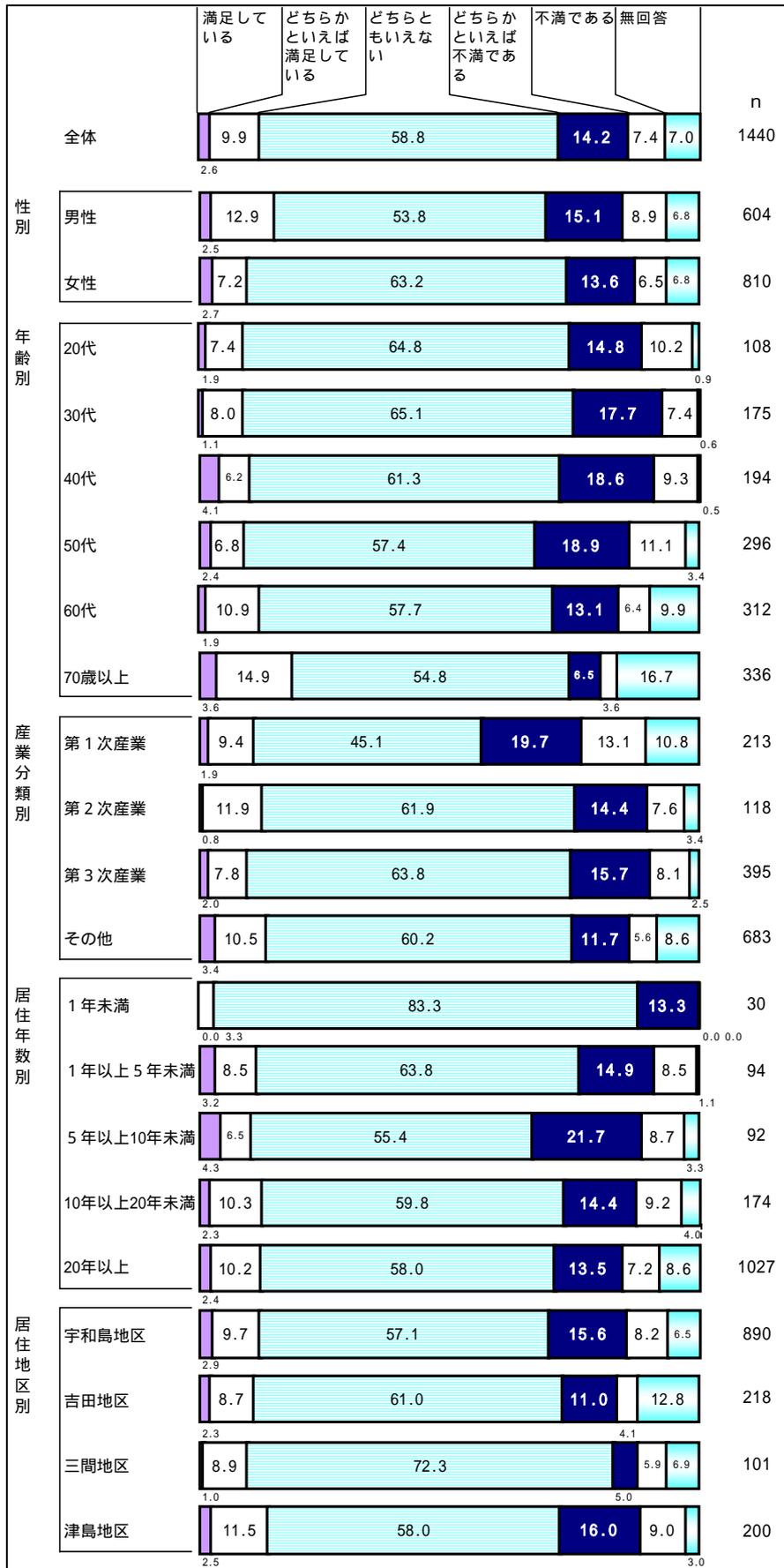
水産業基盤の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.6%)と「どちらかといえば満足している」(9.9%)をあわせた“満足している”という人が12.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」14.2%及び「不満である」7.4%の合計)は21.6%となっている。[ 図表 56 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、産業分類別の第1次産業(32.8%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(10.1%)、居住地区別の三間地区(10.9%)で低く、全体(21.6%)と10ポイント以上の差がみられる。[ 図表 57 参照 ]

図表 56 水産業基盤の整備状況について(全体)



図表 57 水産業基盤の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(13) 商業

商業環境について

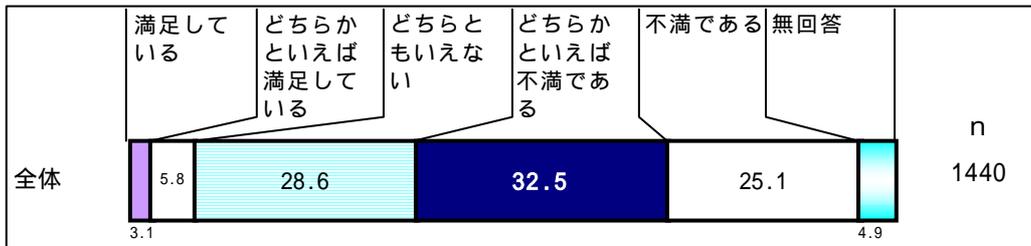
問 19 商業についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の商業環境(商店街など)について満足していますか。

“満足している”が8.9%、“不満である”が57.6%。

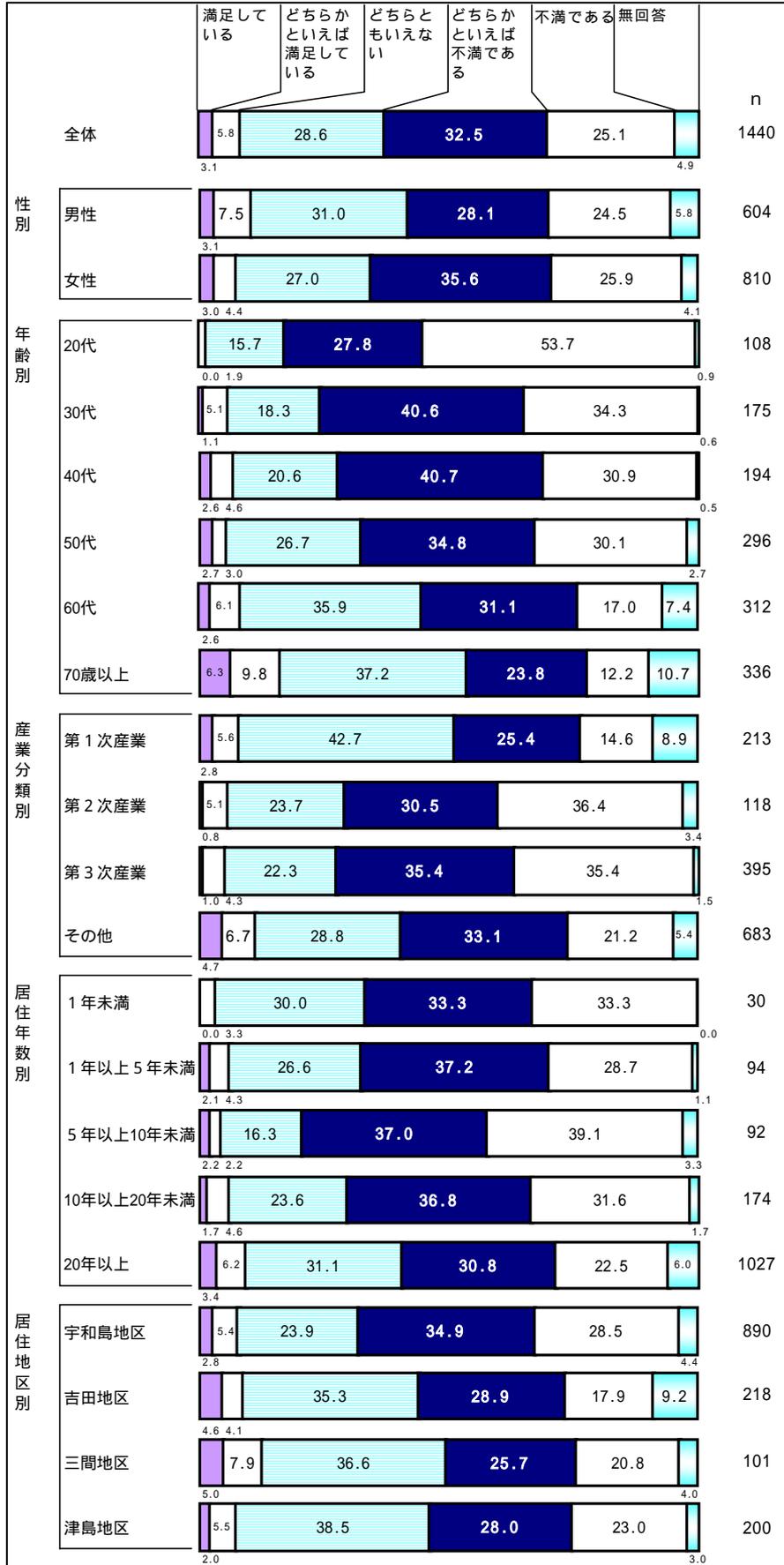
商業環境について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.1%)と「どちらかといえば満足している」(5.8%)をあわせた“満足している”という人が8.9%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」32.5%及び「不満である」25.1%の合計)は57.6%となっている。[ 図表 58 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(81.5%)、30代(74.9%)、40代(71.6%)、産業分類別の第3次産業(70.8%)、居住年数別の5年以上10年未満(76.1%)、10年以上20年未満(68.4%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(36.0%)、産業分類別の第1次産業(40.0%)、居住地区別の吉田地区(46.8%)、三間地区(46.5%)で低く、全体(57.6%)と10ポイント以上の差がみられる。[ 図表 59 参照 ]

図表 58 商業環境について(全体)



図表 59 商業環境について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 市内での買い物について

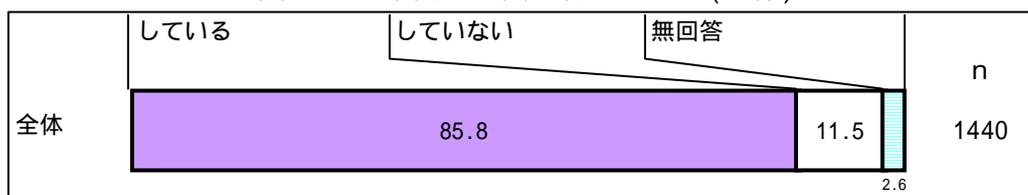
問 19 商業についておたずねします。  
(2)あなたは、日頃、市内で買い物をしていますか。

「している」が 85.8%、「していない」が 11.5%。

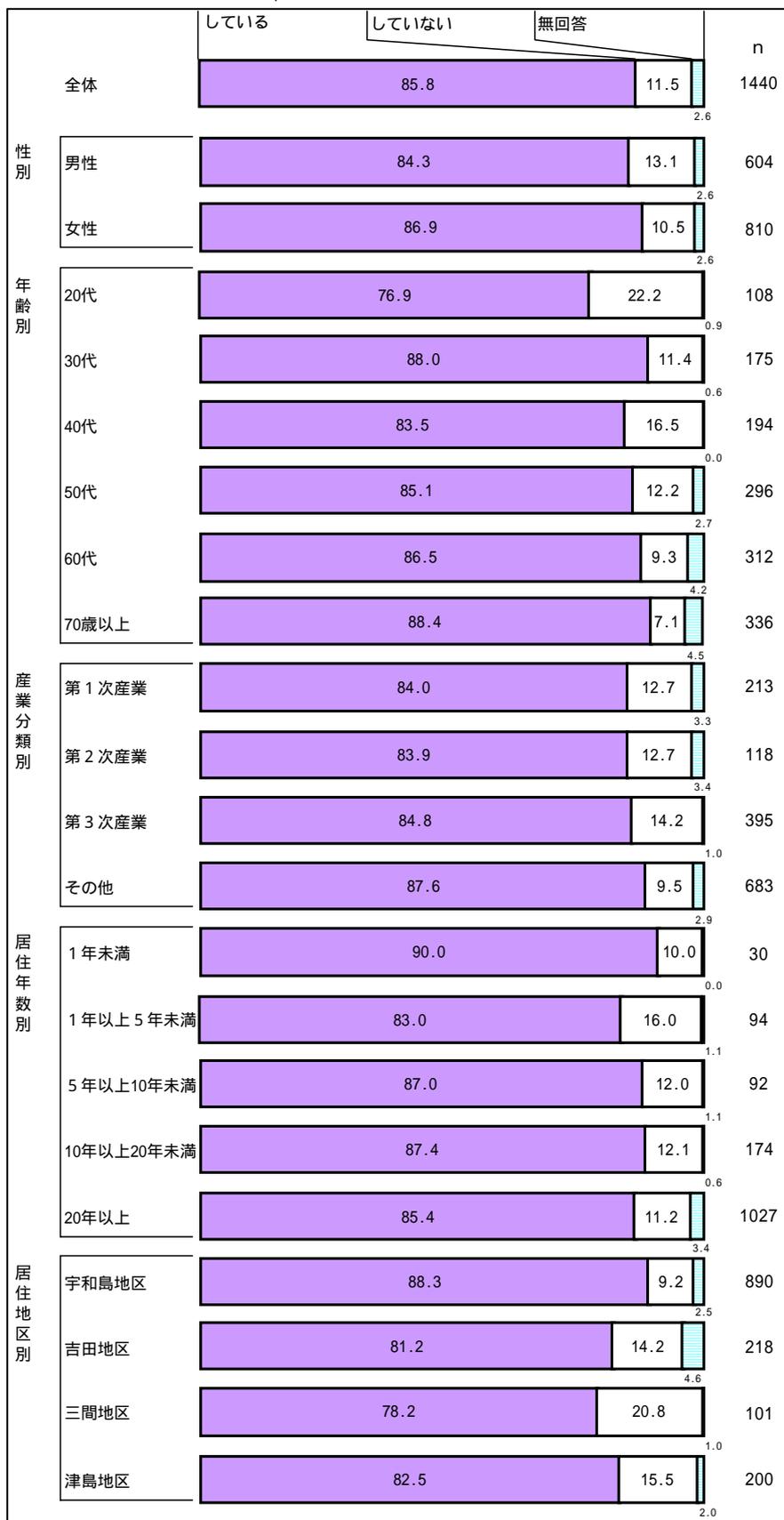
日頃、市内で買い物をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 85.8%、一方、「していない」と回答した人は 11.5%と、8 割以上の方が市内で買い物をしている結果となった。[ 図表 60 参照 ]

属性別でも、ほとんどの層で「している」と回答した割合が 8 ~ 9 割を占めている。[ 図表 61 参照 ]

図表 60 市内での買い物について(全体)



図表 61 市内での買い物について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (14)工業

### 地場産業の振興や企業誘致について

問 20 工業についておたずねします。

(1)あなたは、宇和島市の地場産業の振興や企業誘致に関する取り組みについて満足していますか。

“満足している”が4.2%、“不満である”が44.5%。

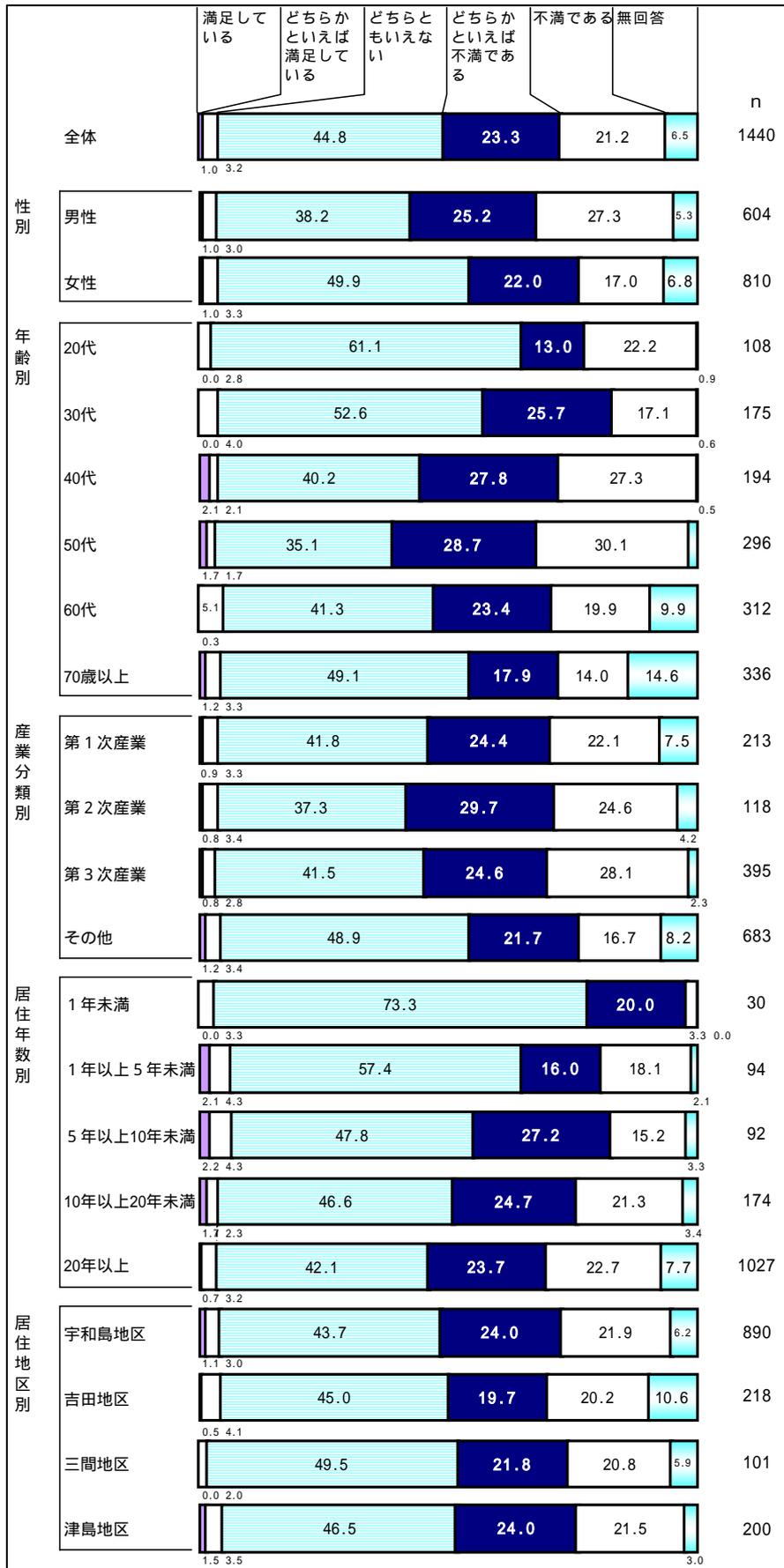
地場産業の振興や企業誘致に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(1.0%)と「どちらかといえば満足している」(3.2%)をあわせた“満足している”という人が4.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」23.3%及び「不満である」21.2%の合計)は44.5%となっている。[ 図表 62 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の40代(55.1%)、50代(58.8%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(31.9%)、居住年数別の1年未満(23.3%)、1年以上5年未満(34.1%)で低く、全体(44.5%)と10ポイント以上の差がみられる。また、産業分類別でみると、第2次産業(54.3%)と第3次産業(52.7%)で5割を超えて高くなっている。[ 図表 63 参照 ]

図表 62 地場産業の振興や企業誘致について(全体)



図表 63 地場産業の振興や企業誘致について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(15) 観光

観光基盤の整備状況について

問 21 観光についておたずねします。

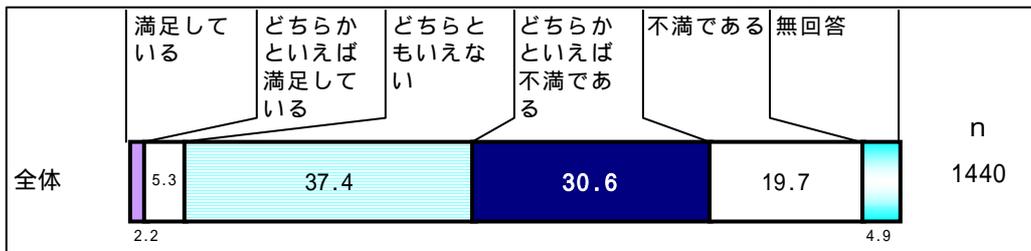
(1)あなたは、宇和島市の観光基盤(観光施設や観光ルートなど)の整備状況について満足していますか。

“満足している”が7.5%、“不満である”が50.3%。

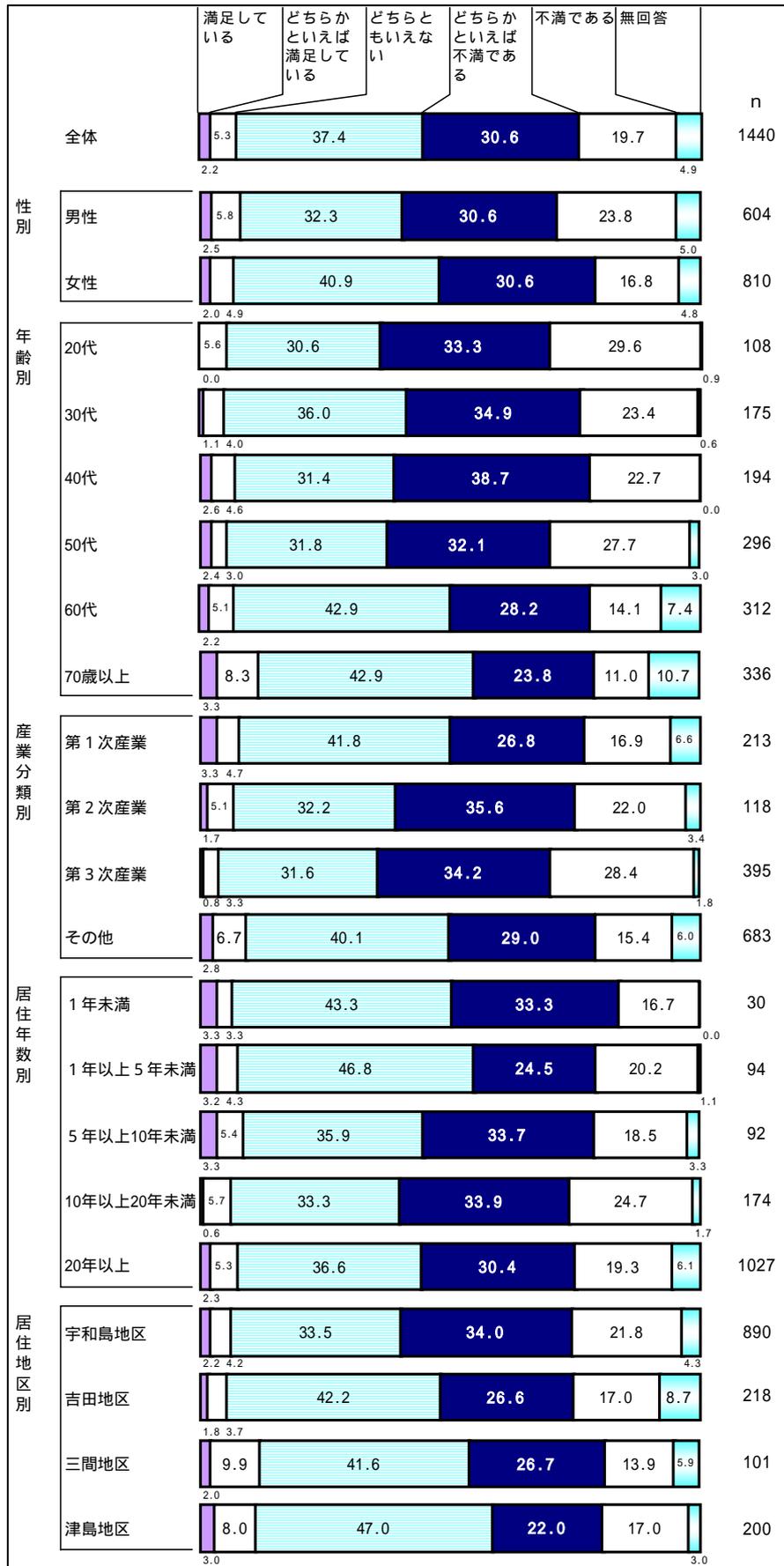
観光基盤の整備状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.2%)と「どちらかといえば満足している」(5.3%)をあわせた“満足している”という人が7.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」30.6%及び「不満である」19.7%の合計)は50.3%となっている。[ 図表 64 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(62.9%)、40代(61.4%)、産業分類別の第3次産業(62.6%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(34.8%)、居住地区別の津島地区(39.0%)で低く、全体(50.3%)と10ポイント以上の差がみられる。[ 図表 65 参照 ]

図表 64 観光基盤の整備状況について(全体)



図表 65 観光基盤の整備状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(16)雇用・就労対策

雇用・就労対策への取り組みについて

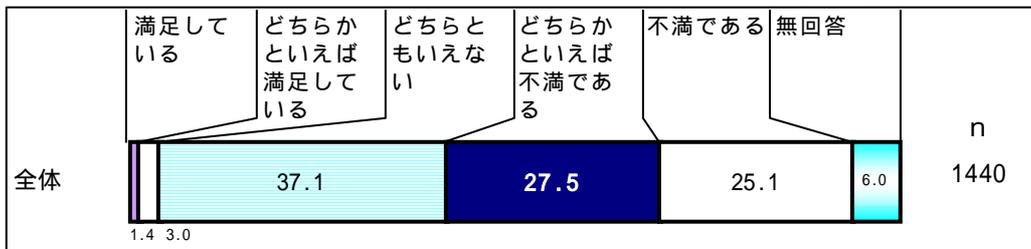
問 22 雇用・就労対策についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の雇用・就労対策(職業訓練機会の確保、情報提供、起業支援など)に関する取り組みについて満足していますか。

“満足している”が4.4%、“不満である”が52.6%。

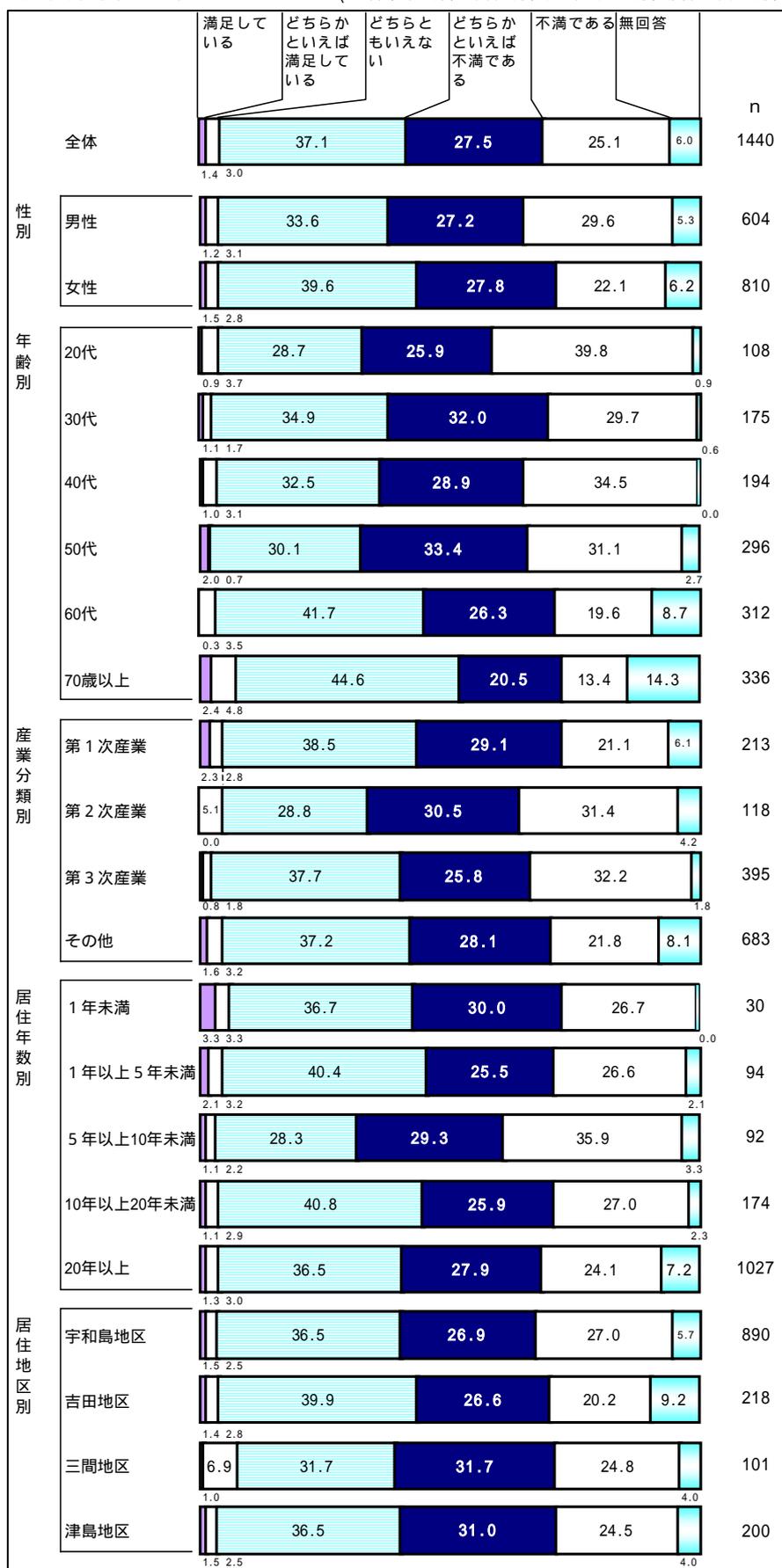
雇用・就労対策に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(1.4%)と「どちらかといえば満足している」(3.0%)をあわせた“満足している”という人が4.4%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」27.5%及び「不満である」25.1%の合計)は52.6%となっている。[ 図表 66 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(65.7%)、40代(63.4%)、50代(64.5%)、居住年数別の5年以上10年未満(65.2%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(33.9%)で低く、全体(52.6%)と10ポイント以上の差がみられる。[ 図表 67 参照 ]

図表 66 雇用・就労対策への取り組みについて(全体)



図表 67 雇用・就労対策への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (17)健康づくり

### 保健サービスについて

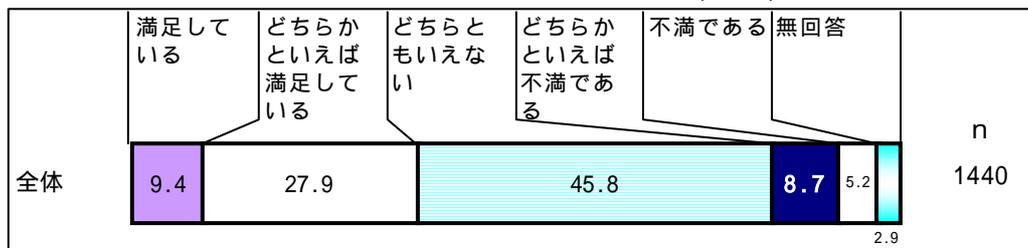
問 23 健康づくりについておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の保健サービス(健康診断、健康相談、栄養指導など)について満足していますか。

“満足している”が37.3%、“不満である”が13.9%。

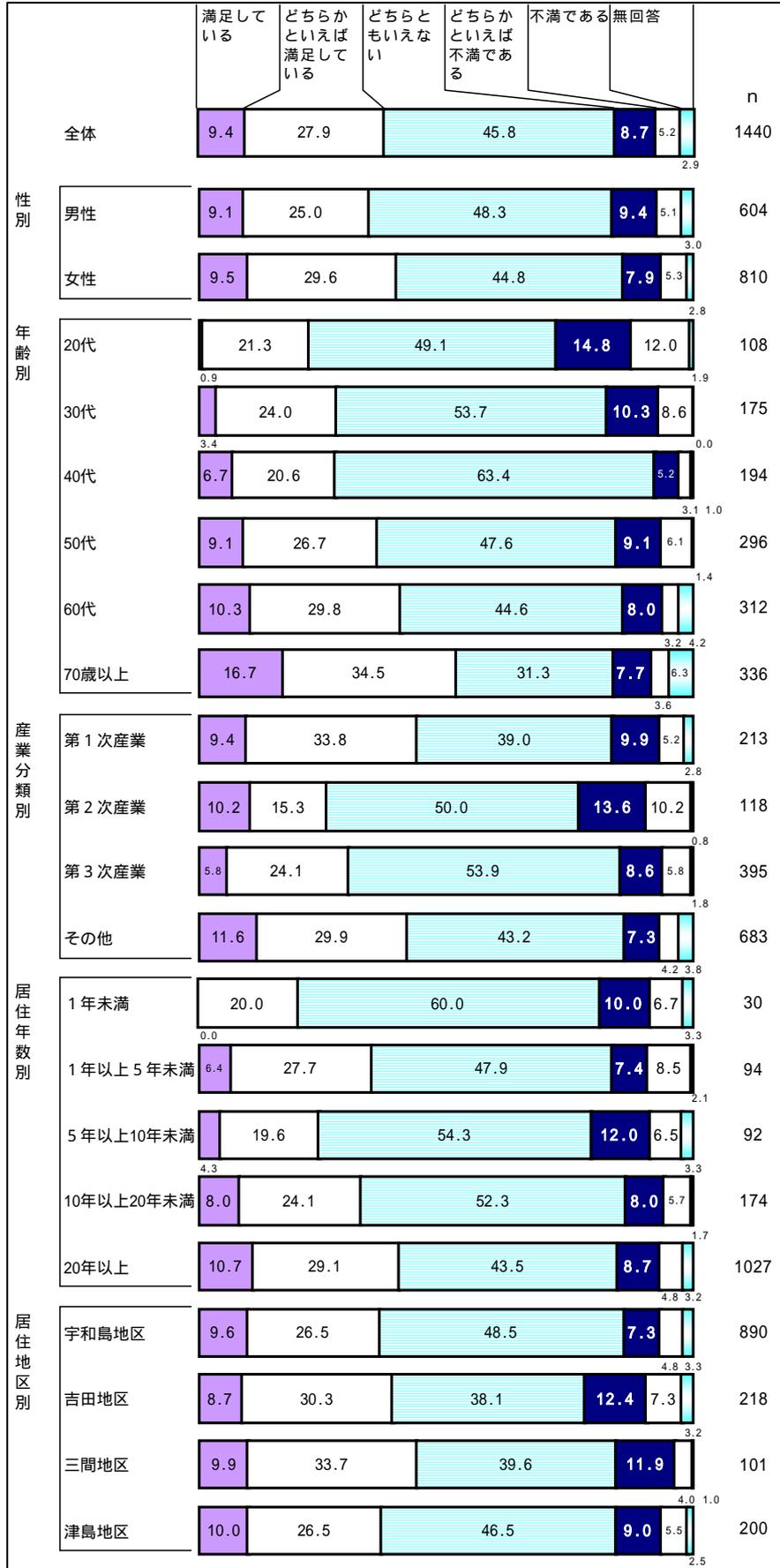
保健サービスについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(9.4%)と「どちらかといえば満足している」(27.9%)をあわせた“満足している”という人が37.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.7%及び「不満である」5.2%の合計)は13.9%となっている。[図表68参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(22.2%)、40代(27.3%)、産業分類別の第2次産業(25.5%)、居住年数別の1年未満(20.0%)、5年以上10年未満(23.9%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(51.2%)で高く、全体(37.3%)と10ポイント以上の差がみられる。[図表69参照]

図表 68 保健サービスについて(全体)



図表 69 保健サービスについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 健康増進のための取り組みについて

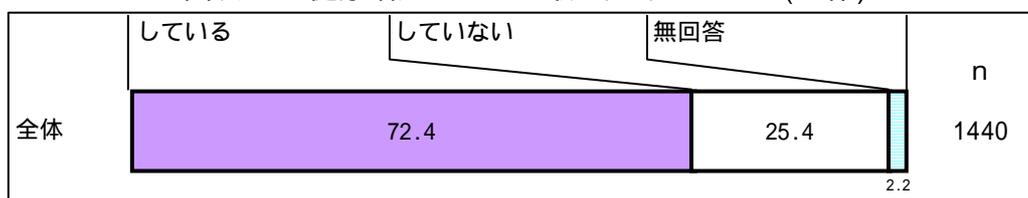
問 23 健康づくりについておたずねします。  
(2)あなたは、日頃、健康増進のための取り組み(運動や食生活の改善など)をしていますか。

「している」が 72.4%、「していない」が 25.4%。

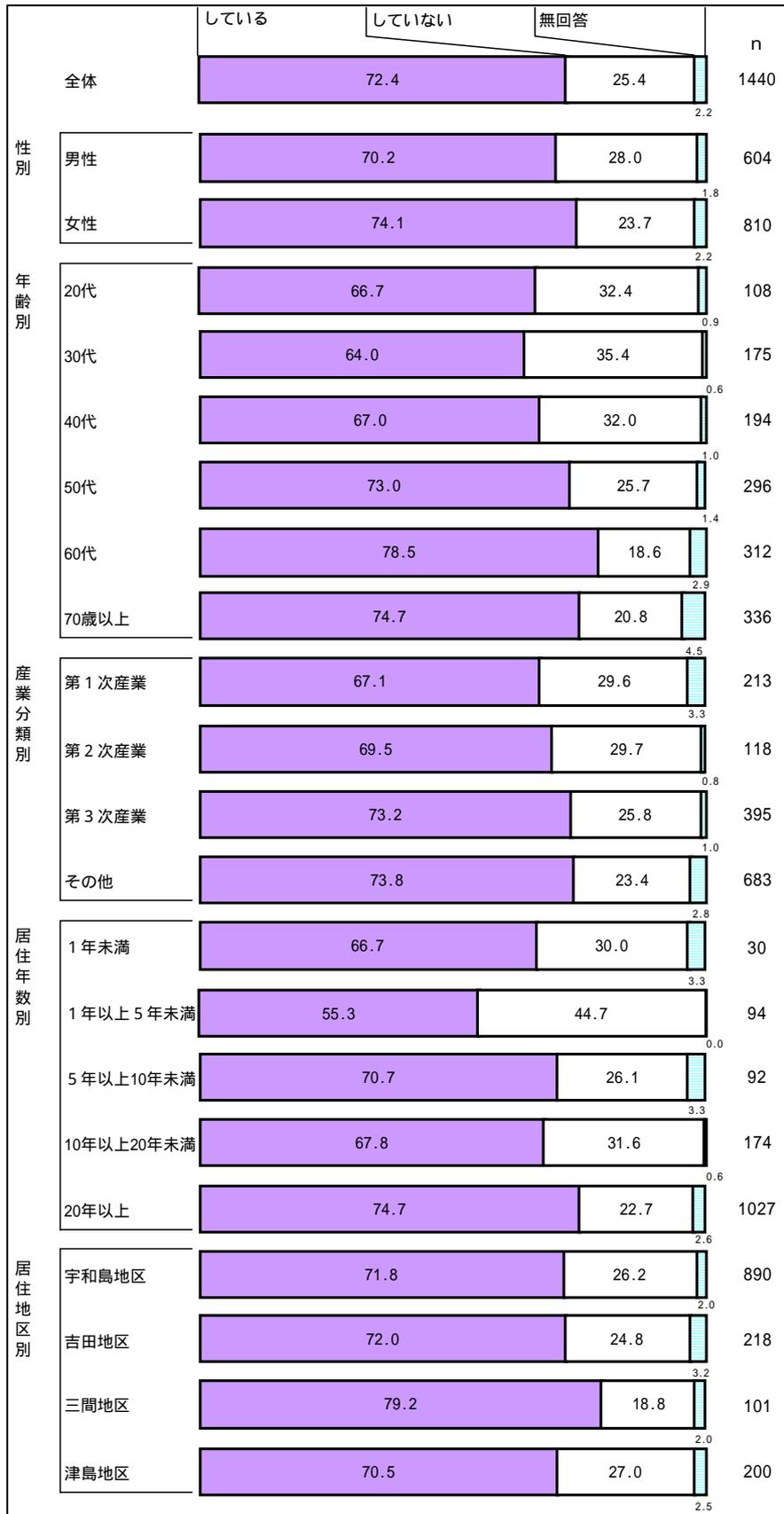
日頃、健康増進のための取り組みをしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 72.4%、一方、「していない」と回答した人は 25.4%と、約 7 割の人が健康増進の取り組みをしている結果となった。[ 図表 70 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では 20 代～40 代では 6～7 割を占めているのに対し、50 代～70 歳以上では 7～8 割を占めており、比較的若い層と高齢層で回答の傾向に違いがみられる。また、居住地区別では、三間地区で 79.2%と 8 割弱を占めており、他地区より高くなっている。[ 図表 71 参照 ]

図表 70 健康増進のための取り組みについて(全体)



図表 71 健康増進のための取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (18)医療

### 医療体制について

問 24 医療についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の医療体制について満足していますか。

“満足している”が31.0%、“不満である”が38.2%。

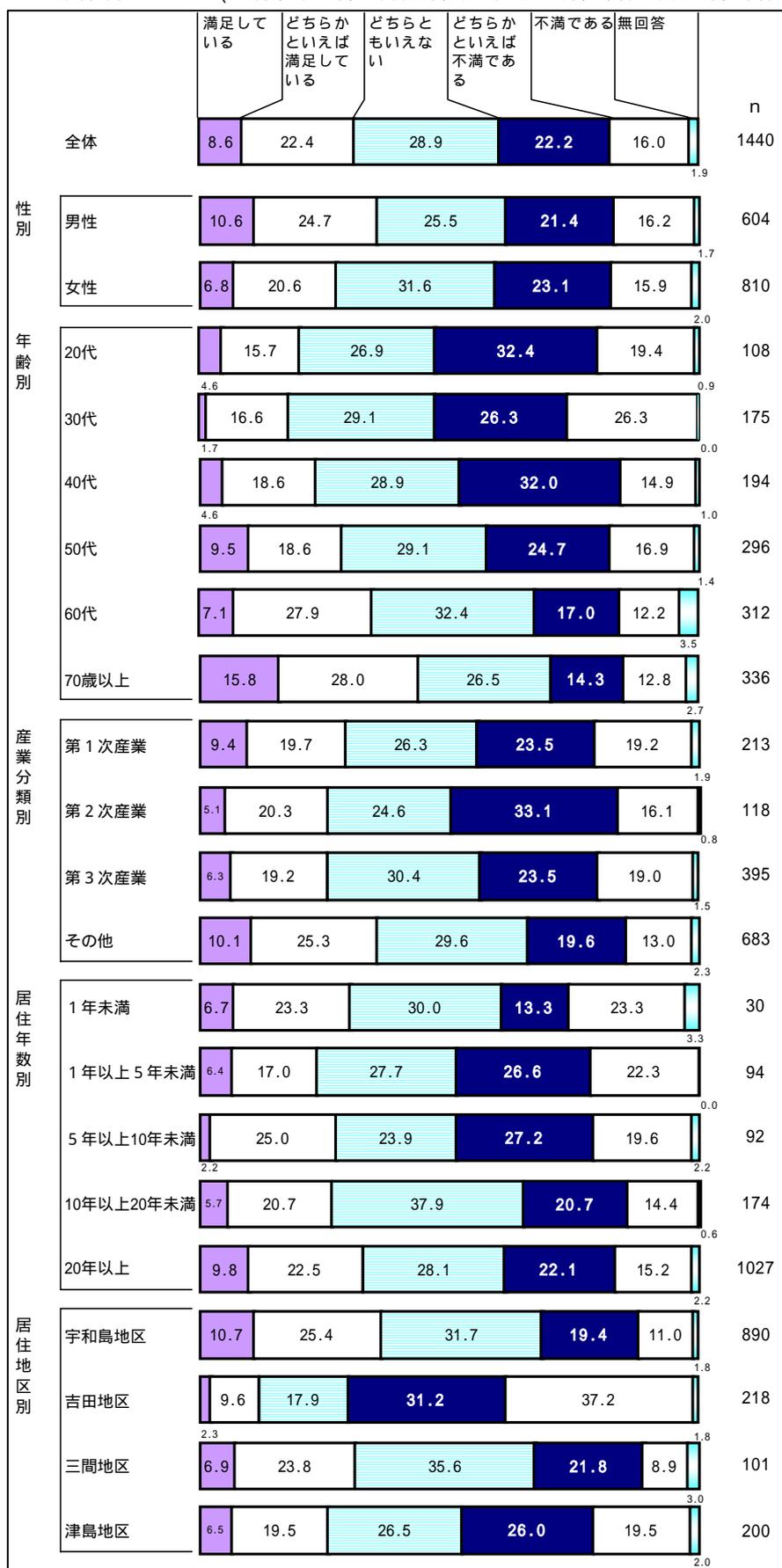
医療体制について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(8.6%)と「どちらかといえば満足している」(22.4%)をあわせた“満足している”という人が31.0%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」22.2%及び「不満である」16.0%の合計)は38.2%となっている。[図表 72 参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(20.3%)、30代(18.3%)、居住地区別の吉田地区(11.9%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(43.8%)で高く、全体(31.0%)と10ポイント以上の差がみられる。特に居住地区別の吉田地区では、“不満である”割合が68.3%と約7割を占めて非常に高くなっている。[図表 73 参照]

図表 72 医療体制について(全体)

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	無回答	n
全体	8.6	22.4	28.9	22.2	16.0	1.9	1440

図表 73 医療体制について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## かかりつけ医について

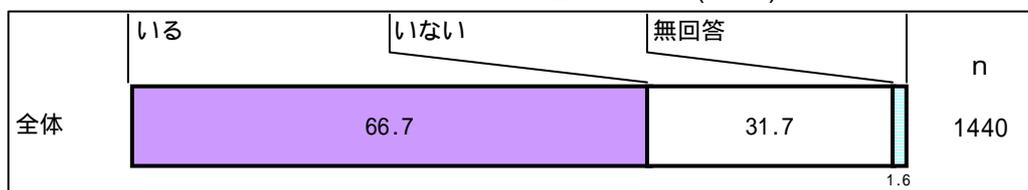
問 24 医療についておたずねします。  
(2)あなたは、かかりつけ医がいますか。

「いる」が 66.7%、「いない」が 31.7%。

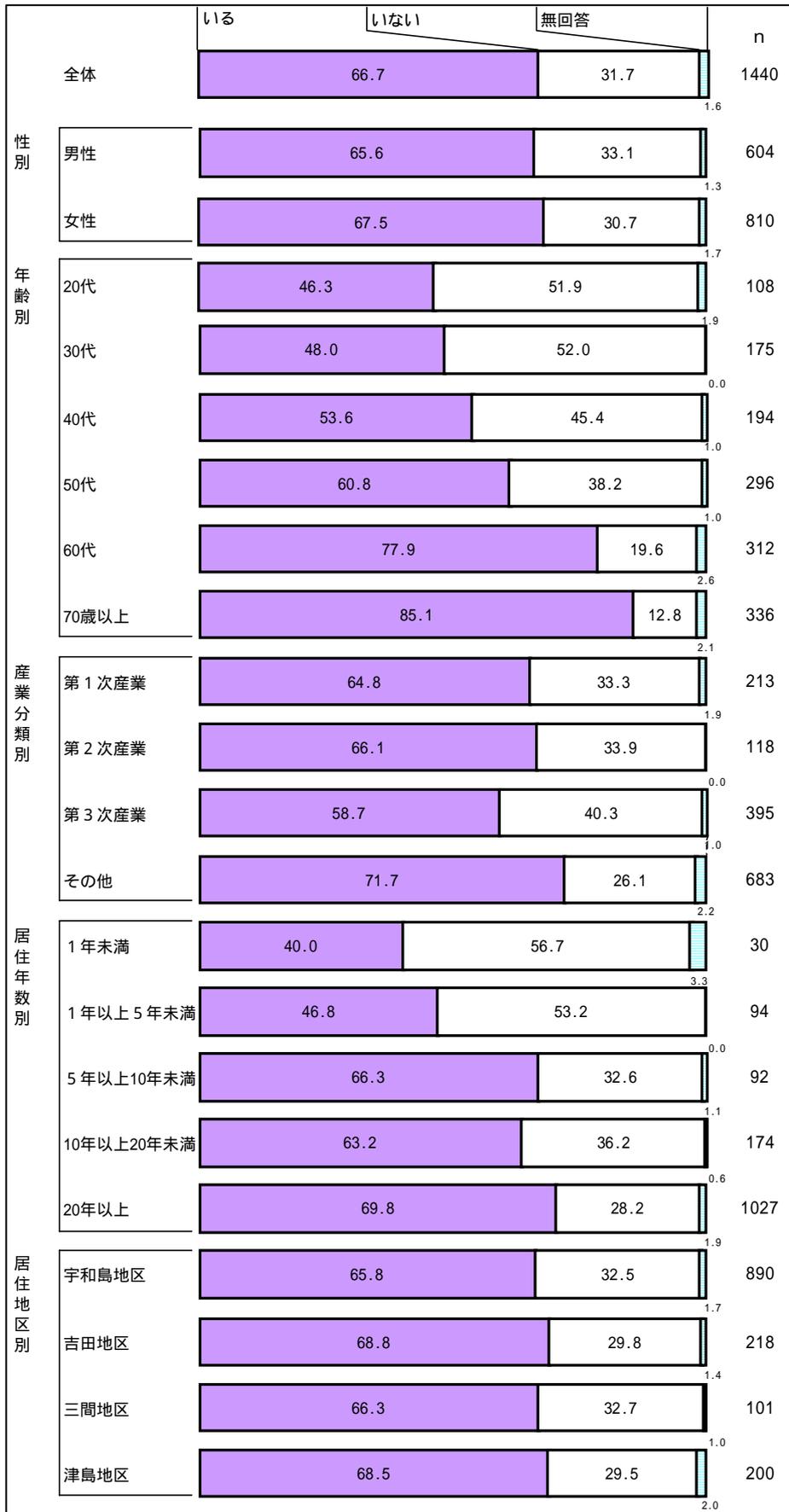
かかりつけ医がいるかをたずねたところ、「いる」と回答した人が 66.7%、一方、「いない」と回答した人は 31.7%と、7 割弱の人がかかりつけ医がいる結果となった。[ 図表 74 参照 ]

これを属性別で「いる」と回答した割合をみると、性別では大きな差はみられないが、年齢別では加齢とともに高くなり、20 代(46.3%)、30 代(48.0%)では 5 割を下回るのに対し、70 歳以上(85.1%)では 8 割強を占めており、若年層と高齢層で回答の傾向に違いがみられる。居住年数別にみると、1 年未満(40.0%)、1 年以上 5 年未満(46.8%)で 5 割を下回っている。また、居住地区別では大きな差はみられない。[ 図表 75 参照 ]

図表 74 かかりつけ医について(全体)



図表 75 かかりつけ医について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (19)高齡者福祉・介護

### 高齡者福祉・介護サービスについて

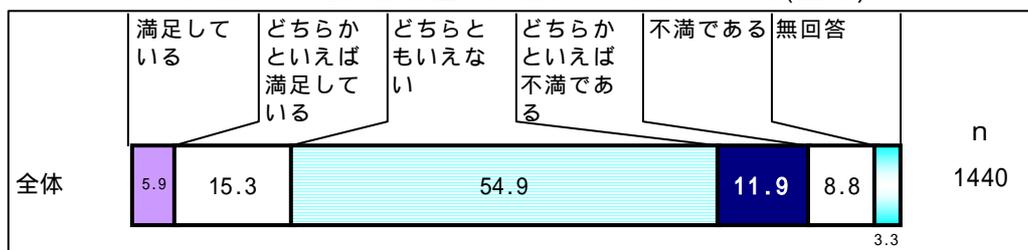
問 25 高齡者福祉・介護についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の高齡者福祉・介護サービスについて満足していますか。

“満足している”が21.2%、“不満である”が20.7%。

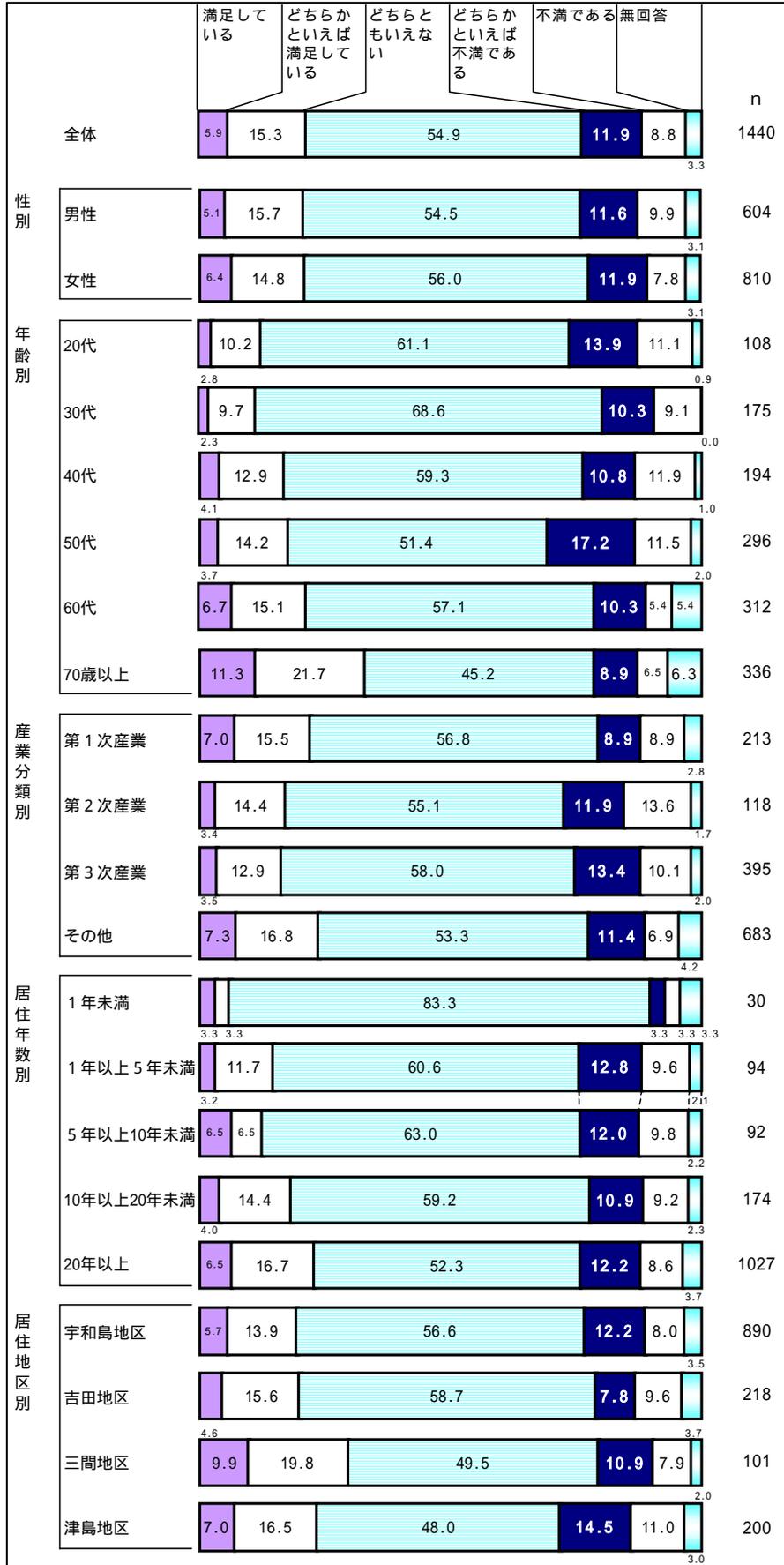
高齡者福祉・介護サービスについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(5.9%)と「どちらかといえば満足している」(15.3%)をあわせた“満足している”という人が21.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」11.9%及び「不満である」8.8%の合計)は20.7%となっている。[図表76参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、居住年数別の1年未満(6.6%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(33.0%)で高く、全体(21.2%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では、三間地区で29.7%と約3割を占めて他地区より高くなっている。[図表77参照]

図表 76 高齡者福祉・介護サービスについて(全体)



図表 77 高齢者福祉・介護サービスについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (20) 障害者福祉

### 障害者福祉サービスについて

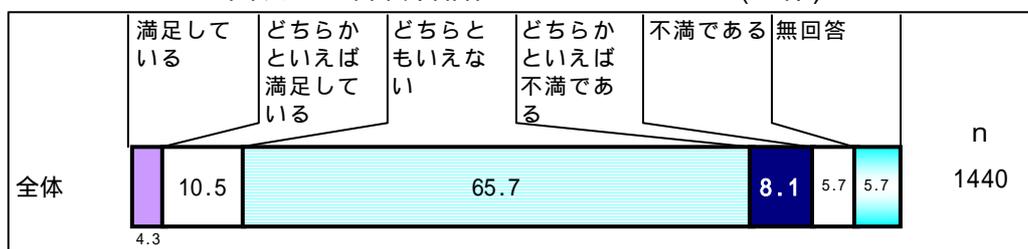
問 26 障害者福祉についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の障害者福祉サービスについて満足していますか。

“満足している”が14.8%、“不満である”が13.8%。

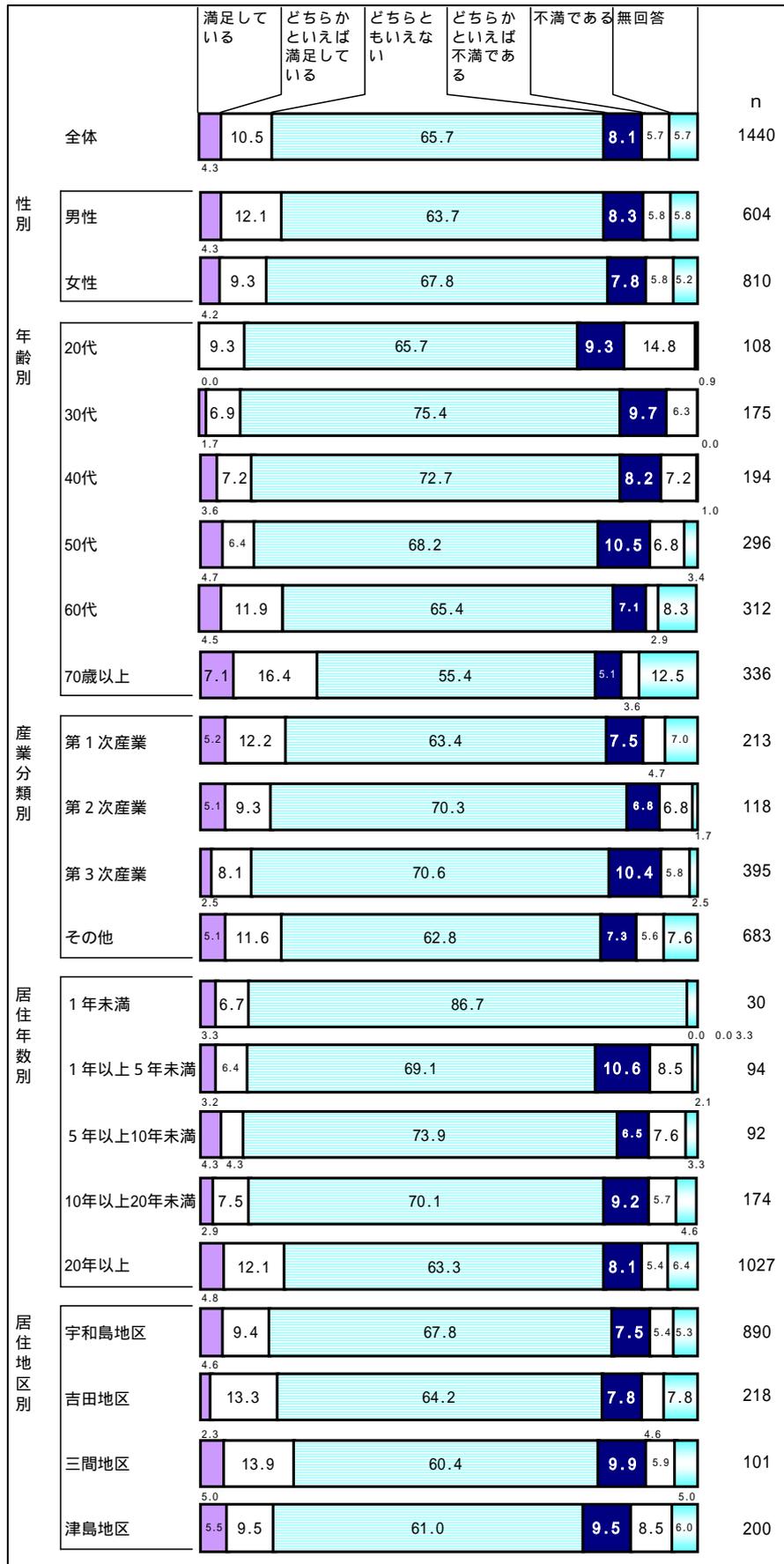
障害者福祉サービスについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.3%)と「どちらかといえば満足している」(10.5%)をあわせた“満足している”という人が14.8%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.1%及び「不満である」5.7%の合計)は13.8%となっている。[図表78参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1～2割を占めている。[図表79参照]

図表78 障害者福祉サービスについて(全体)



図表 79 障害者福祉サービスについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (21)子育て支援

### 保育・子育て支援サービスについて

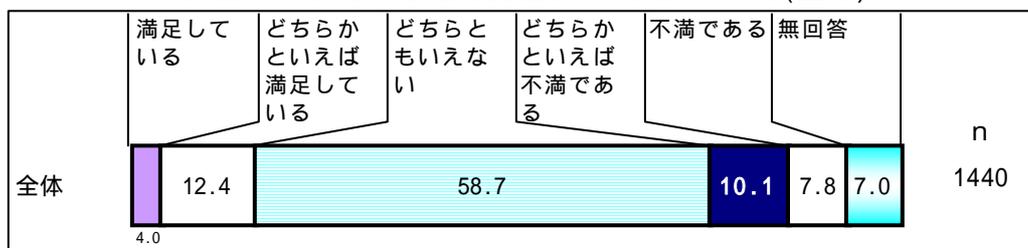
問 27 子育て支援についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の保育・子育てサービスについて満足していますか。

“満足している”が16.4%、“不満である”が17.9%。

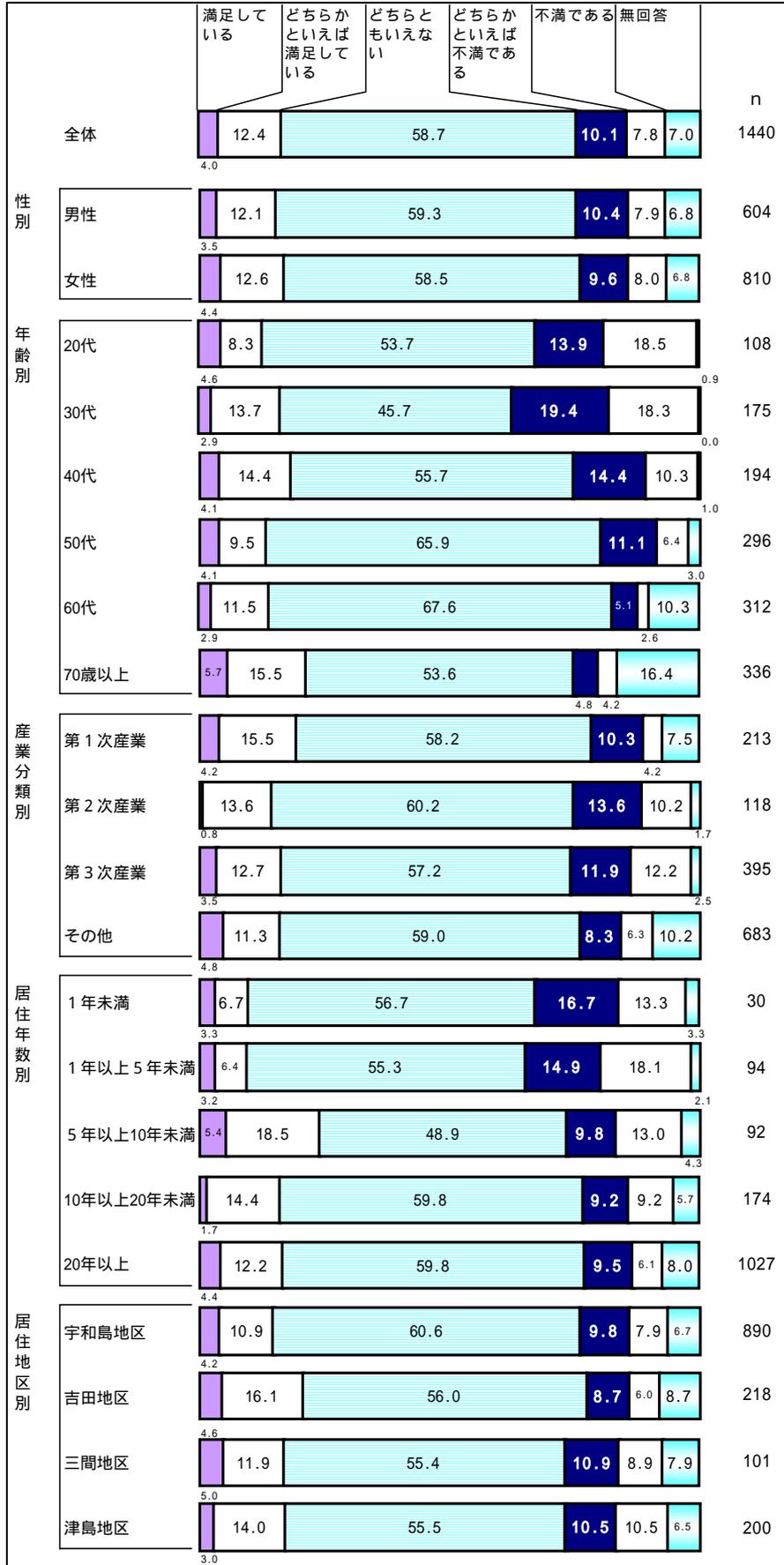
保育・子育て支援サービスについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.0%)と「どちらかといえば満足している」(12.4%)をあわせた“満足している”という人が16.4%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」10.1%及び「不満である」7.8%の合計)は17.9%となっている。[図表80参照]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(32.4%)、30代(37.7%)、居住年数別の1年未満(30.0%)、1年以上5年未満(33.0%)で高く、一方、年齢別の60代(7.7%)で低く、全体(17.9%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では大きな差はみられない。[図表81参照]

図表 80 保育・子育て支援サービスについて(全体)



図表 81 保育・子育て支援サービスについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (22) 地域福祉

### バリアフリー化への取り組みについて

問 28 地域福祉についておたずねします。

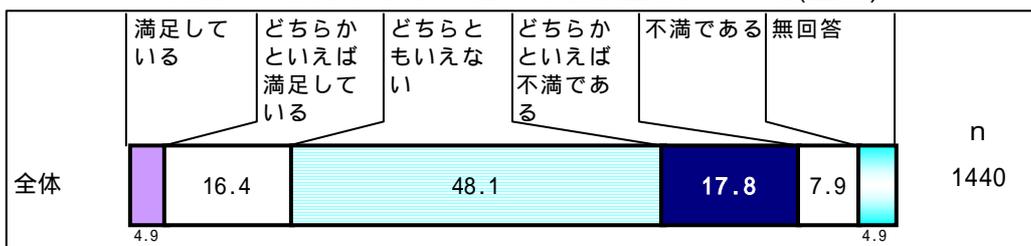
(1) あなたは、宇和島市のバリアフリー化への取り組み(公共施設などの段差解消、障害者にも使いやすいトイレ施設の整備など)について満足していますか。

“満足している”が21.3%、“不満である”が25.7%。

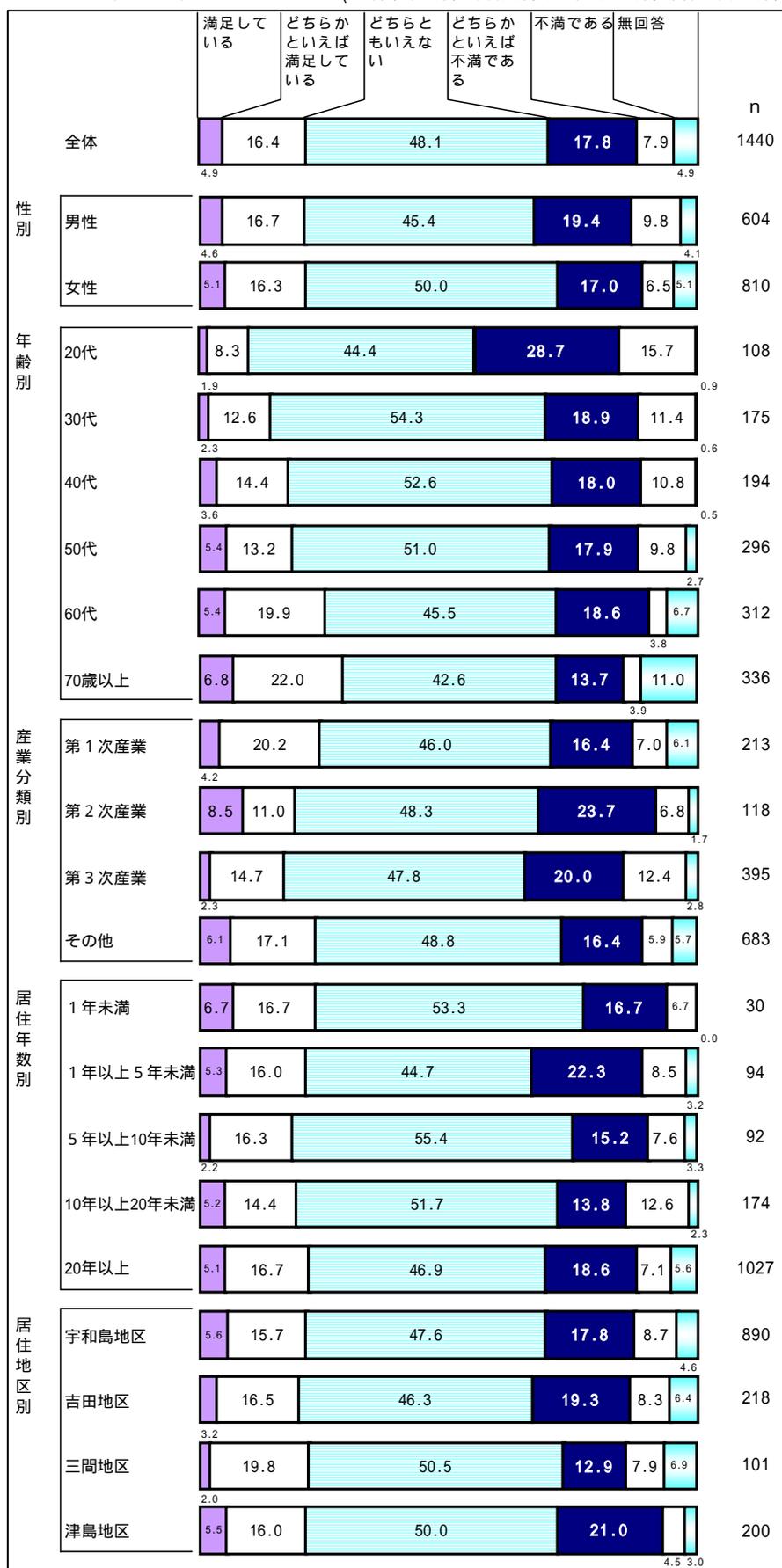
バリアフリー化への取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.9%)と「どちらかといえば満足している」(16.4%)をあわせた“満足している”という人が21.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」17.8%及び「不満である」7.9%の合計)は25.7%となっている。[ 図表 82 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(44.4%)で高く、全体(25.7%)と10ポイント以上の差がみられる。また、産業分類別では、第3次産業(32.4%)で3割強を占めてやや高くなっている。居住地区別では大きな差はみられない。[ 図表 83 参照 ]

図表 82 バリアフリー化への取り組みについて(全体)



図表 83 バリアフリー化への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 地域福祉活動への参加について

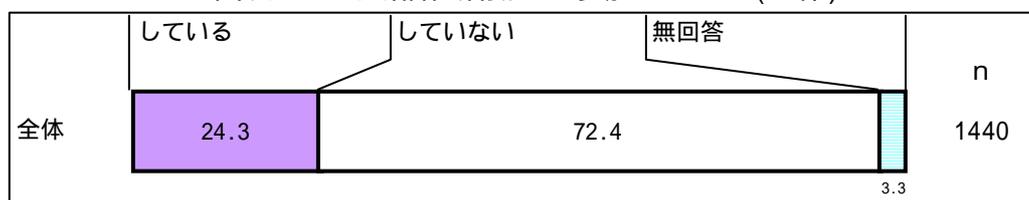
問 28 地域福祉についておたずねします。  
(2)あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。

「している」が 24.3%、「していない」が 72.4%。

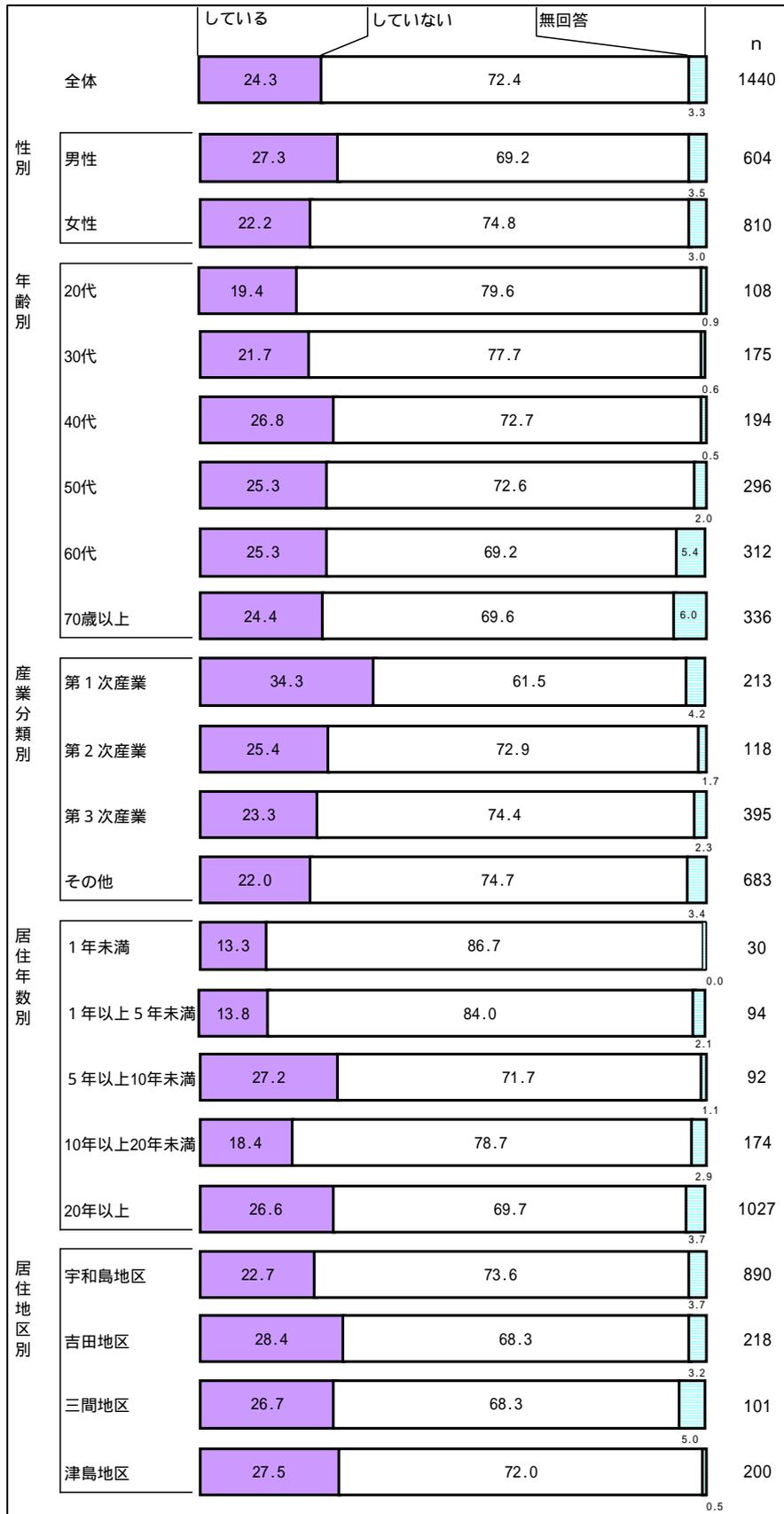
身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加しているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 24.3%、一方、「していない」と回答した人は 72.4%と、およそ 4 人に 1 人が地域福祉活動に参加している結果となった。[ 図表 84 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみると、性別、年齢別では大きな差はみられないが、産業分類別にみると、第 1 次産業(34.3%)で 3 割を上回り、他産業に比較して高い傾向がみられる。また、居住地区別では大きな差はみられない。[ 図表 85 参照 ]

図表 84 地域福祉活動への参加について(全体)



図表 85 地域福祉活動への参加について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (23)生涯学習

### 生涯学習活動への取り組みについて

問 29 生涯学習についておたずねします。

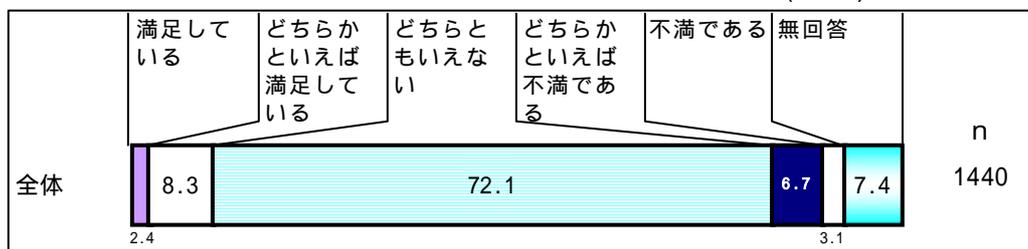
(1)あなたは、宇和島市の生涯学習活動に関する取り組み(外国語講座、歴史講座などの各種講座・教室の実施、学習施設の整備・充実など)について満足していますか。

“満足している”が10.7%、“不満である”が9.8%。

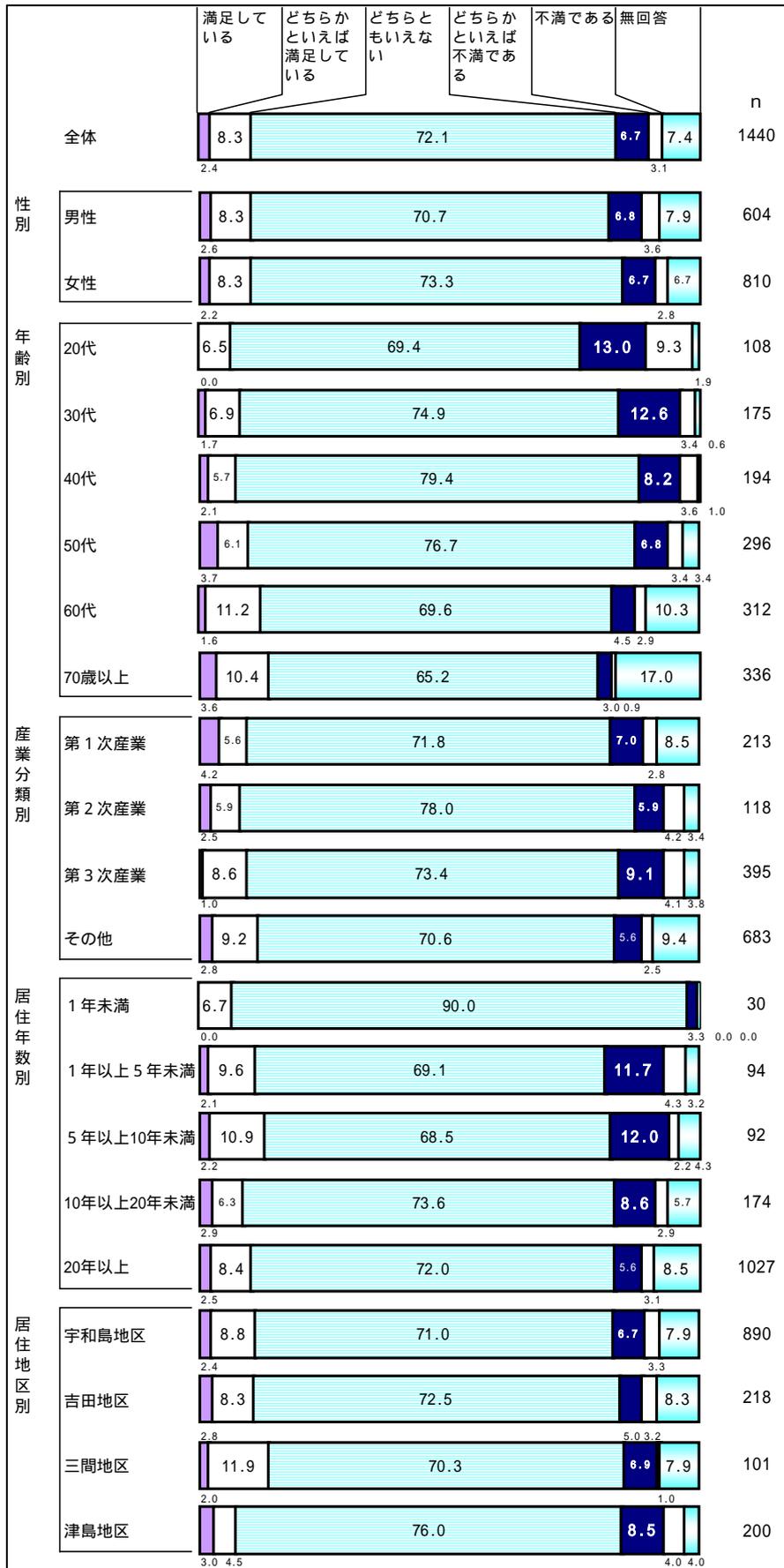
生涯学習活動に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.4%)と「どちらかといえば満足している」(8.3%)をあわせた“満足している”という人が10.7%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」6.7%及び「不満である」3.1%の合計)は9.8%となっている。[\[ 図表 86 参照 \]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後となっている。[\[ 図表 87 参照 \]](#)

図表 86 生涯学習活動への取り組みについて(全体)



図表 87 生涯学習活動への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 生涯学習活動について

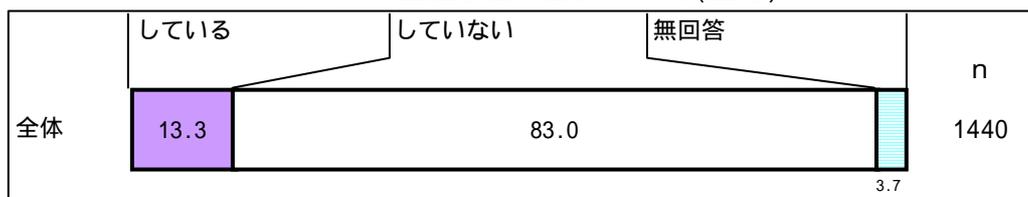
問 29 生涯学習についておたずねします。  
(2)あなたは、日頃、生涯学習活動をしていますか。

「している」が 13.3%、「していない」が 83.0%。

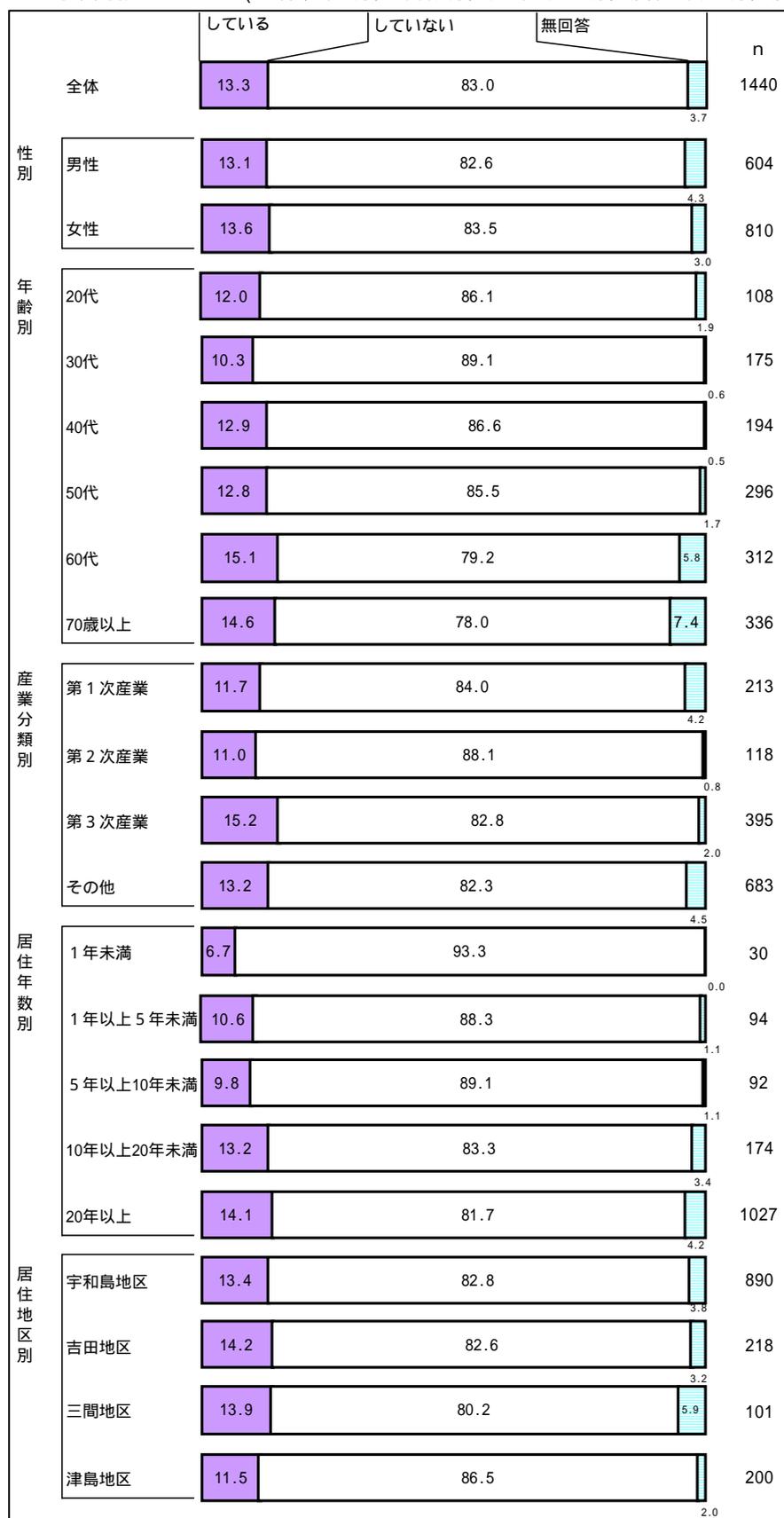
日頃、生涯学習活動をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 13.3%、一方、「していない」と回答した人は 83.0%と、約 1 割が生涯学習活動をしている結果となった。[ 図表 88 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、ほとんどの層で 1 割前後となっている。[ 図表 89 参照 ]

図表 88 生涯学習活動について(全体)



図表 89 生涯学習活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(24) 就学前教育・学校教育

学校教育環境について

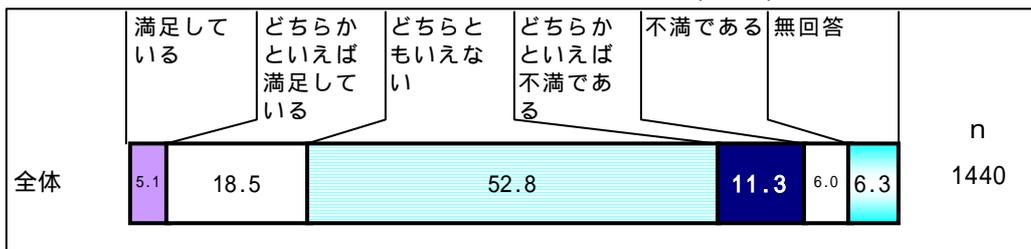
問 30 就学前教育・学校教育についておたずねします。  
(1) あなたは、宇和島市の幼稚園・小中学校などの学校教育環境(教育内容、学校施設など)について満足していますか。

“満足している”が23.6%、“不満である”が17.3%。

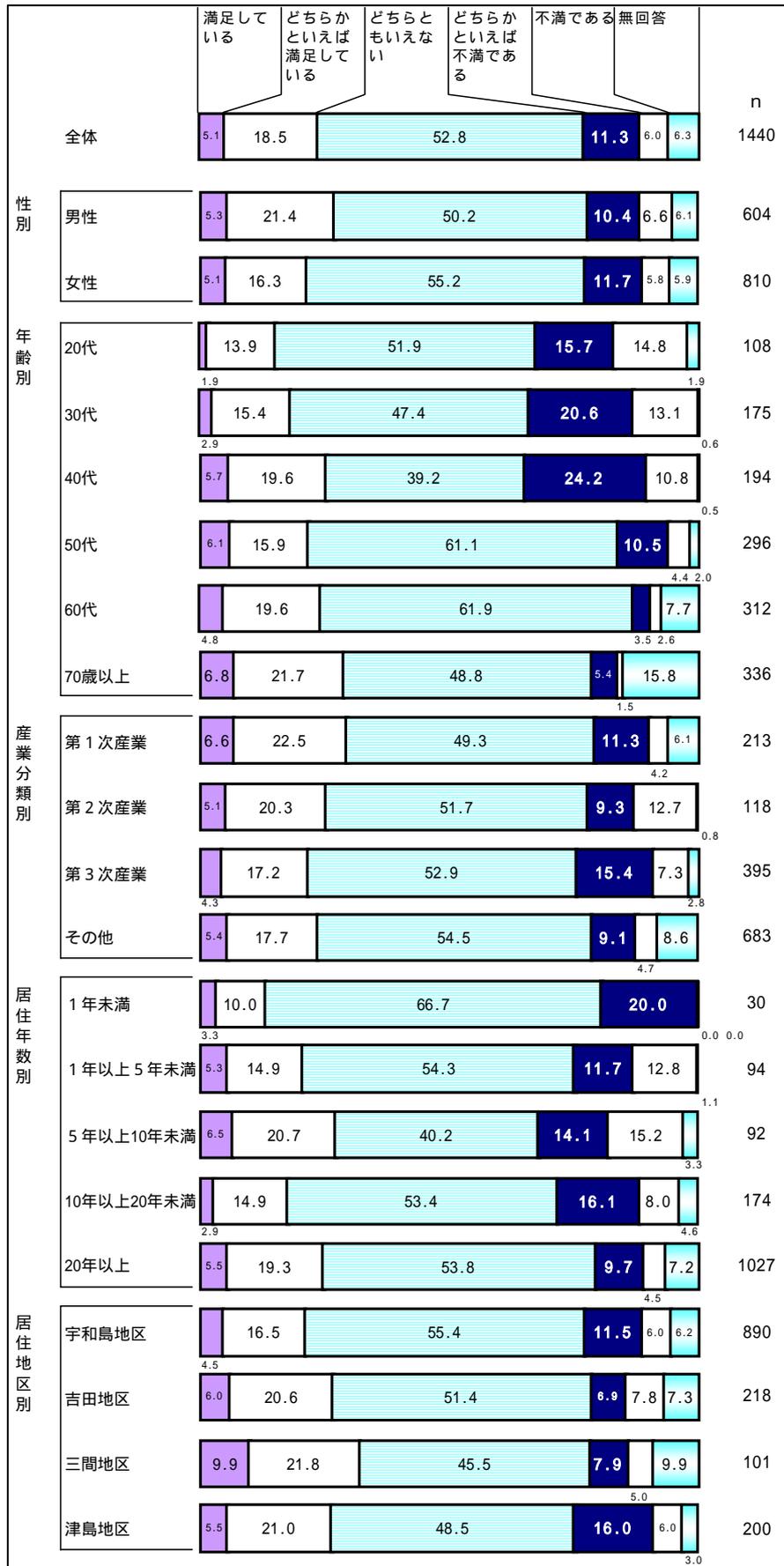
幼稚園・小中学校などの学校教育環境について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(5.1%)と「どちらかといえば満足している」(18.5%)をあわせた“満足している”という人が23.6%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」11.3%及び「不満である」6.0%の合計)は17.3%となっている。[ 図表 90 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(30.5%)、30代(33.7%)、40代(35.0%)、居住年数別の5年以上10年未満(29.3%)で高く、一方、年齢別の60代(6.1%)、70歳以上(6.9%)で低く、全体(17.3%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では大きな差はみられない。[ 図表 91 参照 ]

図表 90 学校教育環境について(全体)



図表 91 学校教育環境について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(25)人権教育・啓発

人権教育・啓発への取り組みについて

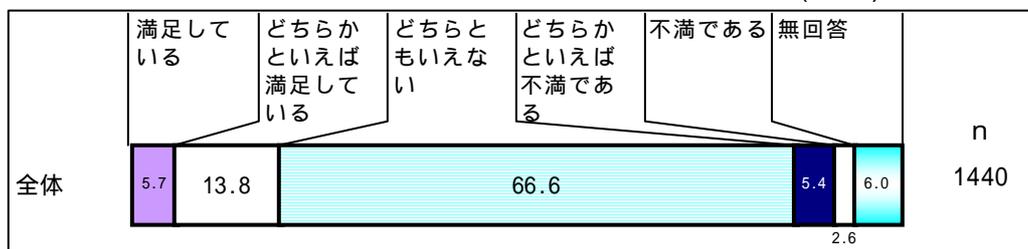
問 31 人権教育・啓発についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の人権教育・啓発に関する取り組みについて満足していますか。

“満足している”が19.5%、“不満である”が8.0%。

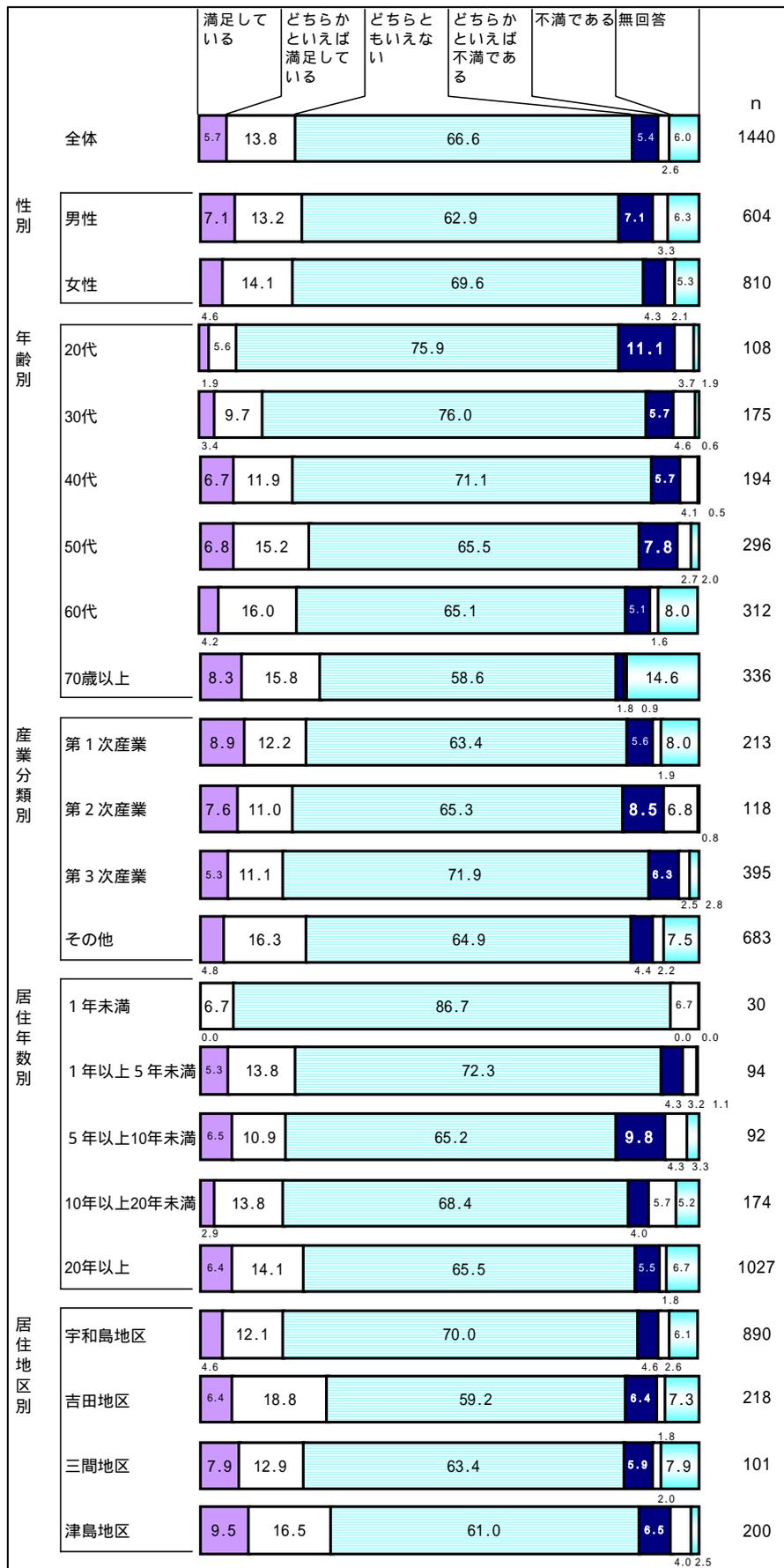
人権教育・啓発に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(5.7%)と「どちらかといえば満足している」(13.8%)をあわせた“満足している”という人が19.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」5.4%及び「不満である」2.6%の合計)は8.0%となっている。[図表92参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で2割前後となっている。[図表93参照]

図表92 人権教育・啓発への取り組みについて(全体)



図表 93 人権教育・啓発への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 地域・職場での人権教育・啓発活動の参加について

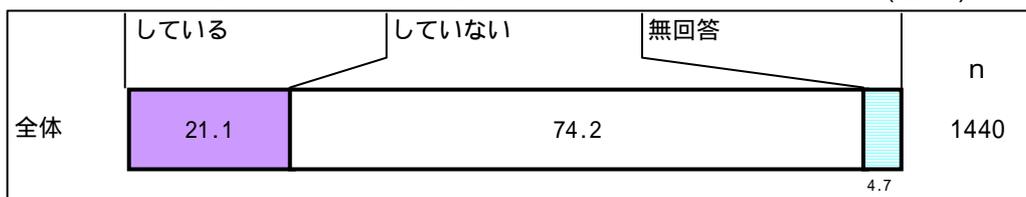
問 31 人権教育・啓発についておたずねします。  
(2)あなたは、地域・職場での人権教育・啓発活動などに参加していますか。

「している」が 21.1%、「していない」が 74.2%。

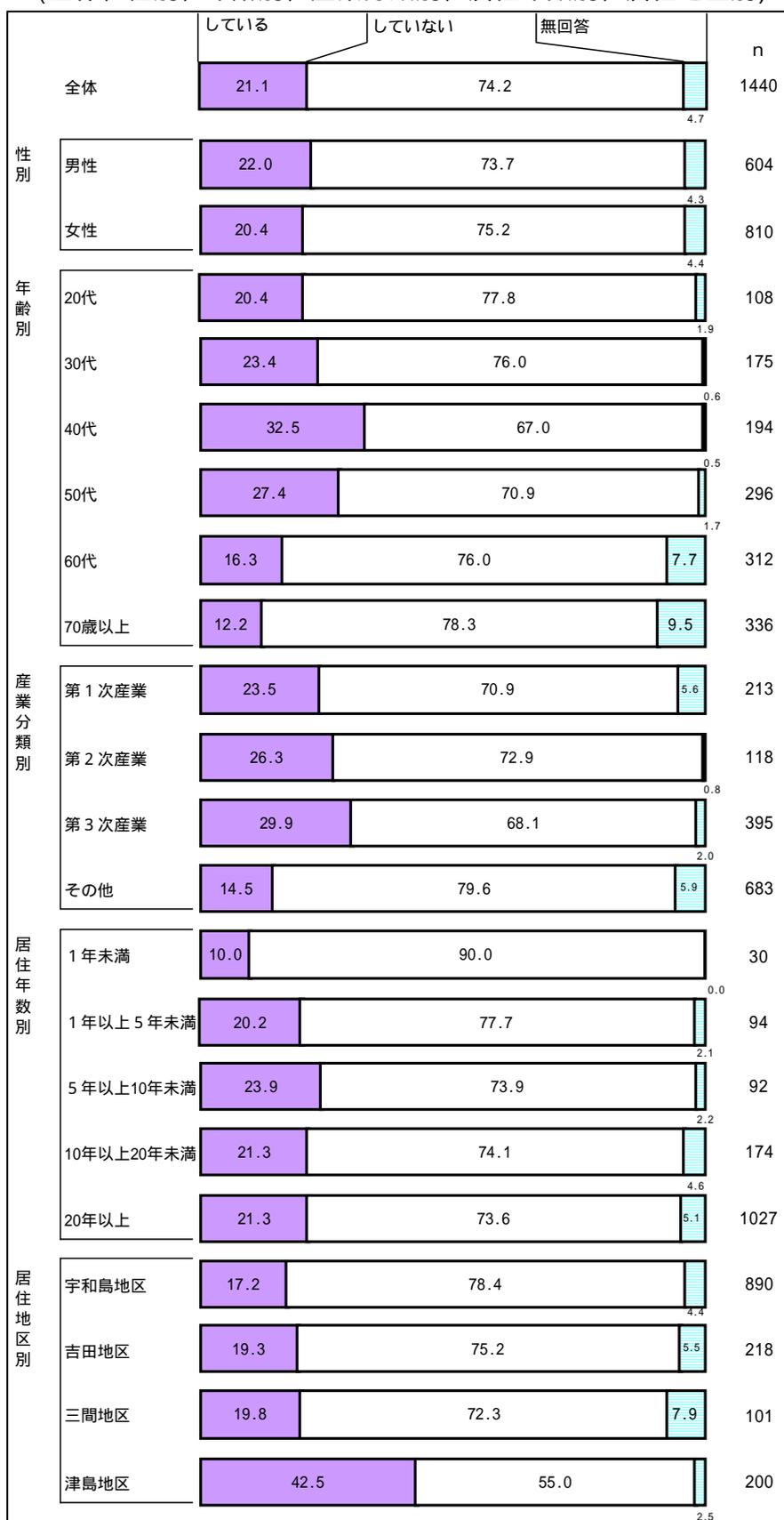
地域・職場での人権教育・啓発活動などに参加しているかをたずねたところ、「している」と回答した人が 21.1%、一方、「していない」と回答した人は 74.2%と、約 2 割が人権教育・啓発活動に参加している結果となった。[ 図表 94 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、年齢別の 40 代(32.5%)、居住地区別の津島地区(42.5%)で高く、全体(21.1%)と 10 ポイント以上の差がみられる。[ 図表 95 参照 ]

図表 94 地域・職場での人権教育・啓発活動の参加について(全体)



図表 95 地域・職場での人権教育・啓発活動の参加について  
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (26) スポーツ

### スポーツ振興への取り組みについて

問 32 スポーツについておたずねします。

(1) あなたは、宇和島市のスポーツ振興に関する取り組み(スポーツの啓発普及、指導者や活動団体などの育成、施設の整備など)について満足していますか。

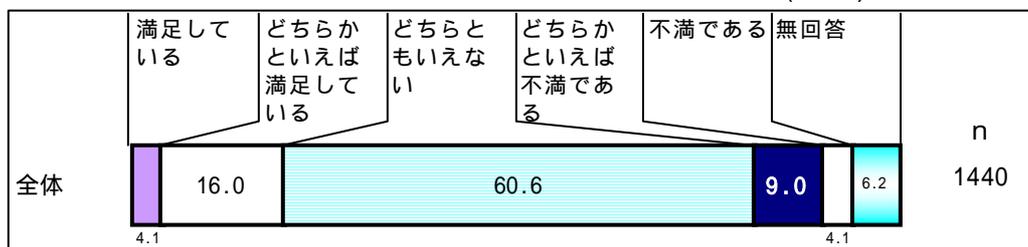
“満足している”が20.1%、“不満である”が13.1%。

スポーツ振興への取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.1%)と「どちらかといえば満足している」(16.0%)をあわせた“満足している”という人が20.1%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」9.0%及び「不満である」4.1%の合計)は13.1%となっている。

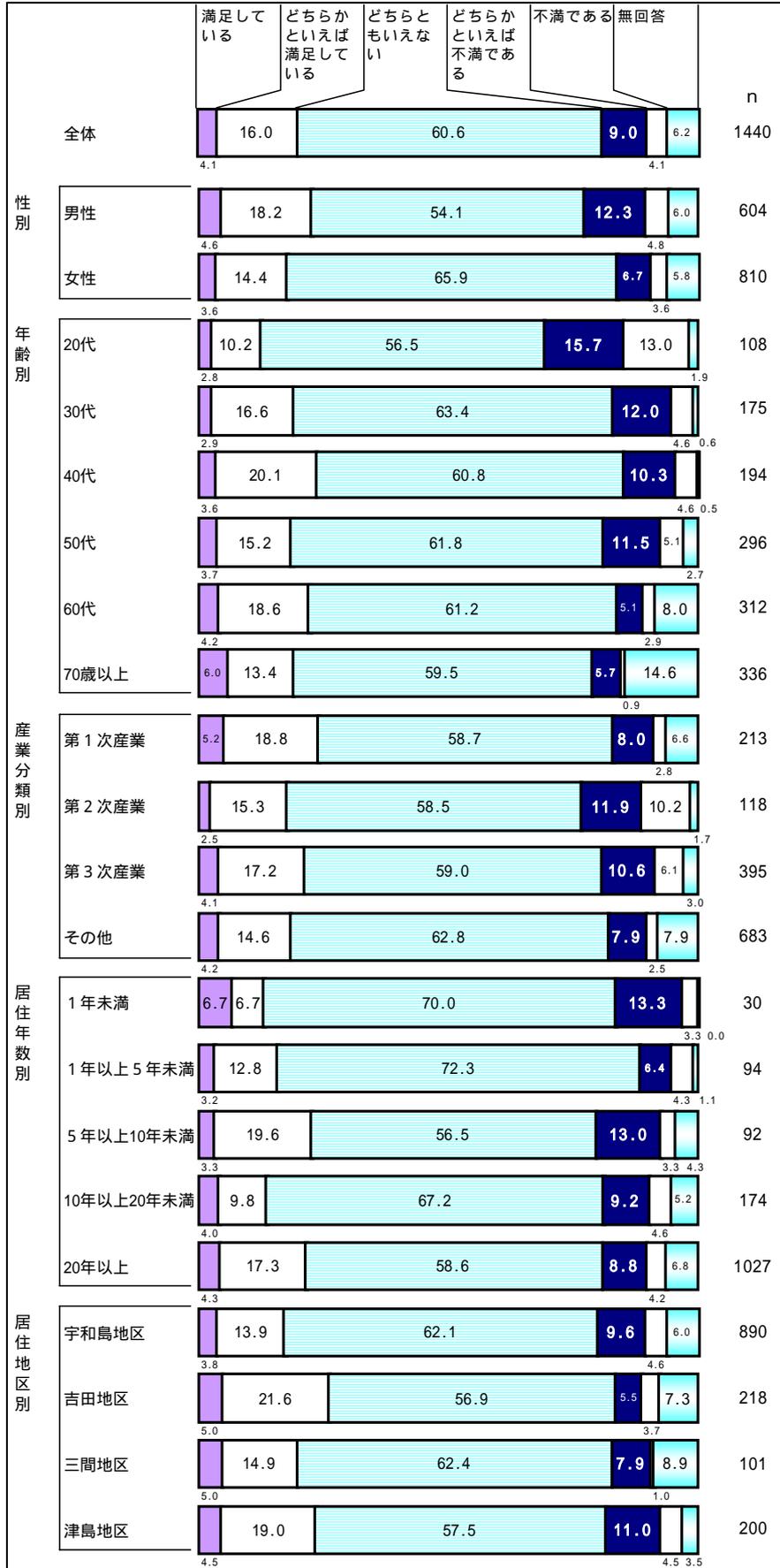
[ 図表 96 参照 ]

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で2割前後となっている。[ 図表 97 参照 ]

図表 96 スポーツ振興への取り組みについて(全体)



図表 97 スポーツ振興への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 定期的なスポーツ活動について

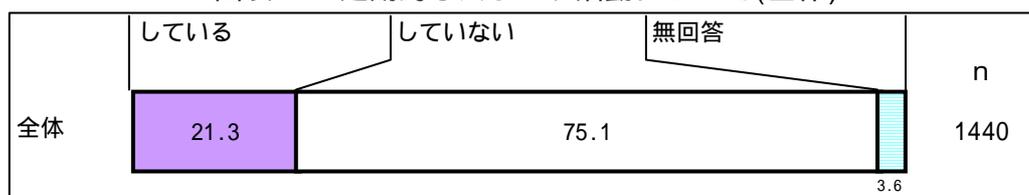
問 32 スポーツについておたずねします。  
(2)あなたは、定期的(週1回以上)にスポーツ活動をしていますか。

「している」が21.3%、「していない」が75.1%。

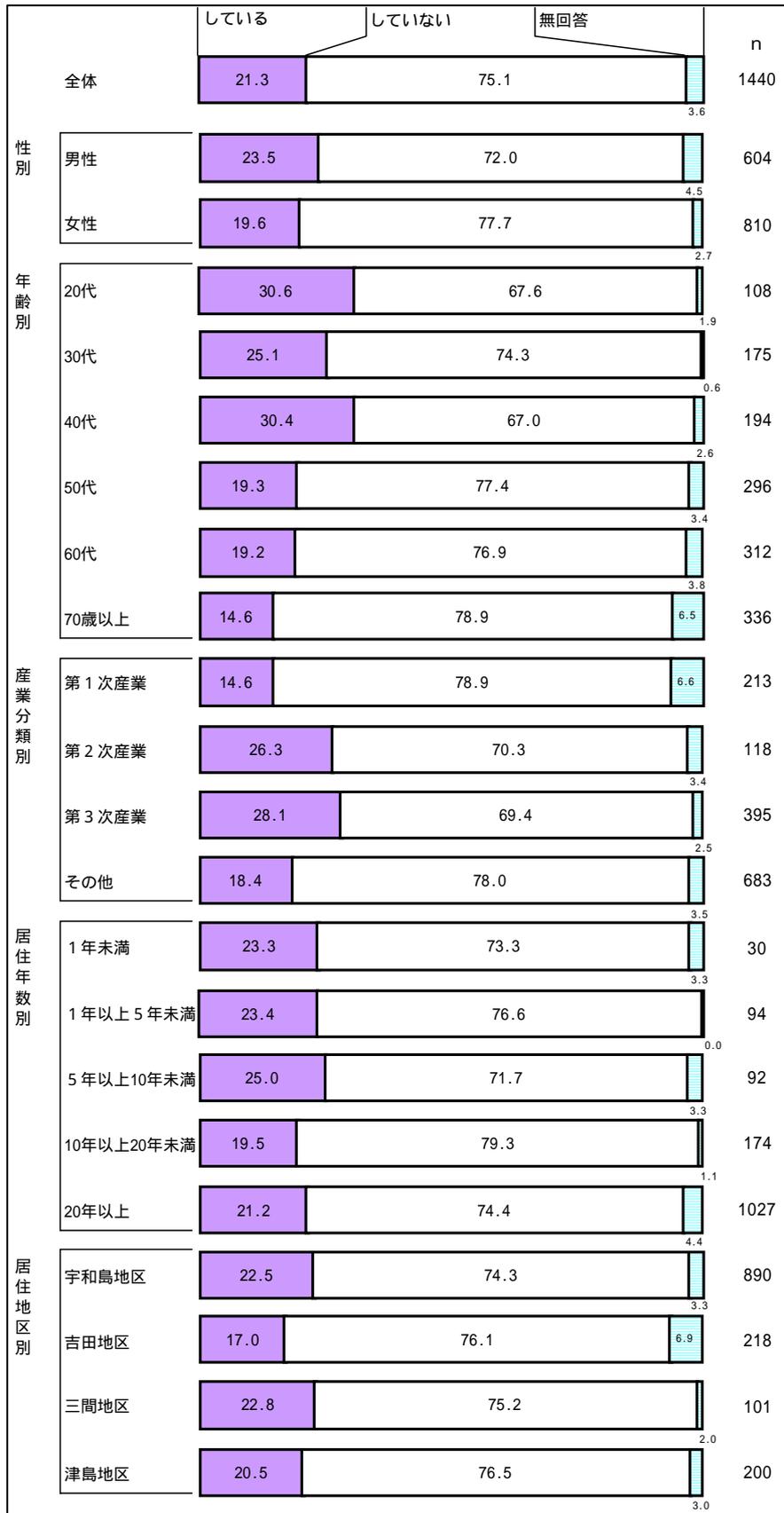
定期的なスポーツ活動をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が21.3%、一方、「していない」と回答した人は75.1%と、約2割が定期的なスポーツ活動をしている結果となった。[ 図表 98 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、ほとんどの層で2割前後となっている。[ 図表 99 参照 ]

図表 98 定期的なスポーツ活動について(全体)



図表 99 定期的なスポーツ活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (27) 芸術・文化

### 芸術・文化振興への取り組みについて

問 33 芸術・文化についておたずねします。

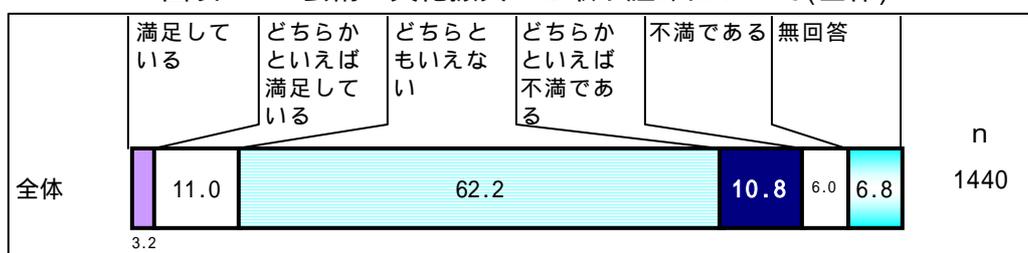
(1) あなたは、宇和島市の芸術・文化振興に関する取り組み(歴史・文化財等の保存・活用、芸術活動の支援、新たな芸術・文化を創出できる環境や施設の整備など)について満足していますか。

“満足している”が14.2%、“不満である”が16.8%。

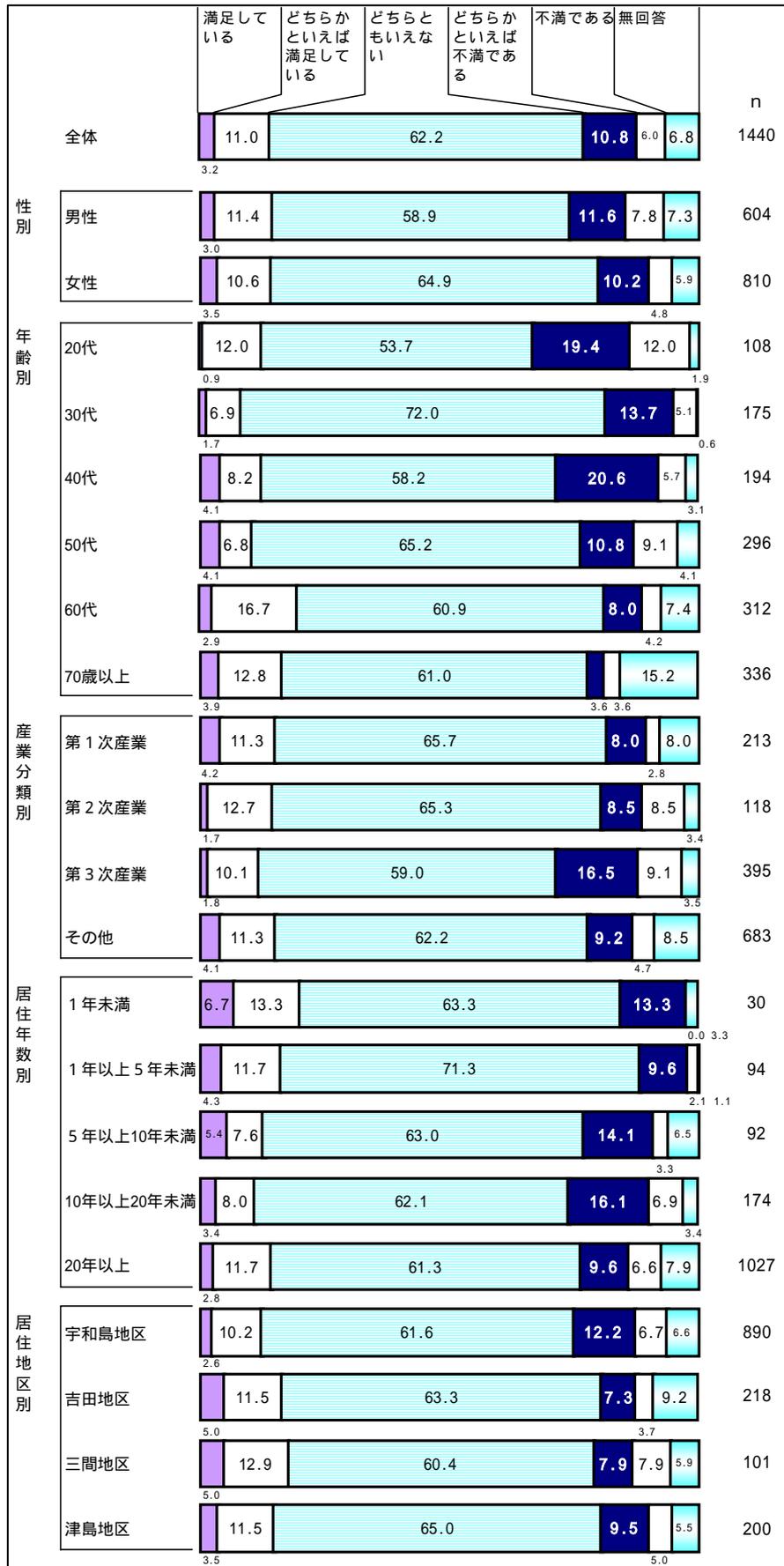
芸術・文化振興に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(3.2%)と「どちらかといえば満足している」(11.0%)をあわせた“満足している”という人が14.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」10.8%及び「不満である」6.0%の合計)は16.8%となっている。[\[ 図表 100 参照 \]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1～2割となっている。[\[ 図表 101 参照 \]](#)

図表 100 芸術・文化振興への取り組みについて(全体)



図表101 芸術・文化振興への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 芸術・文化活動への参加について

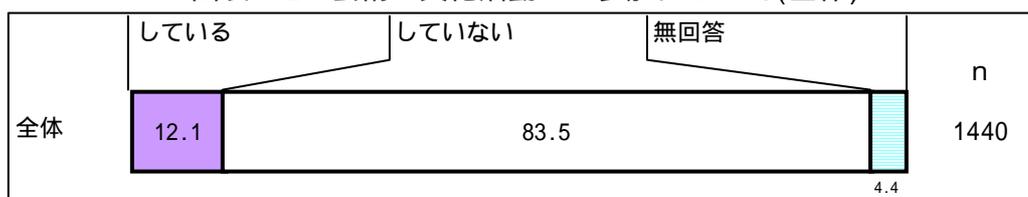
問 33 芸術・文化についておたずねします。  
(2)あなたは、日頃、芸術・文化活動に参加していますか。

「している」が 12.1%、「していない」が 83.5%。

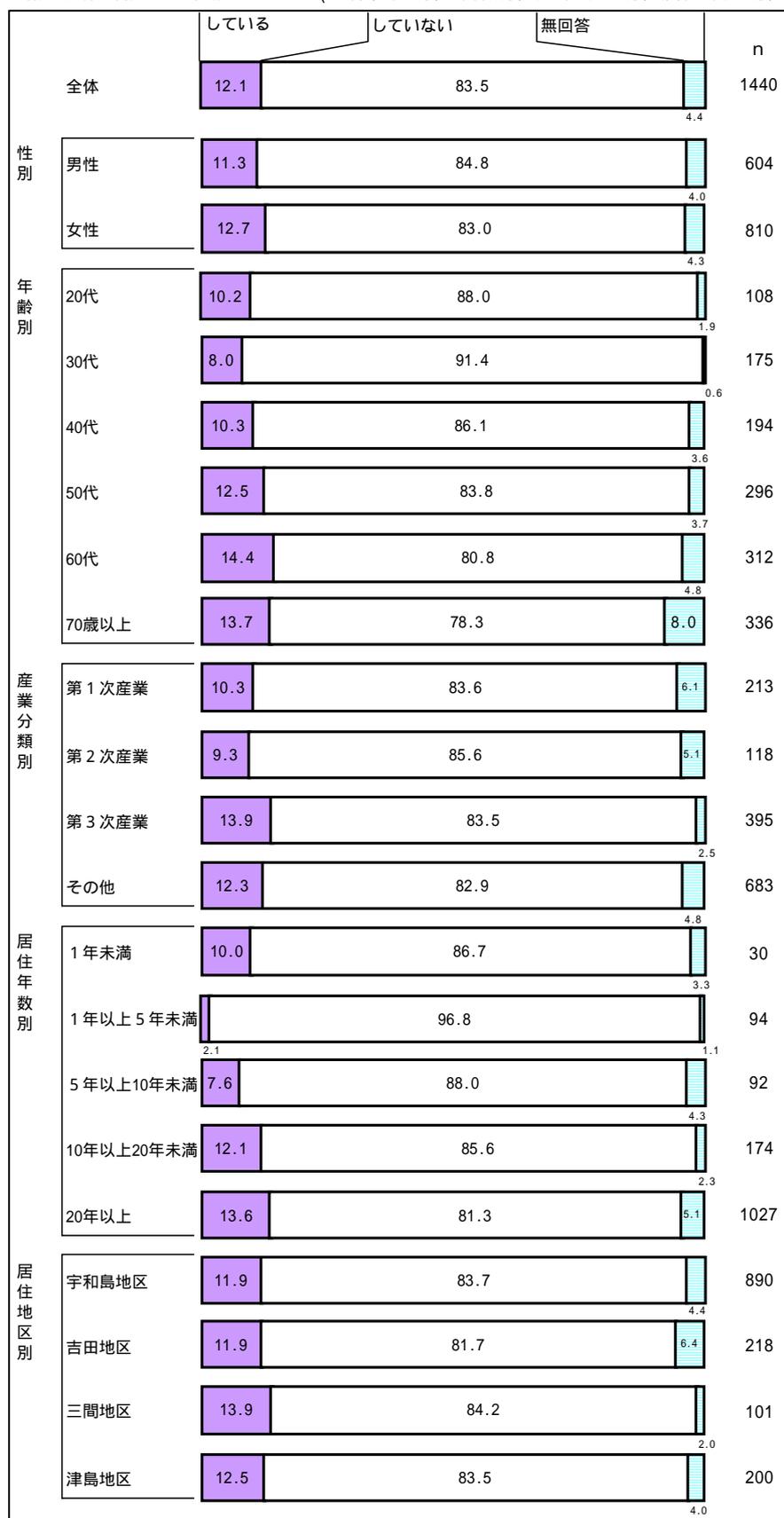
日頃、芸術・文化活動に参加しているかたずねたところ、「している」と回答した人が 12.1%、一方、「していない」と回答した人は 83.5%と、約 1 割が芸術・文化活動に参加している結果となった。[ 図表 102 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、ほとんどの層で 1 割前後となっている。[ 図表 103 参照 ]

図表 102 芸術・文化活動への参加について(全体)



図表 103 芸術・文化活動への参加について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(28)国際交流・地域間交流

国内外との交流活動について

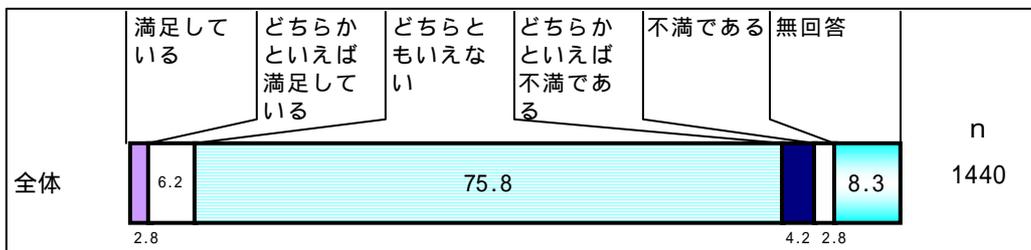
問 34 国際交流・地域間交流についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の国内外との交流活動(姉妹都市交流など)について満足していますか。

“満足している”が9.0%、“不満である”が7.0%。

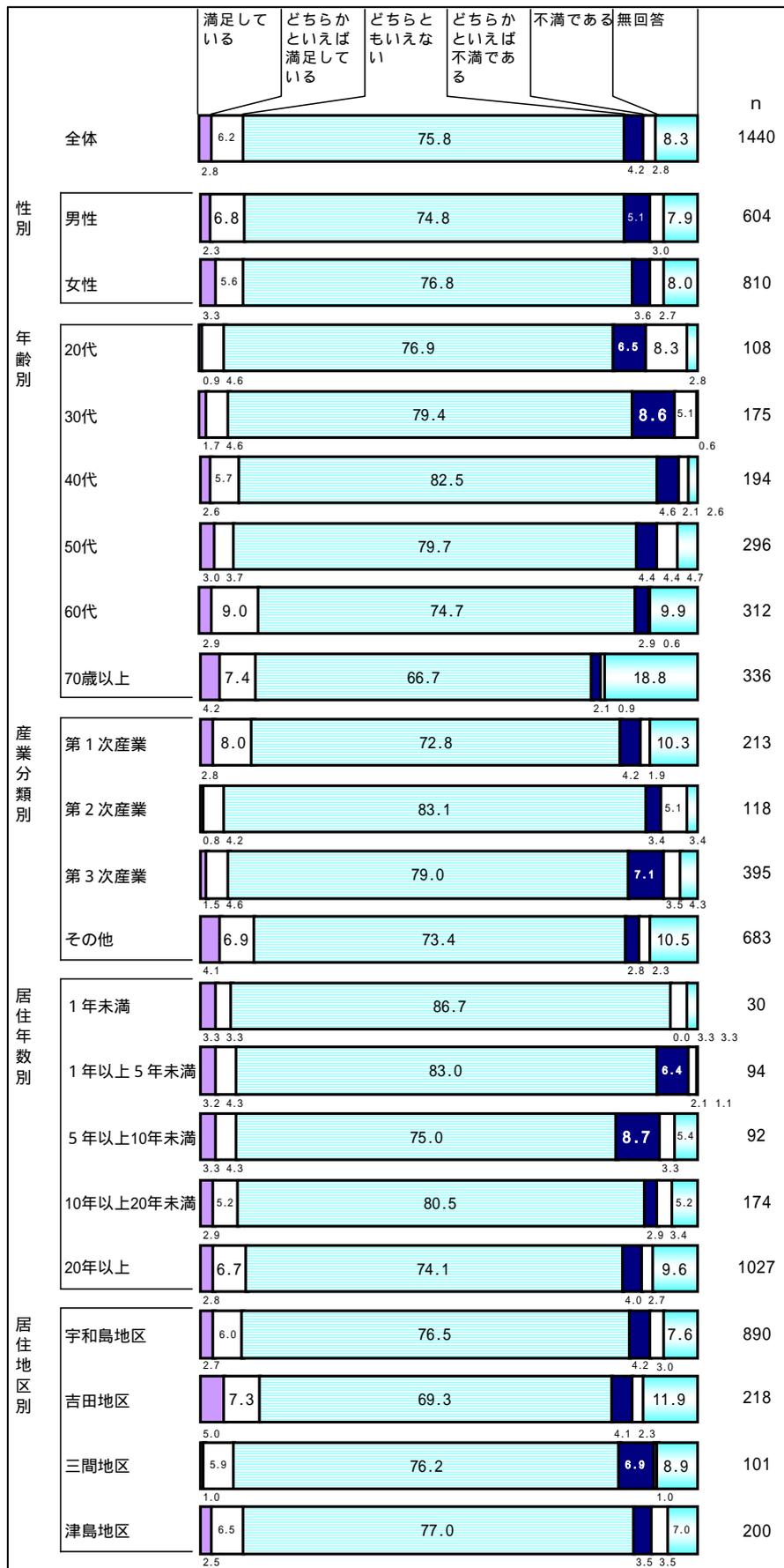
国内外との交流活動について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.8%)と「どちらかといえば満足している」(6.2%)をあわせた“満足している”という人が9.0%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」4.2%及び「不満である」2.8%の合計)は7.0%となっている。[図表 104 参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後となっている。[図表 105 参照]

図表 104 国内外との交流活動について(全体)



図表 105 国内外との交流活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 国内外地域や居住外国人との交流活動について

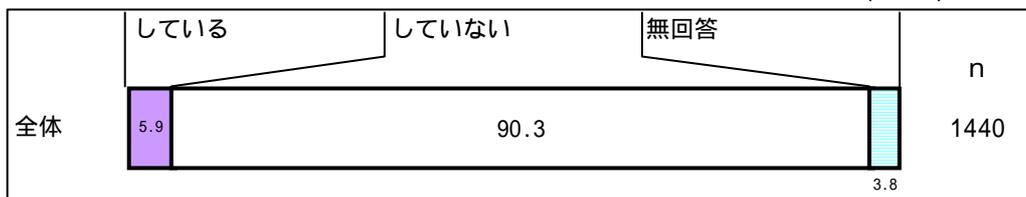
問 34 国際交流・地域間交流についておたずねします。  
(2)あなたは、国内外の地域や居住外国人との交流活動をしていますか。

「している」が5.9%、「していない」が90.3%。

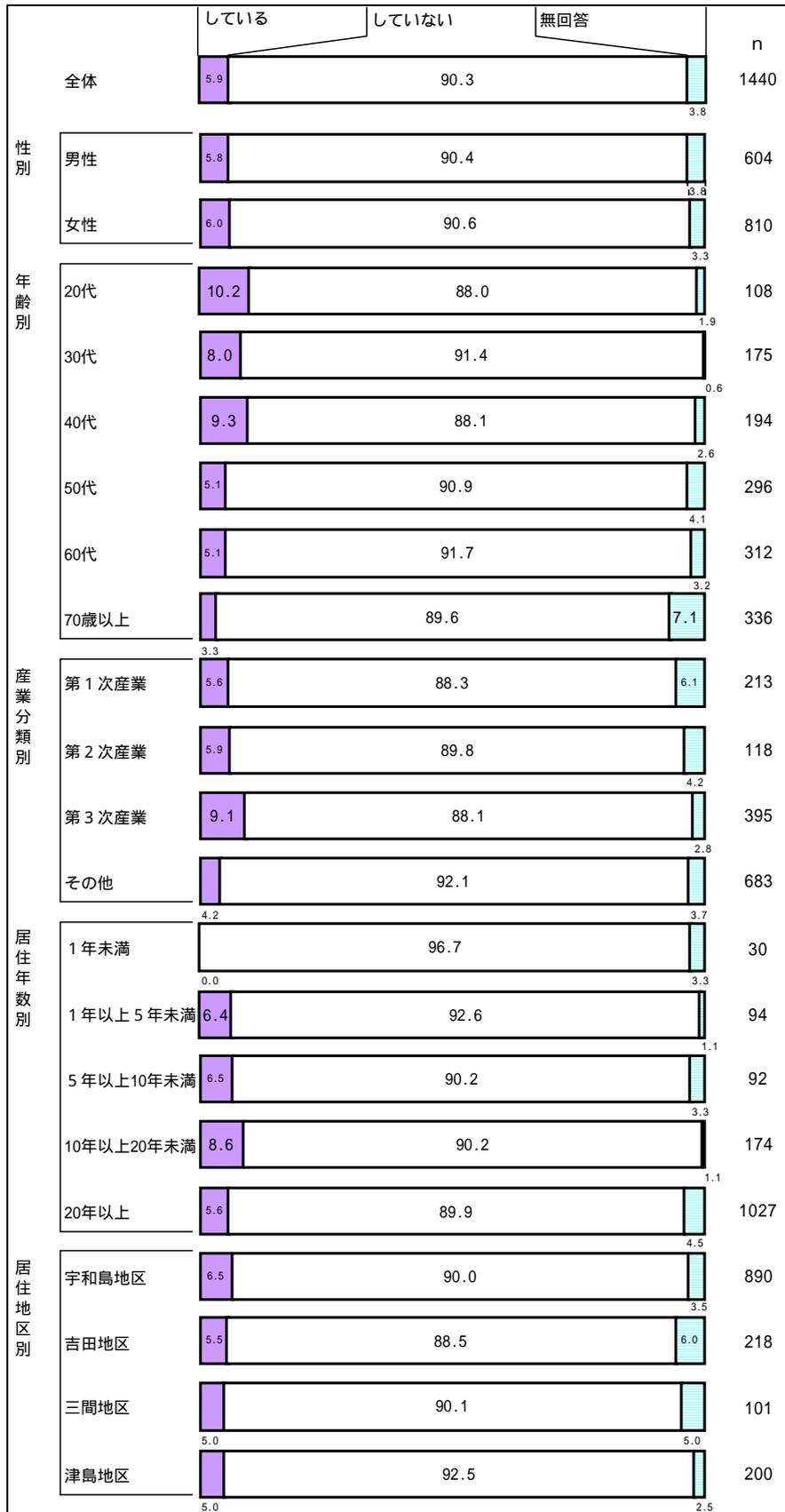
国内外の地域や居住外国人との交流活動をしているかをたずねたところ、「している」と回答した人が5.9%、一方「していない」と回答した人は90.3%と、交流活動をしている人は1割弱にとどまる結果となった。[ 図表 106 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、年齢別の20代(10.2%)で1割を超えているものの、その他のすべての層では1割を下回っている。[ 図表 107 参照 ]

図表 106 国内外地域や居住外国人との交流活動について(全体)



図表 107 国内外地域や居住外国人との交流活動について  
(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(29)男女共同参画

男女共同参画推進への取り組みについて

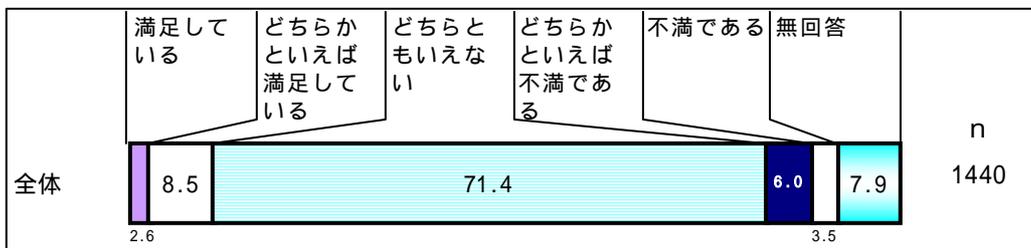
問 35 男女共同参画についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の男女共同参画の推進に関する取り組み(男女平等意識の啓発、委員会等への女性の登用など)について満足していますか。

“満足している”が11.1%、“不満である”が9.5%。

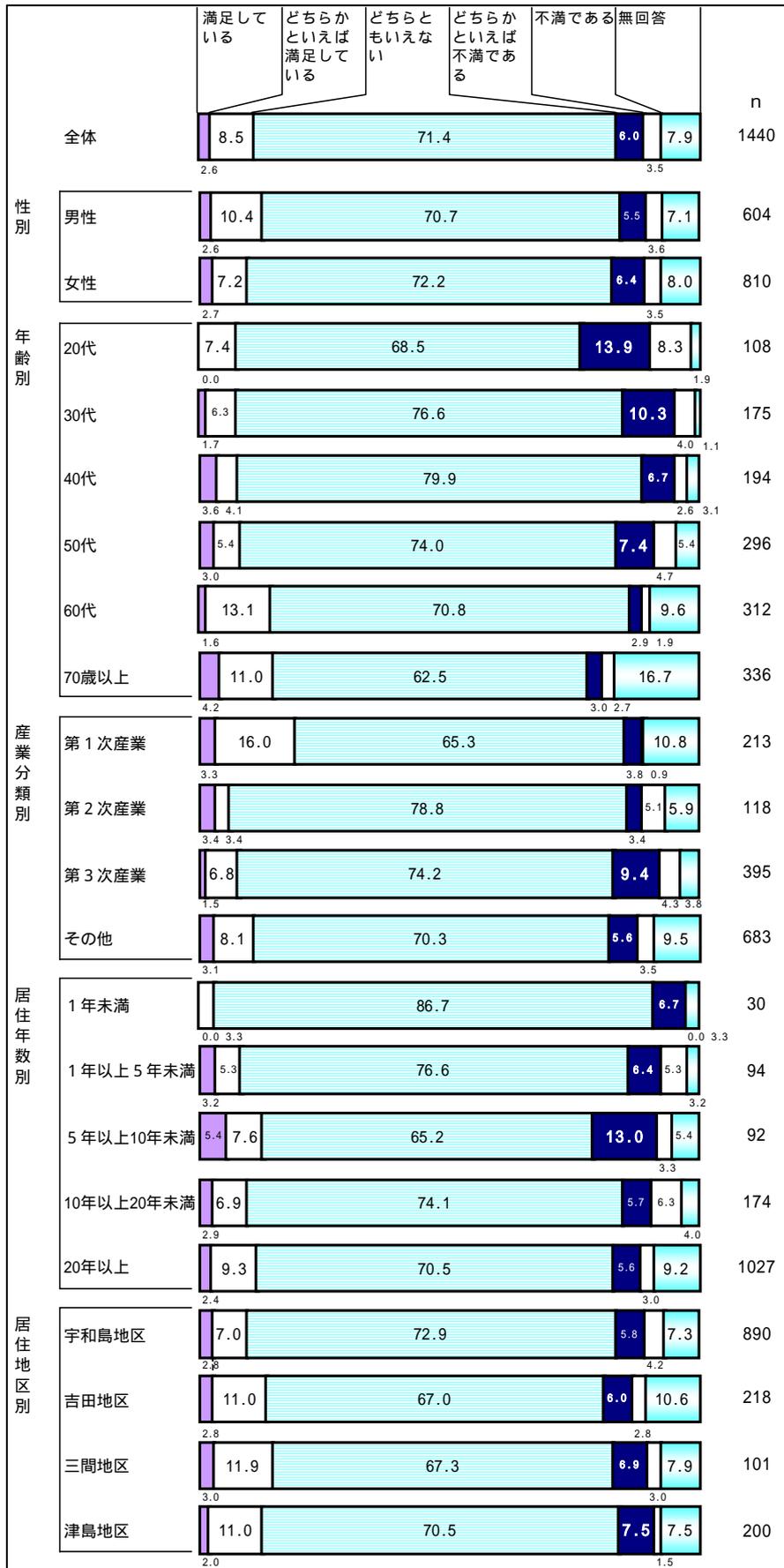
男女共同参画の推進に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.6%)と「どちらかといえば満足している」(8.5%)をあわせた“満足している”という人が11.1%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」6.0%及び「不満である」3.5%の合計)は9.5%となっている。[図表108参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後となっている。[図表109参照]

図表 108 男女共同参画推進への取り組みについて(全体)



図表109 男女共同参画推進への取り組みについて(全体 性別 年齢別 産業分類別 居住年数別 居住地区別)



### (30) コミュニティ

#### 地域のコミュニティ活動について

問 36 コミュニティについておたずねします。  
(1)あなたは、地域のコミュニティ活動(自治会の活動など)について満足していますか。

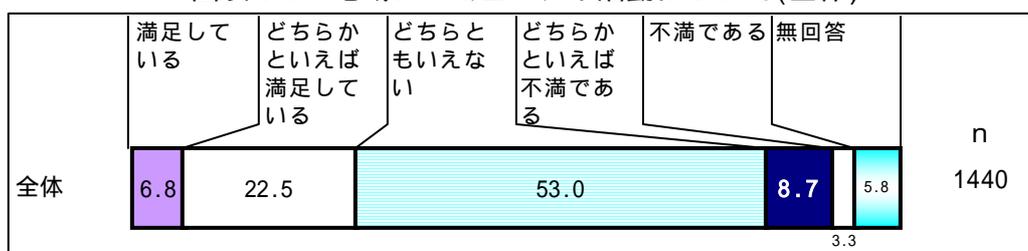
“満足している”が29.3%、“不満である”が12.0%。

地域のコミュニティ活動について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(6.8%)と「どちらかといえば満足している」(22.5%)をあわせた“満足している”という人が29.3%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」8.7%及び「不満である」3.3%の合計)は12.0%となっている。

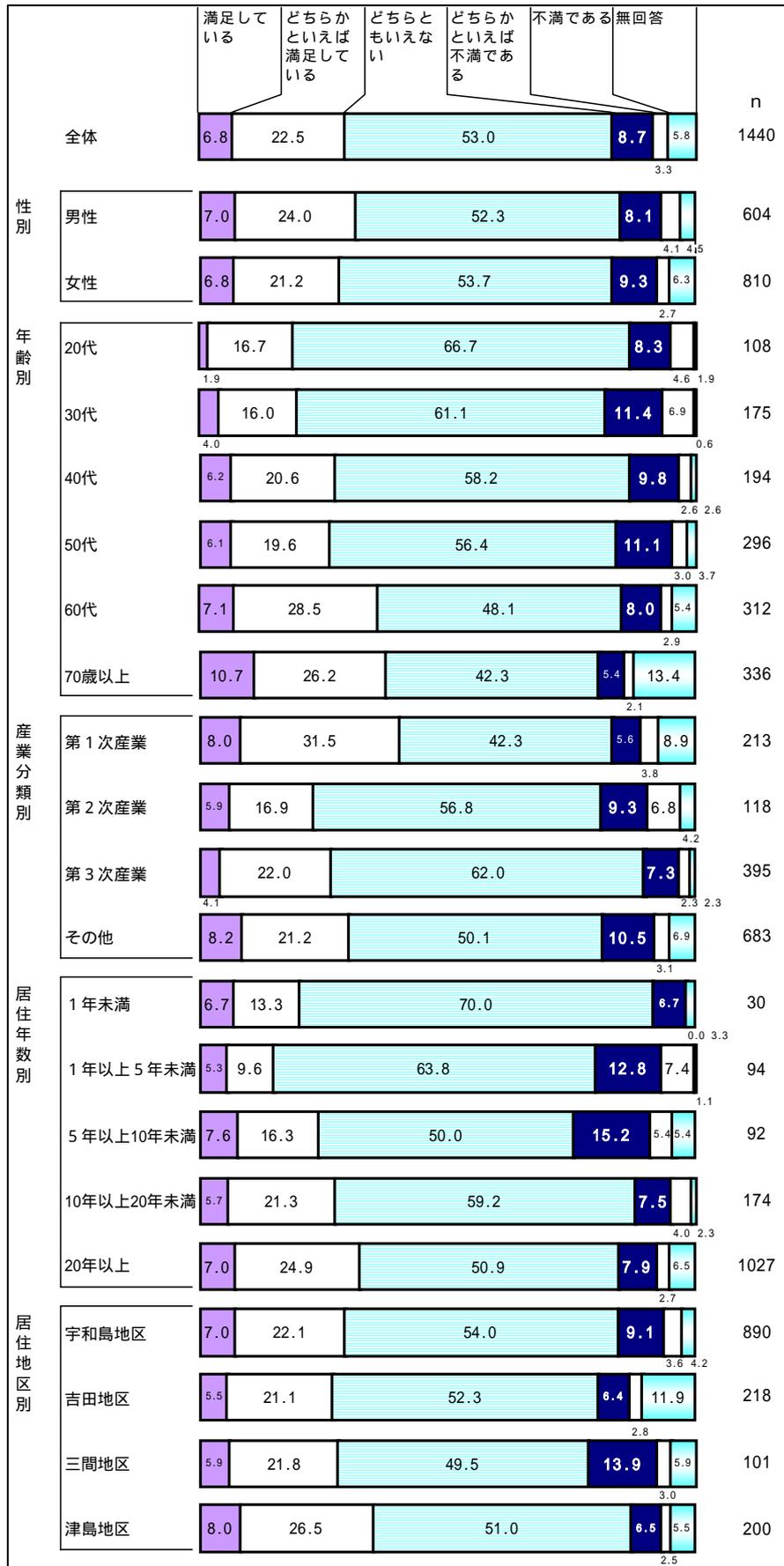
[ 図表 110 参照 ]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(18.6%)、居住年数別の1年以上5年未満(14.9%)で低く、一方、産業分類別の第1次産業(39.5%)で高く、全体(29.3%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では大きな差はみられない。[ 図表 111 参照 ]

図表 110 地域のコミュニティ活動について(全体)



図表 111 地域のコミュニティ活動について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## コミュニティ活動への参加について

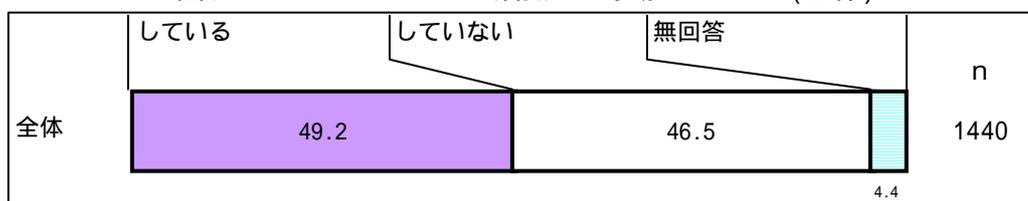
問 36 コミュニティについておたずねします。  
(2)あなたは、日頃、コミュニティ活動(自治会の活動など)に参加していますか。

「している」が49.2%、「していない」が46.5%。

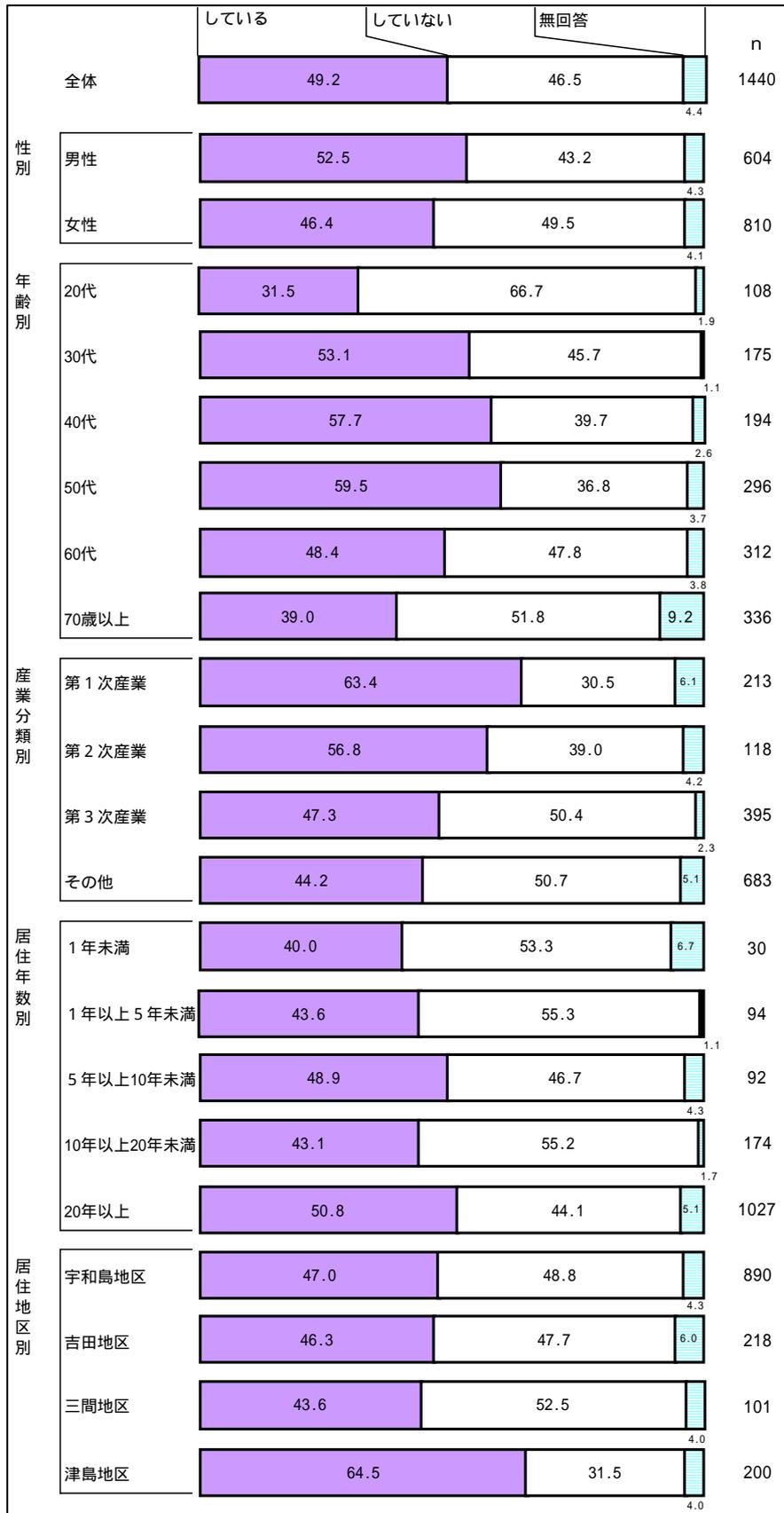
日頃、コミュニティ活動に参加しているかをたずねたところ、「している」と回答した人が49.2%、一方、「していない」と回答した人は46.5%と、約5割の人がコミュニティ活動に参加している結果となった。[ 図表 112 参照 ]

属性別で「している」と回答した割合をみていくと、性別では大きな差はみられないが、年齢別でみると、20代(31.5%)で約3割、70歳以上(39.0%)で約4割と低いものの、50代(59.5%)、40代(57.7%)、30代(53.1%)では5割を超えて高くなっている。産業分類別では、第1次産業(63.4%)で6割を超えて高くなっている。また、居住地区別でみると、津島地区(64.5%)で6割を超え、他地区に比べて17ポイント以上の差がみられる。[ 図表 113 参照 ]

図表 112 コミュニティ活動への参加について(全体)



図表 113 コミュニティ活動への参加について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



(31)行財政

行政改革の進捗状況について

問 37 行財政の運営についておたずねします。  
(1)あなたは、宇和島市の行政改革に関する進捗状況(組織機構の見直し、職員定数・給与の適正管理、行政サービスの向上など)について満足していますか。

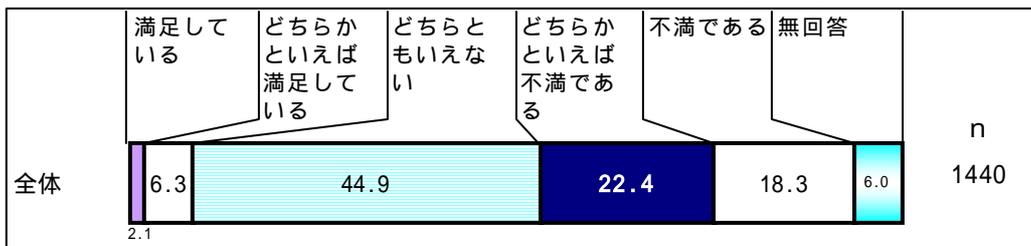
“満足している”が8.4%、“不満である”が40.7%。

行政改革に関する進捗状況について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(2.1%)と「どちらかといえば満足している」(6.3%)をあわせた“満足している”という人が8.4%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」22.4%及び「不満である」18.3%の合計)は40.7%となっている。

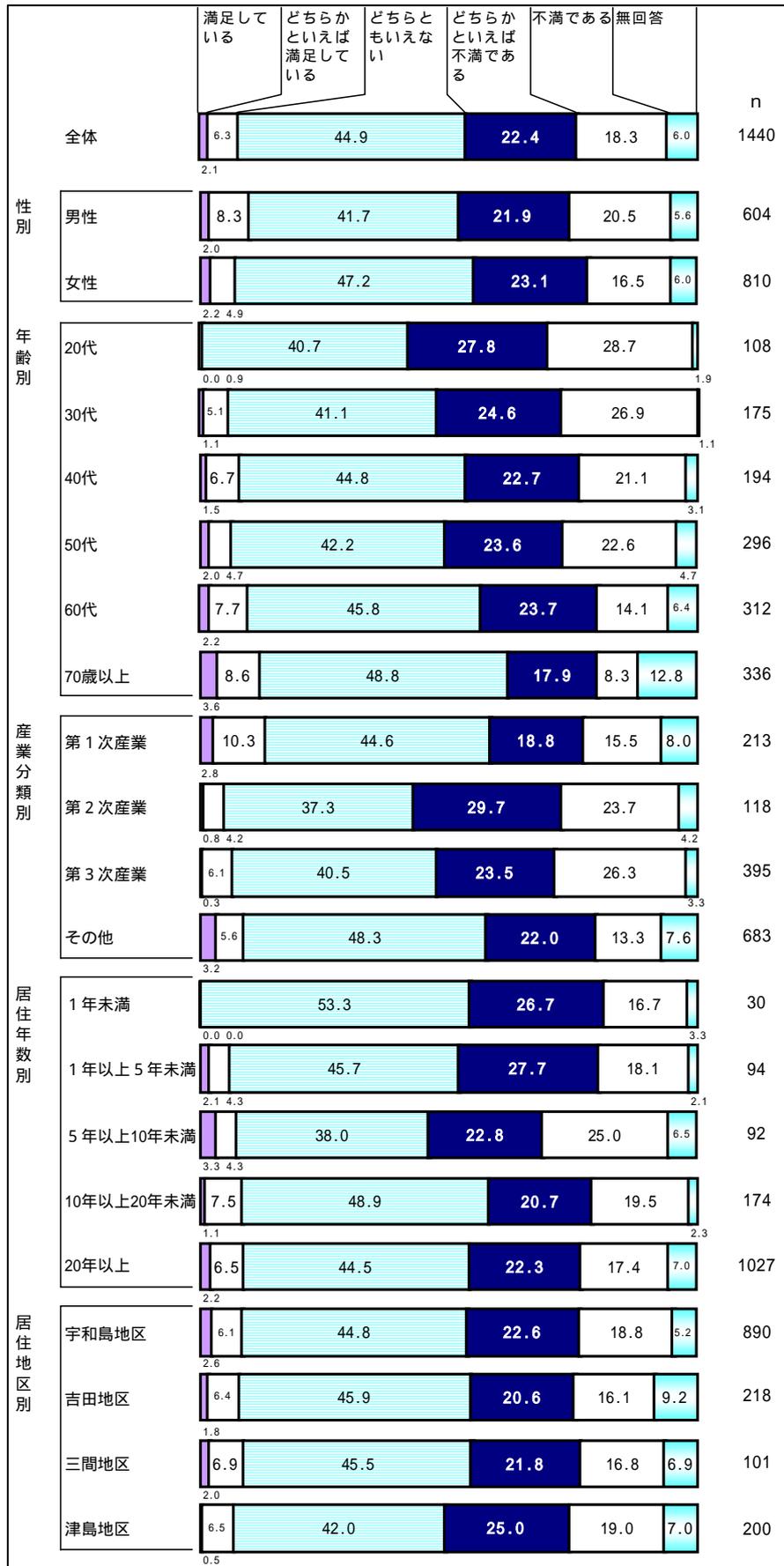
[ 図表 114 参照 ]

属性別に“不満である”割合をみていくと、年齢別の20代(56.5%)、30代(51.5%)、産業分類別の第2次産業(53.4%)で高く、一方、年齢別の70歳以上(26.2%)で低く、全体(40.7%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では大きな差はみられない。[ 図表 115 参照 ]

図表 114 行政改革の進捗状況について(全体)



図表 115 行政改革の進捗状況について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 市職員の対応について

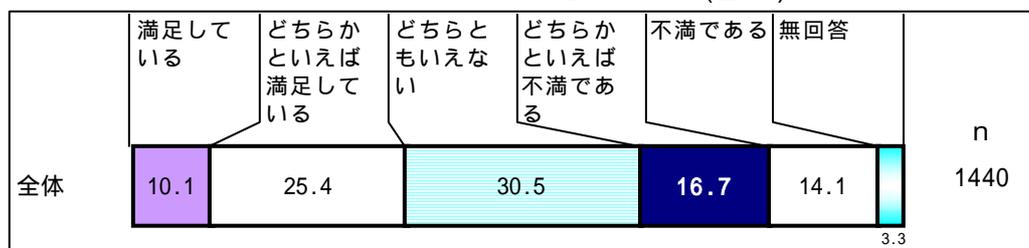
問 37 行財政の運営についておたずねします。  
 (2)あなたは、市職員の対応(窓口サービス、電話対応など)について満足していますか。

“満足している”が35.5%、“不満である”が30.8%。

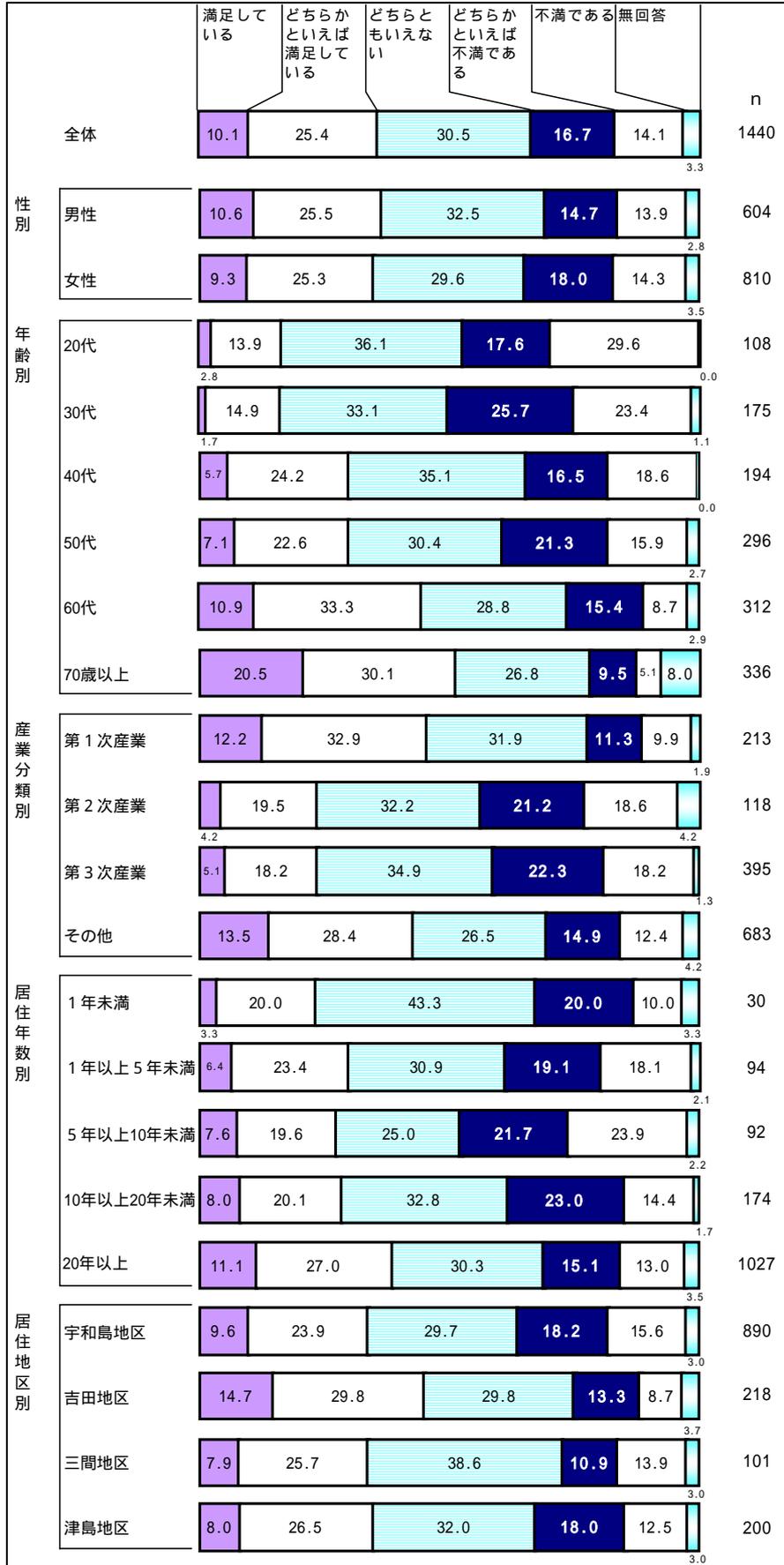
市職員の対応について満足しているかをたずねたところ、「満足している」(10.1%)と「どちらかといえば満足している」(25.4%)をあわせた“満足している”という人が35.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」16.7%及び「不満である」14.1%の合計)は30.8%となっている。[図表116参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(16.7%)、30代(16.6%)、産業分類別の第2次産業(23.7%)、第3次産業(23.3%)、居住年数別の1年未満(23.3%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(50.6%)で高く、全体(35.5%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では、吉田地区で44.5%と、他地区に比べて若干高くなっている。[図表117参照]

図表 116 市職員の対応について(全体)



図表 117 市職員の対応について(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## (32)住民参画

### 住民参画への取り組みについて

問 38 住民参画についておたずねします。

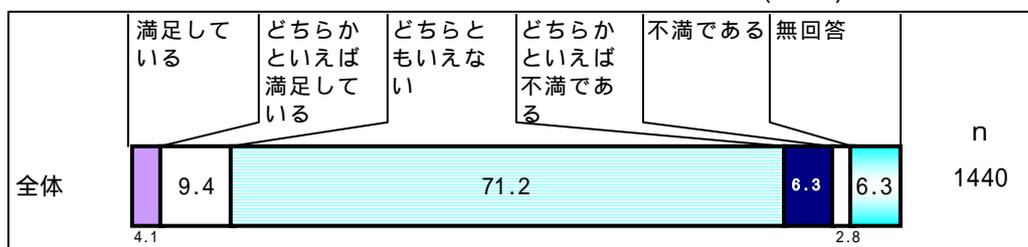
(1)あなたは、宇和島市の住民参画に関する取り組み(各種委員の一般公募、市政情報の公開、ボランティア・NPO活動の活性化支援など)について満足していますか。

“満足している”が13.5%、“不満である”が9.1%。

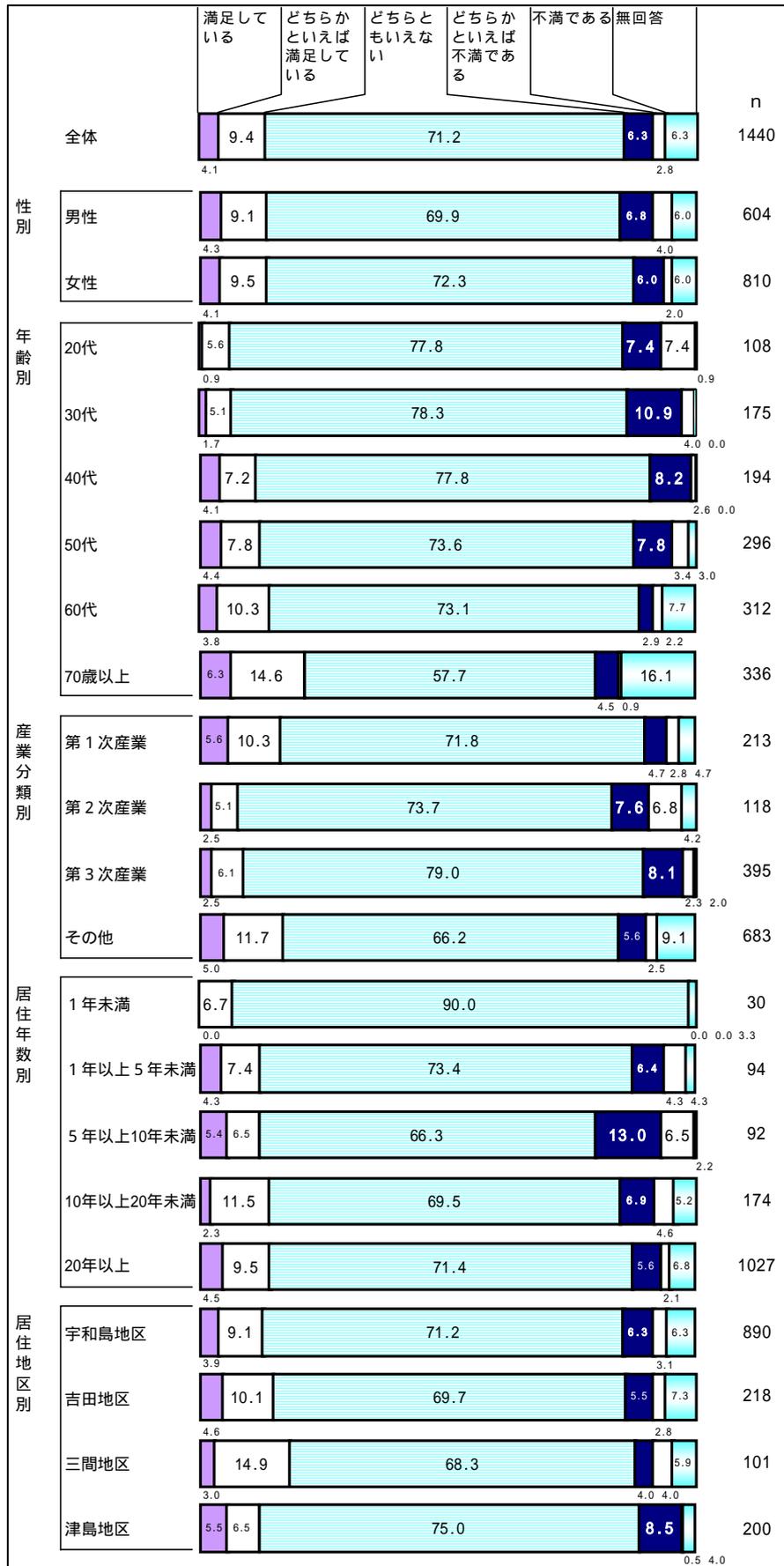
住民参画に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(4.1%)と「どちらかといえば満足している」(9.4%)をあわせた“満足している”という人が13.5%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」6.3%及び「不満である」2.8%の合計)は9.1%となっている。[図表 118 参照]

属性別に“満足している”割合をみていくと、ほとんどの層で1割前後となっている。[図表 119 参照]

図表 118 住民参画への取り組みについて(全体)



図表 119 住民参画への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 広報・広聴活動への取り組みについて

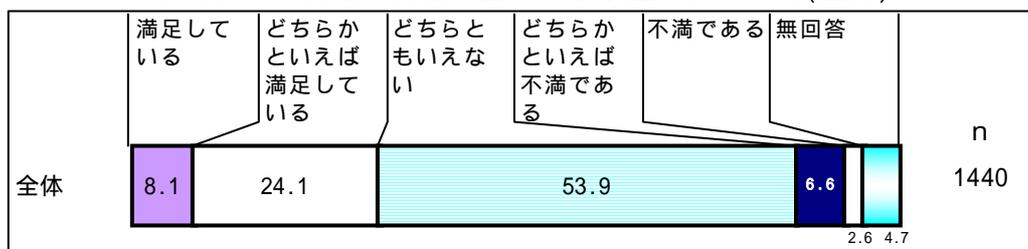
問 38 住民参画についておたずねします。  
 (2)あなたは、宇和島市の広報・広聴活動に関する取り組み(広報紙やホームページ、タウンミーティングなど)について満足していますか。

“満足している”が32.2%、“不満である”が9.2%。

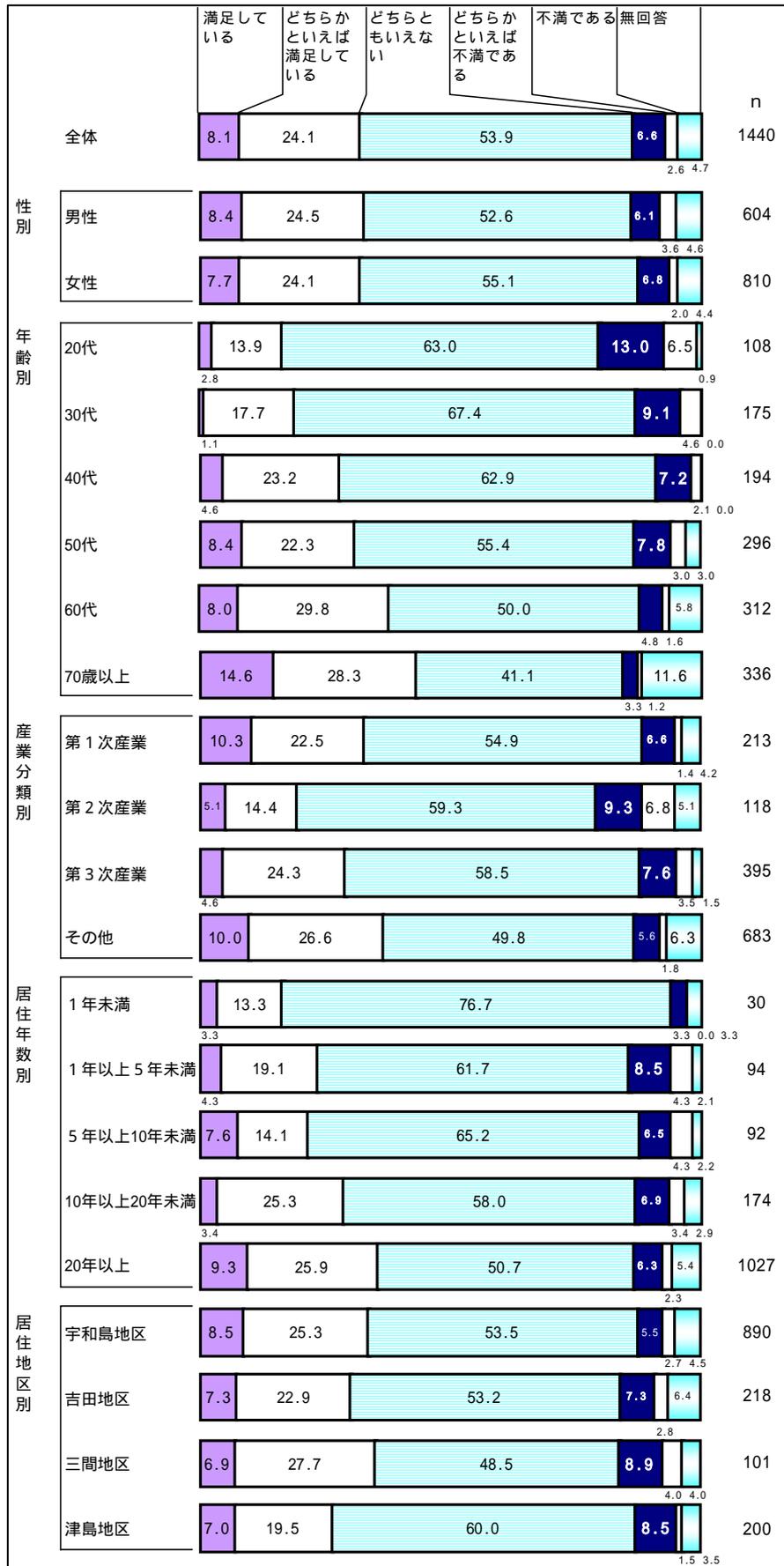
広報・広聴活動に関する取り組みについて満足しているかをたずねたところ、「満足している」(8.1%)と「どちらかといえば満足している」(24.1%)をあわせた“満足している”という人が32.2%となっている。一方、“不満である”(「どちらかといえば不満である」6.6%及び「不満である」2.6%の合計)は9.2%となっている。[\[ 図表 120 参照 \]](#)

属性別に“満足している”割合をみていくと、年齢別の20代(16.7%)、30代(18.8%)、産業分類別の第2次産業(19.5%)、居住年数別の1年未満(16.6%)、5年以上10年未満(21.7%)で低く、一方、年齢別の70歳以上(42.9%)で高く、全体(32.2%)と10ポイント以上の差がみられる。また、居住地区別では大きな差はみられない。[\[ 図表 121 参照 \]](#)

図表 120 広報・広聴活動への取り組みについて(全体)



図表121 広報・広聴種への取り組みについて(全体、性別、年齢別、産業分類別、居住年数別、居住地区別)



## 4 市の満足度評価とCS分析

### (1) 市の満足度評価について

満足度の最も高い項目は「水道の整備状況について」。次いで「自然環境の豊かさについて」、**「消防・防災体制について」**の順。

満足度の最も低い項目は「雇用・就労対策への取り組みについて」。次いで「商業環境について」、**「地場産業の振興や企業誘致について」**の順。

宇和島市の各環境に対する市民の満足度について、総合的に把握・整理し、比較検討等を行うため、問7から問38までの設問結果から、満足度をたずねた37の設問結果を抜粋し、加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点(満足度：最高点10点、最低点-10点)を算出した。

これによる全体での満足度評価は、「水道の整備状況について」(3.69点)が最も高く、次いで第2位が「自然環境の豊かさについて」(2.60点)、第3位が「消防・防災体制について」(2.28点)と続き、以下、「ごみ処理・リサイクル状況について」(1.90点)、「広報・広聴活動への取り組みについて」(1.49点)などの順となっている。

また、満足度評価の低い方からみると、「雇用・就労対策への取り組みについて」(-3.82点)が最も低く、次いで「商業環境について」(-3.73点)、「地場産業の振興や企業誘致について」(-3.23点)、「観光基盤の整備状況について」(-3.16点)、「行政改革の進捗状況について」(-2.58点)と続いている。総合すると、37項目のうち、満足度がプラス評価の項目が18項目、マイナス評価の項目が18項目、プラスマイナス0の項目が1項目となっている。

居住地区別に満足度の上位項目と下位項目をみていくと、以下のとおりにまとめられる。〔[図表 122～124 参照](#)〕

#### 宇和島地区

満足度の上位3項目は第1位が「水道の整備状況について」(3.93点)、第2位が「自然環境の豊かさについて」(2.31点)、第3位が「消防・防災体制について」(2.05点)の順。一方、下位3項目は第1位が「商業環境について」(-4.24点)、第2位が「雇用・就労対策への取り組みについて」(-4.00点)、第3位が「観光基盤の整備状況について」(-3.60点)の順。

37項目のうち、プラス評価の項目は18項目、マイナス評価の項目は19項目となっている。

### 吉田地区

満足度の上位3項目は第1位が「水道の整備状況について」(3.70点)、第2位が「自然環境の豊かさについて」(3.25点)、第3位が「消防・防災体制について」(3.23点)の順。一方、下位3項目は第1位が「医療体制について」(-4.65点)、第2位が「雇用・就労対策への取り組みについて」(-3.38点)、第3位が「地場産業の振興や企業誘致について」(-3.08点)の順。

37項目のうち、プラス評価の項目は24項目、マイナス評価の項目は13項目となっている。

### 三間地区

満足度の上位3項目は第1位が「水道の整備状況について」(3.23点)、第2位が「自然環境の豊かさについて」(3.22点)、第3位が「街並み景観について」(3.10点)の順。一方、下位3項目は第1位が「雇用・就労対策への取り組みについて」(-3.76点)、第2位が「地場産業の振興や企業誘致について」(-3.26点)、第3位が「公共交通機関について」(-2.88点)の順。

37項目のうち、プラス評価の項目は19項目、マイナス評価の項目は18項目となっている。

### 津島地区

満足度の上位3項目は第1位が「自然環境の豊かさについて」(3.03点)、第2位が「水道の整備状況について」(2.98点)、第3位が「街並み景観について」(2.35点)の順。一方、下位3項目は第1位が「雇用・就労対策への取り組みについて」(-3.88点)、第2位が「商業環境について」(-3.32点)、第3位が「地場産業の振興や企業誘致について」(-3.12点)の順。

37項目のうち、プラス評価の項目は16項目、マイナス評価の項目は21項目となっている。

#### 加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」} \\ \text{「どちらかといえば満足している」} \\ \text{「どちらともいえない」} \\ \text{「どちらかといえば不満である」} \\ \text{「不満である」} \end{array} \text{の回答者数}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-10点に近くなるほど評価が低くなる。

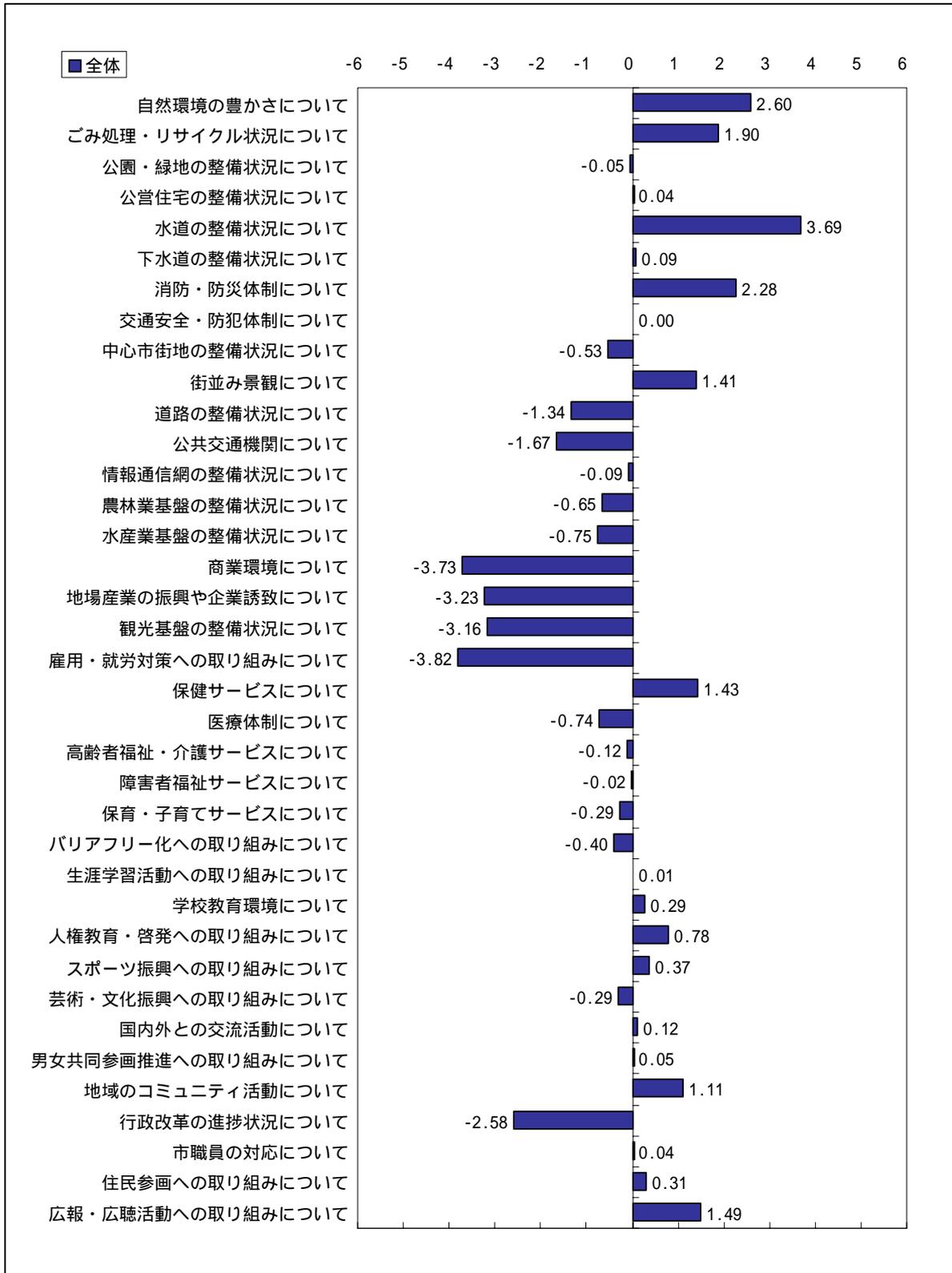
図表 122 市の満足度評価について(全体、居住地区別 / 満足度)

(単位：評価点)

	全体	居住地区別			
		宇和島地区	吉田地区	三間地区	津島地区
自然環境の豊かさについて	2.60	2.31	3.25	3.22	3.03
ごみ処理・リサイクル状況について	1.90	1.91	2.14	2.15	1.33
公園・緑地の整備状況について	-0.05	-0.59	1.20	1.70	0.10
公営住宅の整備状況について	0.04	-0.14	0.66	-0.06	0.16
水道の整備状況について	3.69	3.93	3.70	3.23	2.98
下水道の整備状況について	0.09	0.32	0.07	-0.16	-1.01
消防・防災体制について	2.28	2.05	3.23	2.76	2.02
交通安全・防犯体制について	0.00	-0.18	0.60	0.87	-0.41
中心市街地の整備状況について	-0.53	-0.64	0.07	-0.15	-0.90
街並み景観について	1.41	0.89	1.92	3.10	2.35
道路の整備状況について	-1.34	-1.37	-0.19	-0.76	-3.03
公共交通機関について	-1.67	-1.48	-1.33	-2.88	-2.56
情報通信網の整備状況について	-0.09	0.25	-0.22	-0.52	-1.47
農林業基盤の整備状況について	-0.65	-0.56	-0.75	-1.25	-0.90
水産業基盤の整備状況について	-0.75	-0.88	-0.34	-0.32	-0.90
商業環境について	-3.73	-4.24	-2.83	-2.58	-3.32
地場産業の振興や企業誘致について	-3.23	-3.34	-3.08	-3.26	-3.12
観光基盤の整備状況について	-3.16	-3.60	-2.91	-2.16	-2.16
雇用・就労対策への取り組みについて	-3.82	-4.00	-3.38	-3.76	-3.88
保健サービスについて	1.43	1.48	1.07	1.70	1.36
医療体制について	-0.74	0.27	-4.65	-0.10	-1.66
高齢者福祉・介護サービスについて	-0.12	-0.15	-0.12	0.66	-0.31
障害者福祉サービスについて	-0.02	0.02	0.05	0.10	-0.32
保育・子育てサービスについて	-0.29	-0.34	0.25	-0.38	-0.61
バリアフリー化への取り組みについて	-0.40	-0.42	-0.69	-0.27	-0.15
生涯学習活動への取り組みについて	0.01	0.01	0.13	0.38	-0.31
学校教育環境について	0.29	0.11	0.54	1.32	0.21
人権教育・啓発への取り組みについて	0.78	0.62	1.16	1.02	1.08
スポーツ振興への取り組みについて	0.37	0.15	1.01	0.82	0.41
芸術・文化振興への取り組みについて	-0.29	-0.55	0.38	-0.05	-0.05
国内外との交流活動について	0.12	0.06	0.49	-0.05	0.05
男女共同参画推進への取り組みについて	0.05	-0.08	0.28	0.27	0.24
地域のコミュニティ活動について	1.11	1.03	1.15	0.74	1.64
行政改革の進捗状況について	-2.58	-2.58	-2.35	-2.39	-2.98
市職員の対応について	0.04	-0.33	1.48	0.15	-0.03
住民参画への取り組みについて	0.31	0.23	0.45	0.47	0.42
広報・広聴活動への取り組みについて	1.49	1.65	1.32	1.29	1.14

図表 123 市の満足度評価について(全体 / 満足度)

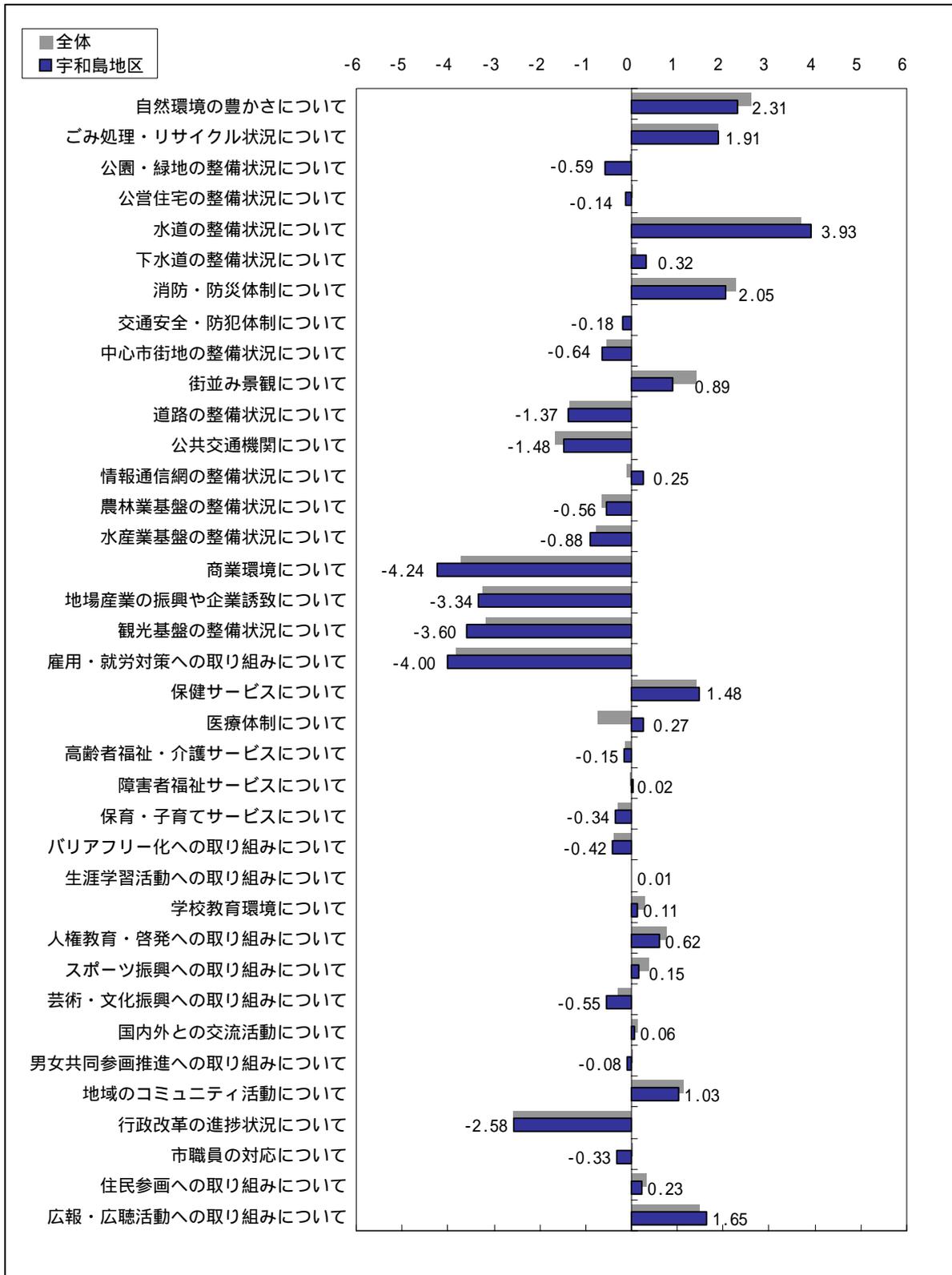
(単位：評価点)



図表 124 市の満足度評価について(居住地区別 / 満足度)

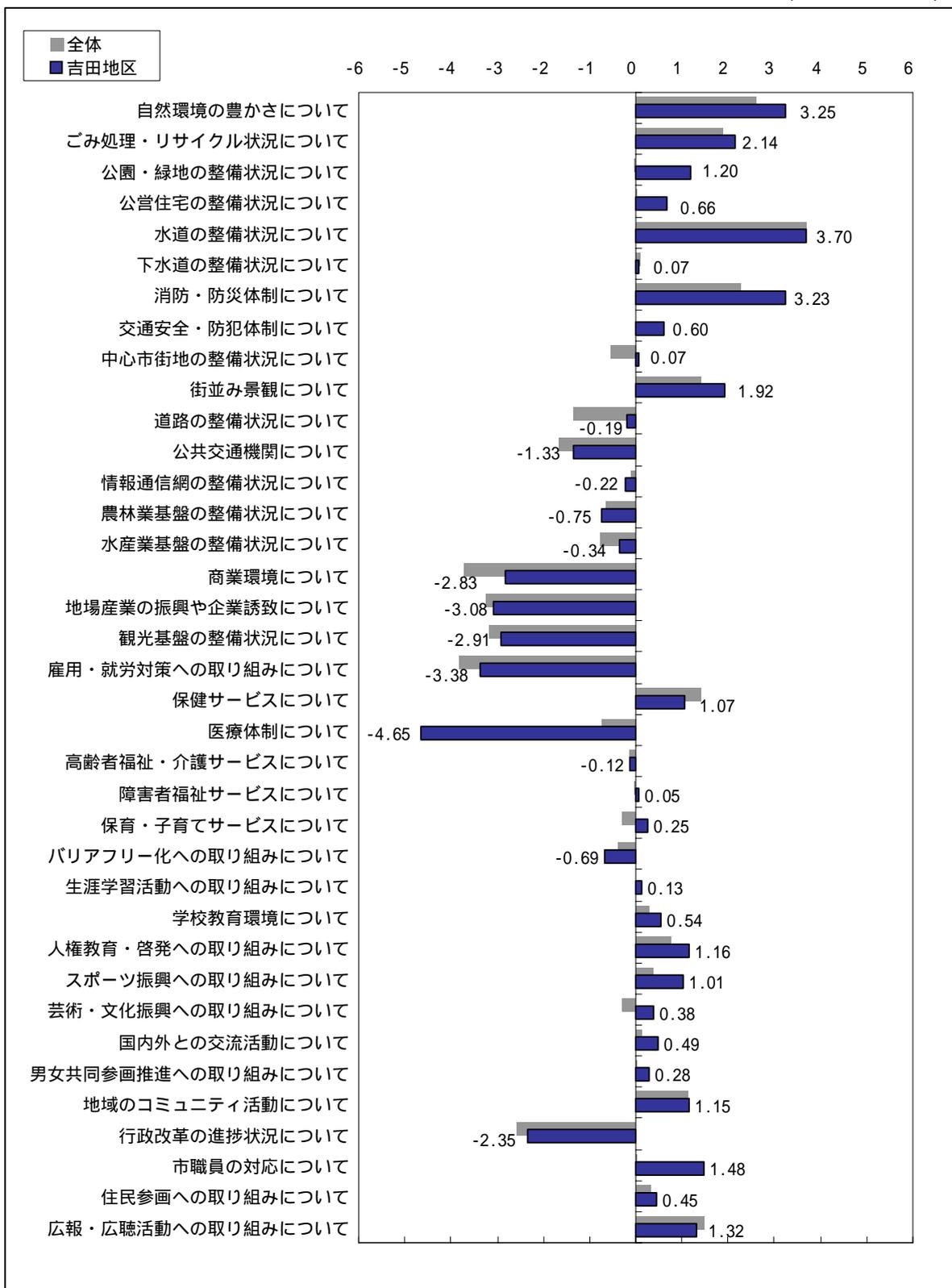
宇和島地区

(単位：評価点)



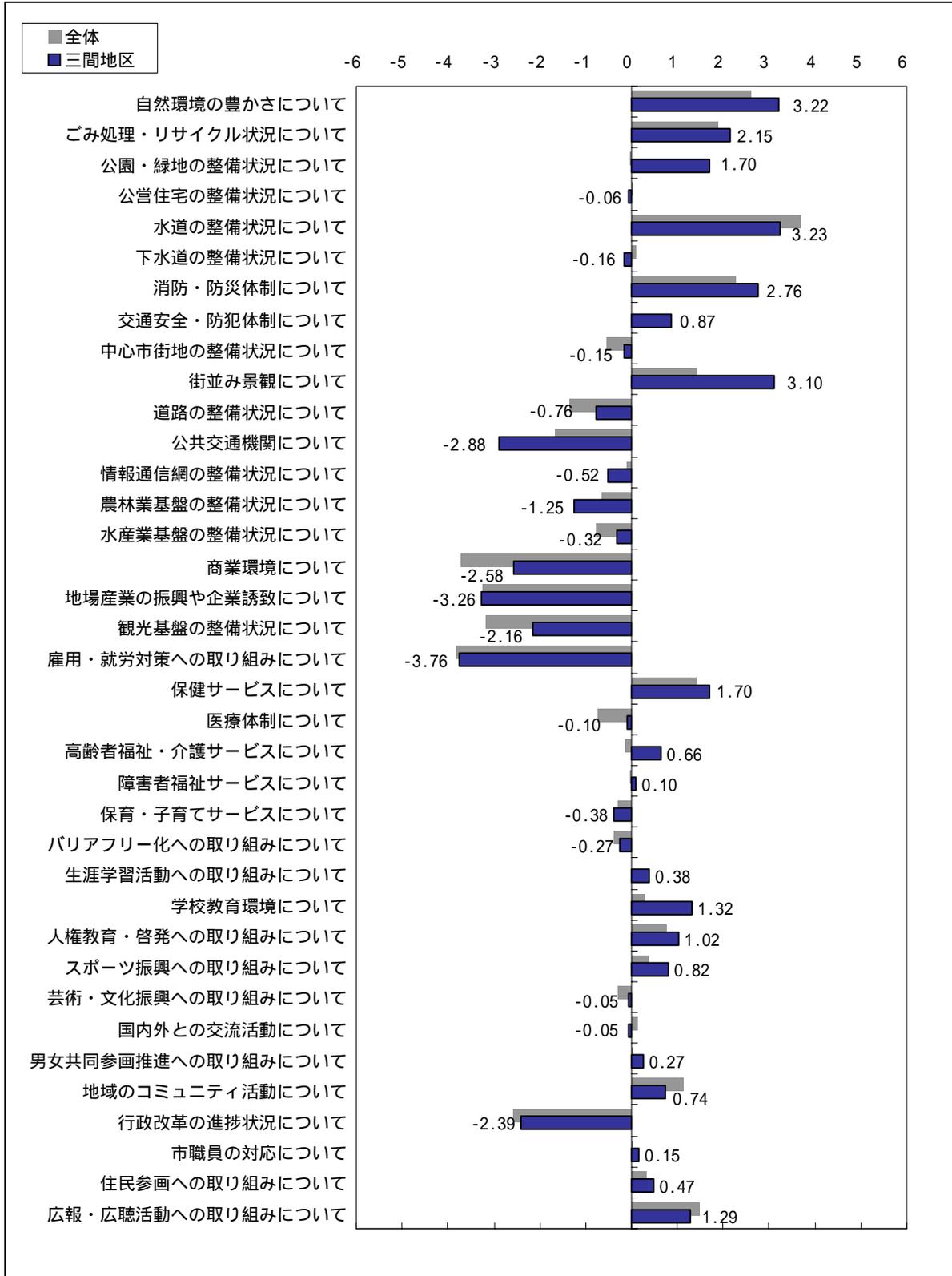
# 吉田地区

(単位：評価点)



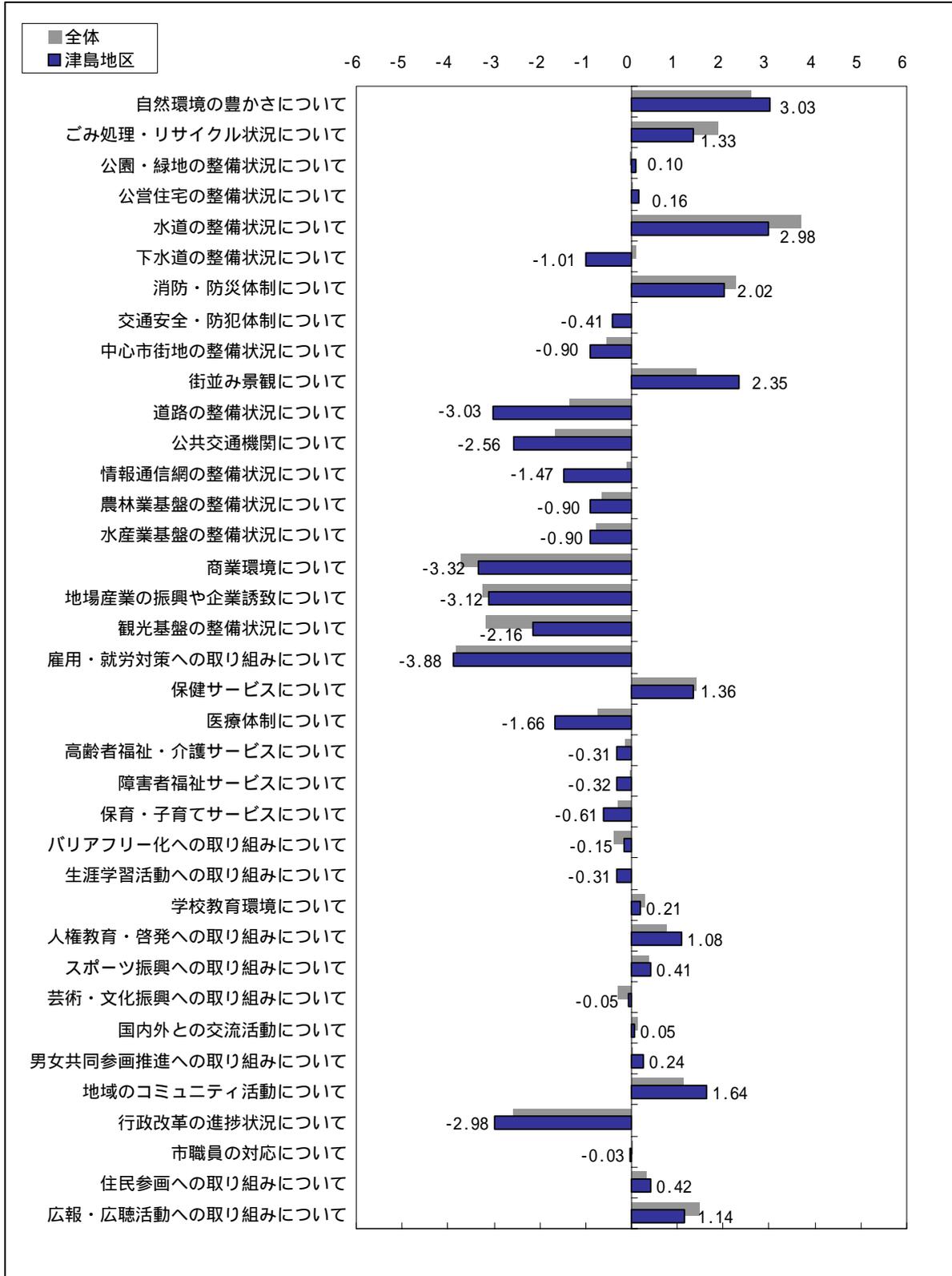
# 三間地区

(単位：評価点)



# 津島地区

(単位：評価点)



## (2) 満足度とまちへの愛着度の相関

“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は19項目。  
“とりわけ改善が必要”は「ケ 中心市街地の整備状況について」。

(1)市の満足度評価についての満足度と、問2 まちへの愛着度についての相関関係について、CS分析[後述参照]により満足度偏差値、重要度偏差値(相関係数)改善度を算出した。この分析によって、満足度評価の(ア)~(ユ)の各項目の満足度と、まちへの愛着度の相関関係を明らかにし、どの項目の満足度を上げることによって、まちへの愛着度が上がるかということを統計的に説明しようと試みている。

この結果、[図表 126](#)のとおり、“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は19項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は18項目となっている。また、改善度10点以上の項目が“とりわけ改善が必要”として挙げられ、[図表 125](#)の改善度をみると、10点以上の項目は、「ケ 中心市街地の整備状況について」(11.31)が挙げられる。

### CS(顧客満足)分析の算出方法

満足度評価の「満足している」、「どちらかといえば満足している」を“満足”、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を“不満”、「どちらともいえない」の3段階評価による回答数と割合を各項目で算出する。さらに総合評価とのクロス集計を行った後、各項目の独立係数を算出する。

CSグラフにプロットする位置を決めるため、満足率と独立係数それぞれの偏差値を算出し、独立係数を横軸に、満足率を縦軸にとる。

改善度は、プロットの原点からの距離×修正指数で算出する。原点からの距離、修正指数は以下の計算式を用いる。

$$\text{距離} = (x - \bar{x})^2 + (y - \bar{y})^2$$

$$\text{修正指数 } r = \frac{90 - \text{角度}}{90}$$

独立係数を重要度と読み替えてグラフを作成。

図表 125 満足度とまちへの愛着度の相関(全体 / 満足度偏差値、重要度偏差値、改善度)

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
ア 自然環境の豊かさについて	66.74	62.89	-1.74
イ ごみ処理・リサイクル状況について	64.20	65.03	0.37
ウ 公園・緑地の整備状況について	49.59	51.99	1.28
エ 公営住宅の整備状況について	47.68	48.39	0.32
オ 水道の整備状況について	88.76	68.48	-9.31
カ 下水道の整備状況について	58.31	44.75	-8.44
キ 消防・防災体制について	68.09	62.92	-2.34
ク 交通安全・防犯体制について	47.71	58.99	6.11
ケ 中心市街地の整備状況について	44.59	64.63	11.31
コ 街並み景観について	63.13	53.69	-4.44
サ 道路の整備状況について	48.02	56.12	4.49
シ 公共交通機関について	48.64	44.95	-1.74
ス 情報通信網の整備状況について	49.41	51.62	1.25
セ 農林業基盤の整備状況について	42.57	33.80	-4.03
ソ 水産業基盤の整備状況について	41.82	31.69	-4.66
タ 商業環境について	42.79	37.36	-2.47
チ 地場産業の振興や企業誘致について	38.25	33.74	-2.04
ツ 観光基盤の整備状況について	40.90	39.45	-0.65
テ 雇用・就労対策への取り組みについて	39.04	35.60	-1.55
ト 保健サービスについて	56.88	62.09	2.37
ナ 医療体制について	54.82	56.54	0.78
ニ 高齢者福祉・介護サービスについて	49.04	45.05	-1.91
ヌ 障害者福祉サービスについて	45.72	37.76	-3.71
ネ 保育・子育てサービスについて	45.21	55.23	6.89
ノ バリアフリー化への取り組みについて	46.89	39.95	-3.25
ハ 生涯学習活動への取り組みについて	41.52	47.20	2.65
ヒ 学校教育環境について	47.70	60.78	6.99
フ 人権教育・啓発への取り組みについて	48.94	53.99	2.75
ヘ スポーツ振興への取り組みについて	45.29	47.94	1.22
ホ 芸術・文化振興への取り組みについて	43.26	40.47	-1.26
マ 国内外との交流活動について	42.56	46.98	2.05
ミ 男女共同参画推進への取り組みについて	42.04	44.39	1.06
ム 地域のコミュニティ活動について	51.46	52.04	0.26
メ 行政改革の進捗状況について	40.64	48.89	4.00
モ 市職員の対応について	58.36	58.07	-0.13
ヤ 住民参画への取り組みについて	45.30	43.47	-0.83
ユ 広報・広聴活動への取り組みについて	54.13	63.06	4.18

改善度は、マイナスであればあるほど改善の必要性が低く、プラスであればあるほど改善の必要性が高い。なお、プラス10点以上は、“とりわけ改善が必要”に分類される。



### (3) 満足度とまちの暮らしやすさの相関

“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は19項目。

“とりわけ改善が必要”は「ク 交通安全・防犯体制について」、「サ 道路の整備状況について」、「タ 商業環境について」、「テ 雇用・就労対策への取り組みについて」、「メ 行政改革の進捗状況について」。

(1)市の満足度評価についての満足度と、問3 まちの暮らしやすさについての相関関係について、CS分析により満足度偏差値、重要度偏差値(相関係数)、改善度を算出した。この分析によって、満足度評価の(ア)~(ユ)の各項目の満足度と、まちの暮らしやすさの相関関係を明らかにし、どの項目の満足度を上げることによって、まちの暮らしやすさの満足度が上がるかということを経験的に説明しようと試みている。

この結果、[図表 128](#)のとおり、“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は19項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は18項目となっている。また、改善度10点以上の項目が“とりわけ改善が必要”として挙げられ、[図表 127](#)の改善度をみると、10点以上の項目は、「ク 交通安全・防犯体制について」(11.54)、「サ 道路の整備状況について」(12.70)、「タ 商業環境について」(10.19)、「テ 雇用・就労対策への取り組みについて」(11.26)、「メ 行政改革の進捗状況について」(11.34)の5項目が挙げられる。

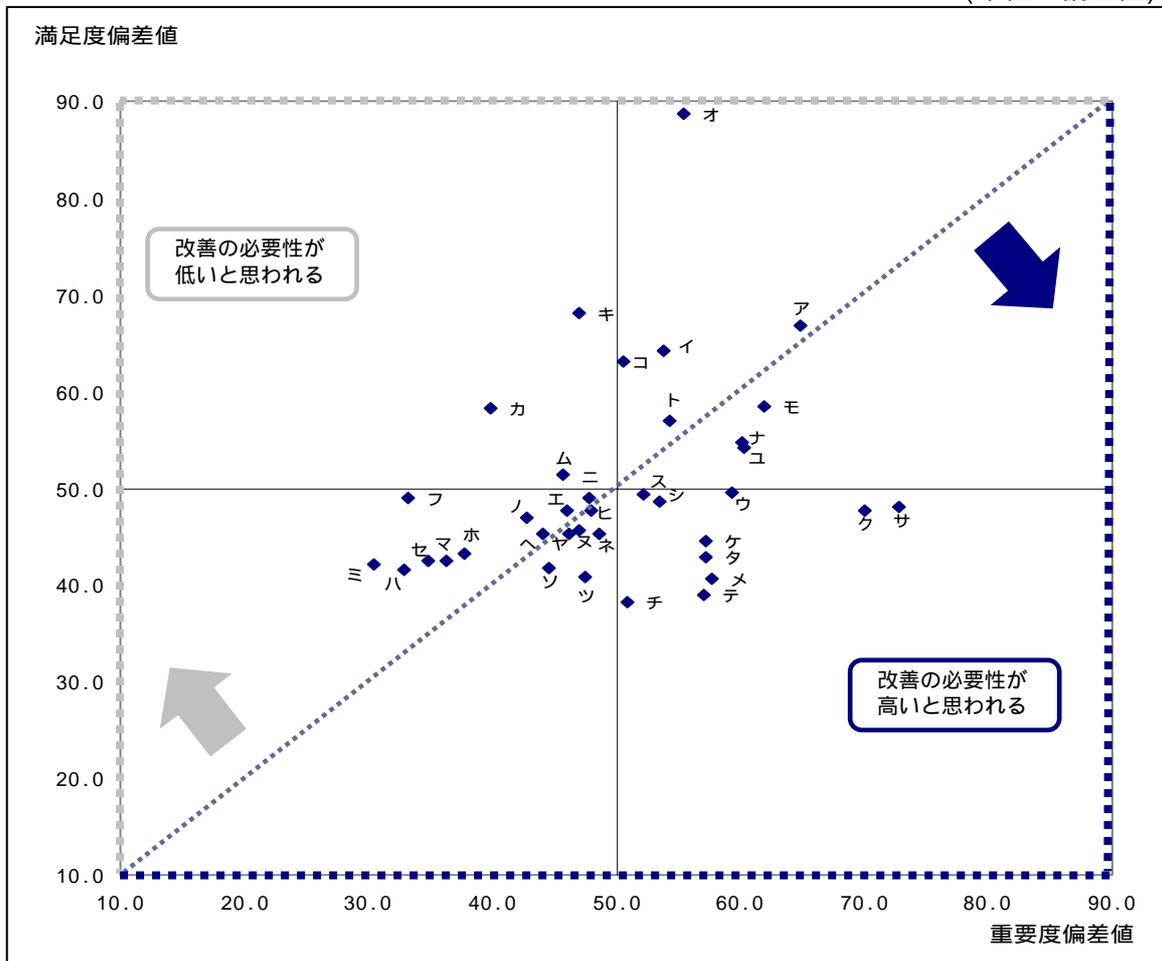
図表 127 満足度とまちの暮らしやすさの相関(全体 / 満足度偏差値、重要度偏差値、改善度)

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
ア 自然環境の豊かさについて	66.74	64.90	-0.83
イ ごみ処理・リサイクル状況について	64.20	53.88	-4.86
ウ 公園・緑地の整備状況について	49.59	59.38	4.95
エ 公営住宅の整備状況について	47.68	46.10	-0.72
オ 水道の整備状況について	88.76	55.37	-16.14
カ 下水道の整備状況について	58.31	39.79	-12.30
キ 消防・防災体制について	68.09	46.94	-11.13
ク 交通安全・防犯体制について	47.71	70.04	11.54
ケ 中心市街地の整備状況について	44.59	57.23	8.20
コ 街並み景観について	63.13	50.63	-6.17
サ 道路の整備状況について	48.02	72.79	12.70
シ 公共交通機関について	48.64	53.49	2.76
ス 情報通信網の整備状況について	49.41	52.19	1.52
セ 農林業基盤の整備状況について	42.57	34.85	-3.54
ソ 水産業基盤の整備状況について	41.82	44.62	1.27
タ 商業環境について	42.79	57.22	10.19
チ 地場産業の振興や企業誘致について	38.25	50.86	6.44
ツ 観光基盤の整備状況について	40.90	47.41	3.06
テ 雇用・就労対策への取り組みについて	39.04	57.05	11.26
ト 保健サービスについて	56.88	54.32	-1.16
ナ 医療体制について	54.82	60.16	2.45
ニ 高齢者福祉・介護サービスについて	49.04	47.77	-0.59
ヌ 障害者福祉サービスについて	45.72	47.07	0.61
ネ 保育・子育てサービスについて	45.21	48.66	1.62
ノ バリアフリー化への取り組みについて	46.89	42.84	-1.87
ハ 生涯学習活動への取り組みについて	41.52	32.92	-3.94
ヒ 学校教育環境について	47.70	47.99	0.13
フ 人権教育・啓発への取り組みについて	48.94	33.21	-7.74
ヘ スポーツ振興への取り組みについて	45.29	44.06	-0.55
ホ 芸術・文化振興への取り組みについて	43.26	37.82	-2.48
マ 国内外との交流活動について	42.56	36.29	-2.86
ミ 男女共同参画推進への取り組みについて	42.04	30.38	-5.39
ム 地域のコミュニティ活動について	51.46	45.78	-3.18
メ 行政改革の進捗状況について	40.64	57.67	11.34
モ 市職員の対応について	58.36	61.87	1.59
ヤ 住民参画への取り組みについて	45.30	46.20	0.41
ユ 広報・広聴活動への取り組みについて	54.13	60.23	2.82

改善度は、マイナスであればあるほど改善の必要性が低く、プラスであればあるほど改善の必要性が高い。なお、プラス10点以上は、“とりわけ改善が必要”に分類される。

図表 128 満足度とまちの暮らしやすさの相関(全体 / 相関)

(単位：偏差値)



改善の必要性が高いと思われる	改善の必要性が低いと思われる
ウ 公園・緑地の整備状況について	ア 自然環境の豊かさについて
ク 交通安全・防犯体制について	イ ごみ処理・リサイクル状況について
ケ 中心市街地の整備状況について	エ 公営住宅の整備状況について
サ 道路の整備状況について	オ 水道の整備状況について
シ 公共交通機関について	カ 下水道の整備状況について
ス 情報通信網の整備状況について	キ 消防・防災体制について
ソ 水産業基盤の整備状況について	コ 街並み景観について
タ 商業環境について	セ 農林業基盤の整備状況について
チ 地場産業の振興や企業誘致について	ト 保健サービスについて
ツ 観光基盤の整備状況について	ニ 高齢者福祉・介護サービスについて
テ 雇用・就労対策への取り組みについて	ノ バリアフリー化への取り組みについて
ナ 医療体制について	ハ 生涯学習活動への取り組みについて
ヌ 障害者福祉サービスについて	フ 人権教育・啓発への取り組みについて
ネ 保育・子育てサービスについて	ヘ スポーツ振興への取り組みについて
ヒ 学校教育環境について	ホ 芸術・文化振興への取り組みについて
メ 行政改革の進捗状況について	マ 国内外との交流活動について
モ 市職員の対応について	ミ 男女共同参画推進への取り組みについて
ヤ 住民参画への取り組みについて	ム 地域のコミュニティ活動について
ヨ 広報・広聴活動への取り組みについて	

#### (4) 満足度と今後の定住意向の相関

“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は19項目。  
“とりわけ改善が必要”は「ケ 中心市街地の整備状況について」。

(1)市の満足度評価についての満足度と、問4 今後の定住意向についての相関関係について、CS分析により満足度偏差値、重要度偏差値(相関係数)、改善度を算出した。この分析によって、満足度評価の(ア)~(ユ)の各項目の満足度と、今後の定住意向の満足度の相関関係を明らかにし、どの項目の満足度を上げることによって、今後の定住意向が上がるかということを統計的に説明しようと試みている。

この結果、[図表 130](#)のとおり、“改善の必要性が高いと思われる”に分類される項目は19項目、“改善の必要性が低いと思われる”に分類される項目は18項目となっている。また、改善度10点以上の項目が“とりわけ改善が必要”として挙げられ、[図表 129](#)の改善度をみると、10点以上の項目は、「ケ 中心市街地の整備状況について」(12.74)が挙げられる。

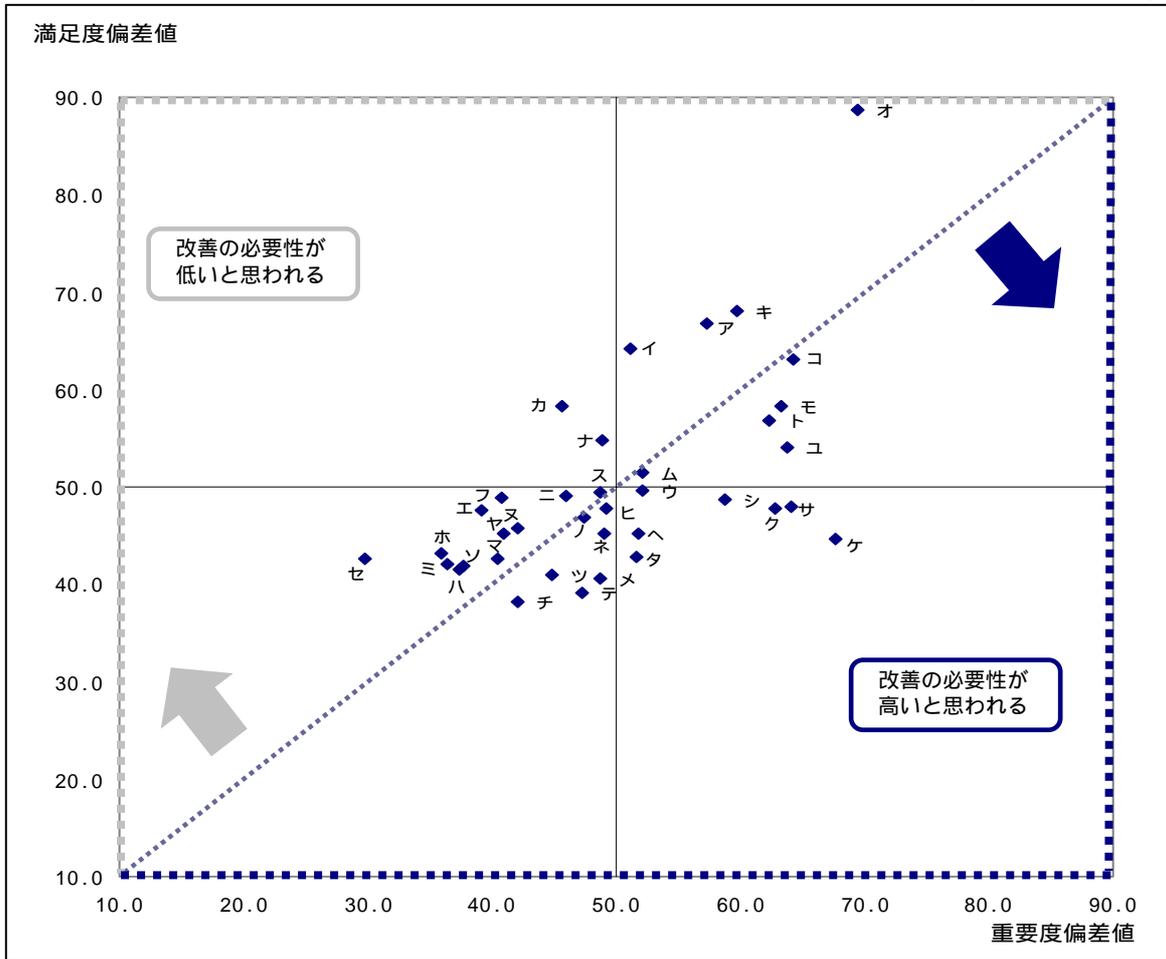
図表 129 満足度と今後の定住意向の相関(全体 / 満足度偏差値、重要度偏差値、改善度)

	全体		
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
ア 自然環境の豊かさについて	66.74	57.27	-4.37
イ ごみ処理・リサイクル状況について	64.20	51.06	-6.44
ウ 公園・緑地の整備状況について	49.59	52.13	1.34
エ 公営住宅の整備状況について	47.68	39.08	-4.10
オ 水道の整備状況について	88.76	69.39	-8.87
カ 下水道の整備状況について	58.31	45.65	-7.57
キ 消防・防災体制について	68.09	59.72	-3.82
ク 交通安全・防犯体制について	47.71	62.74	7.93
ケ 中心市街地の整備状況について	44.59	67.69	12.74
コ 街並み景観について	63.13	64.28	0.52
サ 道路の整備状況について	48.02	64.11	8.39
シ 公共交通機関について	48.64	58.70	5.27
ス 情報通信網の整備状況について	49.41	48.63	-0.36
セ 農林業基盤の整備状況について	42.57	29.75	-5.95
ソ 水産業基盤の整備状況について	41.82	37.73	-1.85
タ 商業環境について	42.79	51.54	4.67
チ 地場産業の振興や企業誘致について	38.25	41.99	1.69
ツ 観光基盤の整備状況について	40.90	44.85	1.80
テ 雇用・就労対策への取り組みについて	39.04	47.21	3.86
ト 保健サービスについて	56.88	62.38	2.51
ナ 医療体制について	54.82	48.92	-3.16
ニ 高齢者福祉・介護サービスについて	49.04	45.94	-1.47
ヌ 障害者福祉サービスについて	45.72	42.14	-1.63
ネ 保育・子育てサービスについて	45.21	48.97	1.79
ノ バリアフリー化への取り組みについて	46.89	47.37	0.22
ハ 生涯学習活動への取り組みについて	41.52	37.41	-1.86
ヒ 学校教育環境について	47.70	49.18	0.69
フ 人権教育・啓発への取り組みについて	48.94	40.81	-3.95
ヘ スポーツ振興への取り組みについて	45.29	51.78	3.68
ホ 芸術・文化振興への取り組みについて	43.26	35.88	-3.38
マ 国内外との交流活動について	42.56	40.40	-0.97
ミ 男女共同参画推進への取り組みについて	42.04	36.42	-2.56
ム 地域のコミュニティ活動について	51.46	52.16	0.32
メ 行政改革の進捗状況について	40.64	48.69	3.89
モ 市職員の対応について	58.36	63.22	2.21
ヤ 住民参画への取り組みについて	45.30	41.00	-1.97
ユ 広報・広聴活動への取り組みについて	54.13	63.80	4.53

改善度は、マイナスであればあるほど改善の必要性が低く、プラスであればあるほど改善の必要性が高い。なお、プラス10点以上は、“とりわけ改善が必要”に分類される。

図表 130 満足度と今後の定住意向の相関(全体 / 相関)

(単位：偏差値)



改善の必要性が高いと思われる	改善の必要性が低いと思われる
ウ 公園・緑地の整備状況について	ア 自然環境の豊かさについて
ク 交通安全・防犯体制について	イ ごみ処理・リサイクル状況について
ケ 中心市街地の整備状況について	エ 公営住宅の整備状況について
コ 街並み景観について	オ 水道の整備状況について
サ 道路の整備状況について	カ 下水道の整備状況について
シ 公共交通機関について	キ 消防・防災体制について
タ 商業環境について	ス 情報通信網の整備状況について
チ 地場産業の振興や企業誘致について	セ 農林業基盤の整備状況について
ツ 観光基盤の整備状況について	ソ 水産業基盤の整備状況について
テ 雇用・就労対策への取り組みについて	ナ 医療体制について
ト 保健サービスについて	ニ 高齢者福祉・介護サービスについて
ネ 保育・子育てサービスについて	ヌ 障害者福祉サービスについて
ノ バリアフリー化への取り組みについて	ハ 生涯学習活動への取り組みについて
ヒ 学校教育環境について	フ 人権教育・啓発への取り組みについて
ヘ スポーツ振興への取り組みについて	ホ 芸術・文化振興への取り組みについて
ム 地域のコミュニティ活動について	マ 国内外との交流活動について
メ 行政改革の進捗状況について	ミ 男女共同参画推進への取り組みについて
モ 市職員の対応について	ヤ 住民参画への取り組みについて
ム 広報・広聴活動への取り組みについて	